

会長のページ 閉院・廃業と日本医師会医師賠償責任保険について	稲倉 正孝	3
日州医談 医師不足と対策	佐々木幸二	4
随 想 久本先生の死生観	佛坂 正幸	7
エコー・リレー(460)	玉置 昇, 木戸 義行	9
宮崎大学医学部だより(附属病院リハビリテーション部)	帖佐 悦男, 鳥取部光司	15
専門分科医会だより(泌尿器科医会)	中山 健	16
メディアの目 地震雑感	清水 昭範	17
ニューメンバー	松尾 崇	44
診療メモ モービルCCU運用から1年	柴田 剛徳	64

宮崎県感染症発生動向	10
各都市医師会だより	12
あなたできますか?(平成24年度医師国家試験問題より)	14
薬事情報センターだより(319) バイオ後続品	18
各種委員会(介護保険委員会・諸規程検討委員会)	19
県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会	21
平成25年度都道府県医師会検案担当理事連絡協議会	22
第35回産業保健活動推進全国会議	26
宮崎県医師会親善ゴルフ大会	30
日医インターネットニュースから	32
理事会日誌	34
県医の動き	39
追悼のことば	40
ベストセラー	44
会員の異動・変更報告	46
ドクターバンク情報	49
行事予定	53
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	55
平成25年総目次	70
あ と が き	80
~~~~~	
お知らせ 年末・年始の休館について	20
宮崎県医師会医療情報コーナー	25
カット・イラストの募集	28
平成25年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	29
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしております	52
郡市医師会への送付文書	68

## 医師の心得

- 1 . 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14年 3月 12日制定)

〔表紙作品 コラージュ〕

### コラージュ M

喫茶店のレジにコーヒー豆の袋が置いてあり、これは何かに使えると思った。可愛い形の Pasta も同様である。昔描いたまま放置していた水彩画のリンゴ等も切り抜いて...

それらを使い、色々な想いを抱きながらキャンパスを埋めていくコラージュを楽しんでいる。

新富町 丸 田 眞 美

## 会長のページ

## 閉院・廃業と日本医師会医師賠償責任保険について

いな くら まさ たか  
稲 倉 正 孝

平成 25 年度第 2 回都道府県医師会長協議会( 25 年 11 月 19 日 開催 )で埼玉県医師会より、質問「日本医師会医師賠償責任保険( 医賠 )について」が提出された。発端は、大分県医師会会報第 20 号に掲載された記事にある。要約すると、A 先生は 70 歳で医院を閉じ、悠々自適の引退生活を楽しむ予定で、引退を機に医師会をやめてしまわれた。ところが、現役時代の診療( 治療 )行為に対して、患者数名より訴えられ敗訴となった。A 先生は、自分の財産を全て処分しても足りず、老骨にムチ打って働きに出たが、最後にはうつ病になってしまい、失意のうちにお亡くなりになったとのことである。その他、会員が退会し、死亡後に訴えられ、法定相続人で

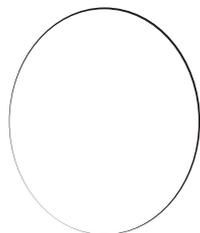
ある遺族が紛争に巻き込まれるケースもあるとのことである。

担当の葉梨日医常任理事によると、医賠は日医が契約者となって、A 会員全てを対象とする保険制度であり、A 会員でなくなり被保険者資格を喪失した場合でも、補償の対象となる例外が 2 つ設けてあるとの説明であった。1 つは、A 会員でなくなる前に損害賠償が請求されていないものの医療事故の発生及びその恐れがある事象について届け出がある場合、2 つ目は A 会員のまま死亡退会されて、当該会員の相続人が賠償請求された場合、会員資格がなくなった後、10 年以内に損害賠償請求を受けた場合には補償できるとのことであった。その他の場合、訴えられた時点で会員でないと補償されない。

医賠適用の判断が、現行では「会員である期間中に損害賠償請求を受けた場合」( 発見主義 )となっているためにこのような問題が生ずる。また、医療事故の時効については、不法行為責任では、被害者( または法定代理人 )が損害および加害者を知った時から 3 年で成立するが、3 年の時効は不法行為( 手術など )の時からではなく、損害および加害者を知った時からスタートする。債務不履行責任は 10 年で時効が成立するが、損害が確定しなければスタートしないと言われている。この様に医療事故の場合は、時効の考え方が医療者にとって厳しいものがある。医賠適用の判断を「当該医療行為が行われた時点で会員である場合」( 発生主義 )にすれば、このような事例はなくなる。

埼玉県医師会の主張のように、発見主義から発生主義に変更すれば、今回のような事例は生まれにくい。しかし、損保会社の決算にとって不都合となる。発生主義だといったん決算を終わってから、数年後に多額の負担が生じる可能性がある。また、B 型肝炎・エイズ訴訟のような集団訴訟が起きた場合、裁判結果によっては損保会社が莫大な損失をこうむる可能性がある。仮に、医師に賠償責任があると判断された場合には、被害者に対する補償は、社会的に妥当な範囲で行われるのは当然であるが、万一の事態に備えて、医師会員が高額な賠償金の負担に耐えうるような制度設定は必須である。日本医師会はこの事例のような問題の解決に現在、全力を挙げて検討中である。閉院・廃業を予定される会員におかれましては、退会に際しては医賠について、県医師会と十分相談されることをお勧めする。( 平成 25 年 12 月 3 日 )

## 日州医談



## 医師不足と対策

理事 ささき こうじ  
佐々木 幸二

近年、医師不足が社会的な問題となり、医師会や行政が地域医療を守るため医師確保に乗り出している。医師が不足か充足かの議論の結論は時代により揺れ動いてきた。以下橋本鉦市氏、中澤勇一氏等の報告を一部引用する。

〔経緯〕古くは、昭和 14年から軍医増産の要求に応じて大量の 4年生医専が新設増設された結果、医学校は敗戦時点では総数 70校となり、入学定員は優に 1万人を凌駕した。さらに、戦後外地から軍医たちが帰国し、医師が一挙に 7万人まで膨れ上がった。

これに対し、GHQ はこれまでのドイツ式教育方針を改革しインターン制度、医師国家試験制度などの導入を図ることにより、6年生教育の医育一元化を達成した。結果 4校に整理され、その後も厚生省の厳しい抑制が続いた。

しかし昭和 36年に国民皆保険制度が開始され医師一人当たりの患者数が激増したため、医師の絶対的不足がクローズアップされてきた。これまでの医師過剰から不足へ状況認識を修正し厚生省は文部省に対して、既設の医学部の定員を昭和 38年以降徐々に増やすよう依頼した。しかし僻地医療を担う医師の払底は続き、特に医師不足に困窮していた秋田県では昭和 45年度医学部開設が認められた。当時の秋田県の医師数は人口 10万人に対し 85.8人であった。厳しい抑制の時期に、文部省にとってこの秋田大学医学部の新設は特例であった。

他の自治体でも医大設置誘致運動が盛んにな

るが、文部厚生両省とも明確な医師養成計画を打ち出せず、既設医学部・医大の定員増という暫定的な対応しかできなかった。医師必要数の算定に決め手となるものを見出すのは困難であったが、昭和 44年に自民党は国民医療対策大綱を発表し、昭和 60年までに人口 10万対 150人の医師数の確保を目標にした。医師不足に悩む各地方自治体は 40年代に入ること政府・自民党に速成的な医師養成機関を新設するよう要請していた。昭和 47年こうした趨勢のなか田中内閣が誕生して、「無医大県解消政策」が発表された。

1970年代、一県一医大構想に基づき全国各県に計 34医学部が新設され、1960年代初めには約 3,000人であった医学部入学定員は、198年には 8,360人まで増加された。しかしながら、将来 2025年に 10%の医師過剰となるとの見通しを受け、政府は昭和 57年に医師数は過剰を招かないように再び抑制的な医師養成計画を出した。政策転換の背景には医師数の増加が医療費そのものに繋がることに危機感を懐いていたこともある(吉村仁氏による「医療費亡国論」)。結果、医学部入学定員は平成 5年に 7,725人、さらに平成 9年には 7,705人まで削減された。

しかし、再び地域医療危機と絶対医師数不足の議論の高まりにより、医学部入学定員は平成 19年より 6年間で 1,416人増員され、平成 25年においては 9,041人となっている。

医師の需給問題がこのような経緯を辿った理由として中澤勇一は、医師養成課程に少なく

とも 10年といった長期の時間を要すること、医師養成は「医療費・財政問題と切り離すことができないこと、適切な医師数、適正な専門医数のデータがないこと、医師が過不足となる要因は単一でなく、医師養成数の他にも医師の偏在などの要素も大きく影響し、現状の評価を複雑にしていたこと、などを挙げている。

『医学部新設』平成 22年 2月、3私立大学が医学部新設を検討していることが新聞などで大きく報道されたが、もし新設の認可が下りれば、昭和 54年の琉球大学以来ということになる。平成 23年 3月 11日東日本大震災が発生し震災後、東北地方の医師不足はさらに顕著になった。宮城県は震災直後から、東北での医学部新設を要望してきたこともあり、平成 25年 10月 10日医師不足が深刻化する東北に医学部を新設するよう安倍晋三首相が下村博文文部科学相に検討を指示した。

『絶対的医師不足』現在、日本全国には国公立あわせて 800の医学部があるが、絶対的に医師が不足しているのだろうか？ 2008年の医師数は 286,699人と報告されている。1986年には、この数は 191,346人であり、22年で医師数は約 1.5倍に増加したことになる。

医師が増加しているにもかかわらず、わが国が絶対的医師不足に陥っているとの論拠は、経済協力開発機構(OECD) 諸国の人口当たりの医師数の比によっているらしい。人口 10万人当たりの医師数は、日本は OECD 加盟 30か国中 26番目の 206人。この OECD 平均に基づく試算では、医師不足数は 127,000人との報告がある。

国によって勤勉性や医師の能力、風土や人種差による疾病構造等々の相異があるので一元的に数のみで医師が不足か充足を他国と比較できない。

『相対的医師不足』以下のような要素が、挙げられる。A 医師の地域偏在、B 医師の診療科偏

在、C 女性医師の増加、D 診療科の専門細分化、E 医療需要の増大による医療業務の増大、F 医師の高齢化、G 医療費抑制政策、これに加え H 新臨床研修制度がある。

各要素の詳細は周知の通りである。

『対策と考案』絶対的不足に対しては、医学部入学定員の増員があるが、伊藤は、入学定員を 1.5倍とした場合に、わが国推定適正医師数の 450,000人へ達するには 30年、2倍でも 20年かかると推計している。

また上記の相対的不足 A 医師の地域偏在に関して、長田直人教授は宮崎医大増設後も宮崎市内への医師の偏在を指摘している。このことは医師会、行政、大学医学部が連携して模索する必要があり、宮崎県医師会はこの数年、県への要望書で医師確保を筆頭に挙げている。県は地域医療を担う総合医の養成のために、また医師確保対策への協力・支援のため平成 22年から県の寄附講座である地域医療学講座を医学部に設ける等、積極的に予算を組んできてはいるが成果が上がったのだろうか？ ドイツでは、開業医の過剰や集中を防ぎ、医療供給を適正にするため、開業医定員制を実施して、僻地医療にも役立っているとのことである。他の相対的医師不足の中で D の専門細分化については、「患者を全人的に診療する」との意識が乏しくなり、自身の専門臓器を中心とした診療のみ行う、重箱の隅をつつくような学問的に高度な専門診療のみでは、医療問題が必ずしも解決できないことが明らかである。

例えば、都城市北諸県郡医師会の救急医療センターでは内科外科小児科を 5 ~ 6人の当番医が、連日絶やすことなく準夜深夜の急病者に対応している。熟練した救急総合医の常勤が理想であるが、現状は医師会員と各科の大学医局などからの派遣医のお蔭で何とか凌いでいる。医師の高齢化が進む中で、突然の欠員には医師

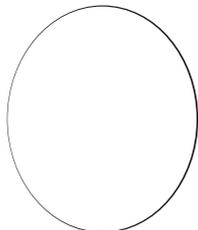
会員である救急医療委員がスタンバイして地域住民のため、忍び寄る医療クライシスに果敢に立ち向かっている。

新臨床研修制度に関しては、2008年の日本医師会の調査によるとこの制度が引き金となって医師不足が顕在化したことは否めない。しかしながら医師不足は数の原理だけではなく、多くの複合的な要素が絡み合っている。医師自身も行政や制度、患者に原因を責任転嫁せず、自分が総合的な(初期救急に対応出来る)医師を目指して頑張らねばいけない。

近代化による各種テクノロジーやITの飛躍的な進歩、グローバル化により人は楽で安易な道を好むようになり、協調とか使命感、尊厳と責任、法規範の遵守などを胡散臭く感じるようになった。精神論は古いと批判を受けるかもしれないが、医業に従事する者、近代化に伴うニヒリズムに陥ることなく、また同じ金の卵でも高

度成長期の企業への集団就職者と異なり公共性を持った非営利職業者であることを自覚し、またこの研修制度が職業倫理の教育の機会になればよい。そして、実践に即応した確実に総合的な臨床能力を持つ忍耐強い医師を養成する手立てになればと思う。技術革新に伴う最新医療の研鑽に携わる専門医を否定するわけではない。まだ改革の余地は多いと思うが、この研修制度を廃止する必要はない。しかしながら折角、僻地で医業を営もうとする勇敢な医師が育ったとしても、医療費抑制政策のもとで偏在はなくならないと思う。いくら非営利といえども、今の診療報酬体系ではモチベーションは上がらないし、患者数が減れば医業は成り立たないのだから。医師数が足りないからと言って、やれ医学部新設だ、入学定員増員だと、ただ医師免許取得者を増やせば済む問題ではない。相対的医師不足をもっと協議検討すべきだと思う。

## 随 想



## 久本先生の死生観

宮崎市 潤和会記念病院 ほとけ 佛 ざか 坂 まさ 正 ゆき 幸

平成25年5月30日、久本寛先生が亡くなりました。喜寿を翌日に控えられた76歳の生涯でした。「葬礼をしない。墓を作らない。戒名のたぐいはつけない。遺骨は散骨するように」との、先生の強い御遺志により、葬式はなく、先生の御遺骨は錦江湾とドイツに散骨されたとお聞きしました。しかしながら、私を含めて、多くのみなさんの気持ちの中に、何かしら割り切れない沈殿したものが残ったのではないのでしょうか。その沈殿物をくみ取っていただくかのように、田中俊正先生、八尋克三先生のご尽力により、10月12日に久本先生を偲ぶ会が開かれ、追悼文集が出版されました。偲ぶ会には多くの方が出席されていました。

久本先生はその生涯を外科医として捧げられました。その外科医としてのお姿は多くの方に強い影響を残しました。追悼文集を読みますと、患者さんに対する厳しい使命感、礼儀にはじまり、接し方にまでおよぶ外科医像が浮かんできます。私は臨床のご指導を受けた事はありませんが、ゴルフで一緒に過ごす機会を多くいただいた事と学会での私の発表を聞いていただいた事が接点でした。久本先生の素晴らしさは、下者に対する厳しさと同時に温かい思いやりの目をもっておられたことではないのでしょうか。ゴルフの話で恐縮ですが、私が下手なゴルフをしても、それをからかったり、揶揄されたりすることは決してありませんでした。むしろ、“君は練習をする暇がないのだから、仕方ないな”

と言ってくださいました。ただ、ゴルフのマナーについてのお叱りを受けた事は数知れません。学会発表の内容についての厳しいご指摘もいただきました。一度、私が礼を失した行動をとった時には、厳しいお叱りの言葉をいただきました。その反面、東京の学会では銀座の行きつけのドイツワインの店に連れて行っていただき、いろいろな話を聞かせていただきました。おそらく臨床の場においても、そうだったのではないのでしょうか。追悼文集に書かれた文章はどれも久本先生のお人柄を表す温かいものでした。久本先生の外科医としての圧巻は、追悼文集に書かれた下園孝司先生の文章にありました。久本先生は御自身が受けられた術後の朦朧とした意識の中で、自分が過去に執刀した後うまうまかなかった患者さんのことを思い出し、自分自身を激しく責め、慟哭しておられたことでした。同じ外科医である私は、その激しい生き様に完全に圧倒されました。

そのように外科医として生きてこられ、多くの外科の先生方のバックボーンとなってこられ、多くの業績を残された久本先生が前述のように葬式はしない、遺骨は散骨するようにとされ、頑ななまでに自分の生きた痕跡を消そうとされたことが、どうにも私の気持ちの中で消化できませんでした。むしろ自分の存在を後世の記憶から消し去ろうとされているようにさえ思えました。“無宗教”、“無神論”、“魂の存在を否定”などといういろいろ思いめぐらすのですが、それが

久本先生のお考えだったのかわかりません。“外科医として潔い死にざま”というのも、慰めにはなりませんでした。

追悼文集を読み、読み返し、久本先生が学生時代に没頭されていた錦江湾でのヨット上での写真を眺めているうちに、ふと感じました。“実は久本先生は魂の存在を信じておられたのではないか...”。ということでした。“この自然の中で生まれ、外科医として懸命に生き、また自然に帰っていく。それで十分だ”。久本先生にとってそういうことではなかったのか...。

久本先生がヨットの上からご覧になっていた桜島、錦江湾の風景は、久本先生の眼にはどのように映っていたのでしょうか。雄大な自然の

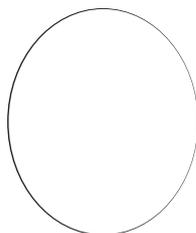
中に溶けこんでいく自分をみられていたのかもしれない。悠久の時間の中での自分の存在を感じておられたのかもしれない。それは久本先生の死生観の原点であったのかもしれない。生きた痕跡、記憶など悠久の時間の中では溶け去ってしまうものにすぎません。雄大な自然は、魂を揺さぶるものであり、信仰の原点なのだと思います。“生きた痕跡”“後世の記憶”“無宗教”などとは全く次元の違った久本先生の死生観の中で久本先生はこの世を生き、亡くなっていかれたのではないのでしょうか。久本先生のご遺志とはうらはらに、久本先生は多くのことを遺して逝かれたように思います。

# エコー・リレー

( 46 回 )

( 南から北へ北から南へ )

## 光陰矢のごとし

綾町 たまきクリニック たまき 玉 置 のぼる 昇

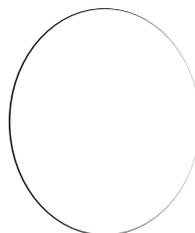
光陰矢のごとしと言います  
がまさにその通りです。大阪  
出身の私が宮医大に来たのは  
1978年。一期・二期校制度最  
後の年でした。1958~ 1978年  
の 20年間が大阪, 1978~ 2013  
年の 35年間が宮崎ですから,  
たぶんほとんど宮崎人といえ  
ると思います。かつて鶏小屋と評された清武町  
岡(バス停)にあった青雲荘に居を構え、以後宮  
崎県民となりました。しかし大阪弁は消せませ  
んね。現在も自宅では大阪弁を語り、世間では  
変な標準語(関西風イントネーション)を操って  
います。地元の友達と話すど「おまえの大阪弁は  
おかしい!」と言われます。たぶん宮崎弁と大阪  
弁のハイブリッド言語でしょう。

1984年宮医大を卒業(5期生), 内科医になっ  
てはや 29年。1994年綾町にて内科医の妻と二人  
でたまきクリニックを開院。来年 1 月に開院 20  
周年を迎えます。人間的に成長しないまま歳だ  
け食ってしまいました。何でこんなに早く時は  
過ぎ去るのでしょうか? 人生残りの時間が少ない  
ことに気付き, 2009年秋に宮崎大学大学院に入  
学。若い頃から学位取得が念願でしたが, 昨年  
3月に無事卒業することが出来ました。「遅すぎ  
るでしょ! 何を今更!」との声もありましたが,  
この歳で最後まで出来たことに感無量でした。  
やれば出来る! 私の人生の数少ない成功体験の  
ひとつです。多くの先生のご指導を仰いだ賜と  
感謝しています。

昨年 4 月に御縁を頂き, 川名会長率いる宮崎  
市郡医師会の末席理事に加えていただきました。  
理事の仕事は初めての経験です。宮崎市郡医師  
会は大きな変革の過渡期にいます。これからも  
与えられた仕事に全力で取り組みたいと思っ  
ています。今後とも宜しく願いいたします。

〔 次回は , 宮崎市の松尾 剛志先生にお願いします 〕

## 耳から内視鏡

宮崎市 木戸内科・胃腸科 きど 木 戸 よし 義 ゆき 行

耳から内視鏡? 鼻から内視  
鏡の間違いじゃない? とお思  
いでしょう。いや耳からなの  
です。もう 5 年以上も前のこ  
とですが, プールに行った後,  
片耳が全然聞こえなくなった  
のです。1 日経てば治るかな  
と思ったのですが翌日も全く同じです。少し心  
配になり連休だったので休日当番医の落合先生  
を受診しました。車の中は全く静かで, 愛車の  
BMW が Mercedes になったようでした。外来は  
とても混んでいて 1 時間したら来て下さいとの  
ことでした。そうかそれではちょっと経鼻内視  
鏡で見てみよう, わがクリニックで耳の中を  
見てみました。そうしたらツブ貝のふたみたい  
のが, 穴をふさいでいます。こいつのせいだな  
と吸引をかけてみました。しかしびくともしま  
せん。よーし吸引を最大にしてやれ。ヒュー,  
ゴーゴーヒュー。1, 2 分頑張っ  
てやっていると, 少し動いたよ  
うな気がします。よーしが  
んばるぞ。ヒューヒュー,  
ガーガーゴーゴー。あっ,  
少し水が出てきた。ガタガ  
タゴト, グラグラグラグラ,  
シュポッ!!! ドビューン,  
ドビューン。突然ツブ貝の  
ふたが割れ, 音が大きくな  
りました。耳が聞こえない  
原因は, 耳垢が外字道をふ  
さいでいたのです。

後で落合先生に耳の中を掃除してもらいす  
っきりめでたしめでたしでした。落合先生には休  
日のお忙しい時に耳の掃除などしていただき  
て, 大変申し訳ありませんでした。どうも有り難  
うございました。

〔 次回は , 宮崎市の安作 康嗣先生にお願いします 〕

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 10月～

平成 25年 9月 30日～平成 25年 11月 3日(第 40週～44週)

### 全数報告の感染症

- 1 類：報告なし。
- 2 類 ○結核 22例 保健所別報告数を【図 1】に示した。患者が 12例、無症状病原体保有者が 10例で、患者は肺結核が 6 例、その他の結核(結核性心膜炎、結核性胸膜炎、腸結核等)が 5 例、肺結核とその他の結核の併発が 1 例であった【表 1】。男性 8 例・女性 14例で、年齢別報告数を【表 2】に示した。
- 3 類 ○コレラ 1 例 都城保健所管内で報告された。患者は 60歳代で、主な症状は米とぎ汁様下痢、嘔吐、脱水、頻脈、無尿、筋痙攣がみられた。海外渡航歴あり。V . cholerae O 1 エルトール小川型(コレラ菌)。
- 腸管出血性大腸菌感染症 4 例 宮崎市( 3 例)、日向( 1 例)保健所管内で報告された。患者が 1 例、無症状病原体保有者が 3 例で、年齢別では 2 歳が 1 例、20歳代が 2 例、50歳代が 1 例であった。原因菌と病型別の内訳を【表 3】に示した。
- 4 類 ○レプトスピラ症 1 例 宮崎市保健所管内で報告された。患者は 60歳代で発熱、結膜充血、黄疸、出血症状、腎不全がみられた。
- 5 類 ○アメーバ赤痢 2 例 宮崎市( 2 例)保健所管内で報告された。患者は 20歳代と 60歳代で、いずれも腸管アメーバ症。主な症状は下痢、粘血便等がみられた。
- 侵襲性髄膜炎菌感染症 1 例 延岡保健所管内で報告された。患者は 80歳代で発熱、ショック、菌血症がみられた。血清群は Y 群。
- 梅毒 1 例 宮崎市保健所管内で報告された。患者は 20歳代で早期顕症梅毒( 期)。鼠径部リンパ節腫脹(無痛性)がみられた。

### 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は 3,637人( 定点あたり 112.7)で、前月比 131%と増加した。また、例年と比べると 120%と多かった。

前月に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎と咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はRS ウイルス感染症とヘルパンギーナであった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、手足口病であった。

感染性胃腸炎の報告数は 1,847人( 51.3)で前月の約 2.4倍、例年の約 1.7倍であった。延岡( 76.3)、小林( 65.7)保健所からの報告が多く、年齢別では 6 か月から 3 歳が全体の約 6 割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は 318人( 8.8)で前月の約 1.2倍、例年の約 5 倍であった。日南( 30.0)、都城( 14.8)保健所から

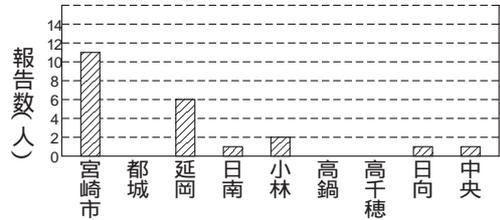


図 1 保健所別報告数(結核)

表 1 結核の病型別報告数(人)

肺結核	6
肺結核及びその他の結核	1
その他の結核	5
無症状病原体保有者	10

表 2 結核の年齢別報告数(人)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	2	2	2	1	6	6	2

表 3 腸管出血性大腸菌感染症 原因菌別 病型別報告数(人)

原因菌	患者	無症状
O 157(V T 2)	0	1
O 血清型不明(V T 1)	0	2
O 血清型不明(V T 2)	1	0

### 前月との比較

	2013年 10月		2013年 9月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	1	0.0	0	0.0	
RSウイルス感染症	334	9.3	510	14.2	
咽頭結膜熱	318	8.8	257	7.1	
溶レン菌咽頭炎	156	4.3	132	3.7	
感染性胃腸炎	1,847	51.3	764	21.2	
水痘	145	4.0	162	4.5	
手足口病	441	12.3	399	11.1	
伝染性紅斑	4	0.1	9	0.3	
突発性発しん	195	5.4	135	3.8	
百日咳	2	0.1	1	0.0	
ヘルパンギーナ	78	2.2	120	3.3	
流行性耳下腺炎	32	0.9	35	1.0	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	83	13.8	91	15.2	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	1	0.1	3	0.4	
マイコプラズマ肺炎	0.0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0.0	0.0	0	0.0	
* 感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	-	-	

例年同時期(過去 3 年の平均)より報告数が多い A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

* 感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)は 2013年第 42週より基幹定点からの届出対象となった。

病原体検出情報(微生物部)

検出病原体		件
細菌	腸管出血性大腸菌(O103 H2VT1)	1
	腸管出血性大腸菌(OUT HUT VT2)	1
	腸管出血性大腸菌(O26 H11VT1)	1
	Salm onella Saintpaul(O4 eh 1,2)	1
菌	Salm onella Stanley(O4 d 1,2)	1
細菌	Salm onella Braenderup(O7 eh en z15)	1
	Salm onella Montevideo(O7 g,m,s -)	1
	Salm onella Corvallis(O8 z4,z23 -)	1
	Salm onella Thompson(O7 k 1,5)	4
ウイルス	エコーウイルス3型	3
	コクサッキーウイルスB2型	1

の報告が多く、年齢別では1歳から4歳が全体の約7割を占めた。

手足口病の報告数は44人(12.3)で前月の約1.1倍、例年の約1.3倍であった。日向(37.0)、日南(32.3)保健所からの報告が多く、年齢別では6か月から3歳が全体の約9割を占めた。

月報告対象疾患の発生動向 10月

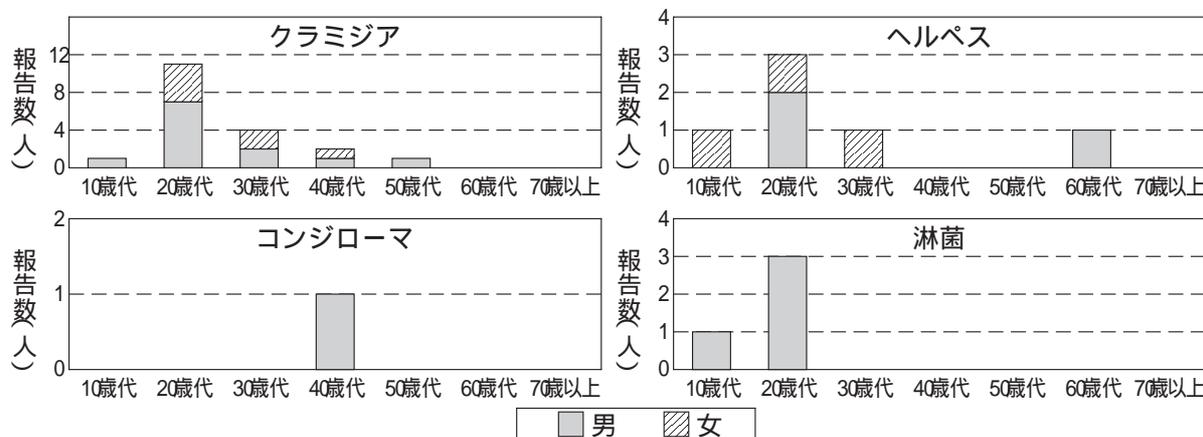
性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数 13

定点医療機関からの報告総数は30人(2.3)で、前月比103%と横ばいであった。また、昨年10月(3.4)の約7割であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症 報告数19人(1.5)で、前月の約1.1倍、前年の約7割であった。20歳代が全体の約6割を占めた。(男性12人・女性7人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数6人(0.46)で、前月の約3倍、前年の約8割であった。20歳代が全体の約半数を占めた。(男性3人・女性3人)
- 尖圭コンジローマ 報告数1人(0.08)で、前月と同程度、前年の約半数であった(男性のみ)。
- 淋菌感染症 報告数4人(0.31)で、前月の約半数、前年の約6割であった(男性のみ)。



薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数 7

定点医療機関からの報告総数は26人(3.7)で前月比90%と減少した。また昨年10月(6.6)の約6割であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 報告数25人(3.6)で、前月の約9割、前年の約6割であった。70歳以上が全体の約7割、5歳未満が約2割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)で前年の約半数であった(前月報告なし)。患者は70歳以上であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症 報告はなかった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症 報告はなかった。

(宮崎県衛生環境研究所)

## 各都市医師会だより

### 宮 崎 市 郡 医 師 会

本年 10月時点での宮崎市郡医師会員における勤務医の占める割合は 45.9%であり、ここ数年ほとんど変化がない。それは、日本医師会においても同様である。一方で最近の医療を取り巻く環境は刻々と変化している。更に現在検討されている国の政策や国外からの圧力によっては、遠くない将来、日本の医療は危機的な影響を受けかねない状況である。このような時代にこそ開業医とか勤務医とかの枠を超えて、一致団結して事に当たることが肝要である。

全国の医師全体に占める勤務医の割合が 7割であることを考えると、もっと多くの勤務医に医師会活動に参画し、医師会の持つ様々な機能を通して医療改革への積極的な提言を行っていただきたいものである。どこの医師会でもこの思いは同じであり、長年の課題でもある。

10月、大分市で開催された第 5回九州首市医師会連絡協議会の勤務医協議会でもこの課題に対する討議がなされた。医師会における勤務医活動の見えにくさが、勤務医が医師会入会を見合わせている要因の一つではないかという投げかけであった。それに対して、佐賀市医師会、那覇市医師会、大分市医師会、宮崎市郡医師会は勤務医部会もなく県医師会に任せているというものだった。これに対して歴史の古い医学部を持つ首市医師会においては勤務医部会を持ち、その主導のもと様々な工夫がなされていた。

その活動の主なもの、勤務医師を招待しての懇親会と医師会活動の説明会、季刊誌の発行、学術講演会、各種委員会への勤務医の配置、保健衛生事業への参加、医師会立保育所運営の関与などである。これらの活動を通じて医師会への入会を促したり、医師会への帰属意識を高めているというものであった。

当医師会においても将来的には勤務医部会が既存する他の医師会を参考にしながら勤務医への入会促進活動や広報活動を行っていきたいと考えている。

その際、入会へのメリットを強調するのではなく、医師会活動への参画が日本の医療を良くしていくのだという、本来すべての医師が持っているはずの医の倫理・理念に訴えかける視点が重要であると考えている。  
(首藤 謙二)

◇◇ ◇◇ ◇◇ ◇◇ ◇◇

### 都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

9月 29日に医師会 3施設新築移転の起工式が盆地の中心と思われる絶好のポジションで執り行われました。無事故で新施設が完成し都城盆地のみならず宮崎県西部および近隣の鹿児島の方々の健康の維持管理、夜間を中心とした救急医療および先進的な技術による検査・治療などが行われるよう会員一同願っています。

(政所 治道)

◇ ◇ ◇ ◇

### 延 岡 市 医 師 会

本医師会は、昭和 50年より延岡医学会という学術組織を運営し、年 1回の総会と不定期の講演会を開催しています。平成 24年度は合計 39回、延べ 1,402名、平均 36名の参加がありました。講師は、地元のみならず日本全国からお出でいた

だいており、講演会後の懇親の場では延岡伝統の「お接待」つまり「おもてなし」をしています。初心にかえって当医師会の医療レベルアップのため医学会を存続・維持していくつもりです。

(大地 哲史)

◇ ◇ ◇ ◇

### 日 向 市 東 臼 杵 郡 医 師 会

今年も看護学校の一次試験が実施されました。受験者は 32名でした。例年入学後、残念ながら数名が退学していきます。理由は、学習意欲の喪失あるいは精神的な問題を抱えて、看護師を目指すモチベーションが低下したこと等さまざまです。

2年前から作文を無くし、作業処理能力を見極めるテストを導入することで退学生が減少してきました。今年度は、適性を客観的に評価するために面接官を増やし、多方面から人材を見

極めていくことにしました。

今後も希望して入学した学生全員を卒業させるべく看護学校体制づくりを充実させていきたいと思ひます。(渡邊 康久)

◇ ◇ ◇ ◇

### 児 湯 医 師 会

今年に酷暑が続きました。外来に來られた熱中症の患者さんには「涼しい環境を作つて、水分塩分をとつてくださいね」くらいの対応でしたが、来院できず、近所の方や保健センターの方から往診依頼を受けることも多く、訪問すると、厳しい環境の方ばかりでした。エアコンがなく、あつても使い方がわからない...診察中の我々も汗ダクダクの状況です。普段は援助がなくとも生活可能ですが、暑さなど環境が変化すると対応できず、軽い脱水でちょっときつからと横になっていることが多くなつて、しかし継続する酷暑のため回復せず、食事水分も億劫になり、さらに脱水、熱中症が悪化する。少しでも涼しくなつたり、誰かが食事水分など援助できたらひどくならずに済むのですが、ままならないのが現実でした。

悪くなつて医療をするのではなく、医療には生活支援という視点も大事だと思ひます。些細なことでもできることはとクールシェアを提供しました。取りかかりが遅かつたので実際利用した方はいませんでしたが、来年は他にも呼びかけて町全体で取り組もうと思ひます。しかし高齢者と関われば関わるほど医療だけでは解決できないことを思い知らされます。

目の前の医療だけにくたびれず、一つひとつみんなと取り組まなければと改めて思ひます。(永田 昌彦)

◇ ◇ ◇ ◇

### 西 都 市 西 児 湯 医 師 会

旧西都医師会病院の不明金問題ですが、不明金の根拠となつた窓口請求額と収入額の差 1,770 万円は、窓口請求額に窓口で支払う必要のない高額療養費が含まれていたためのものでした。医療センター元事務局長らが立ち上げた外部調査委員会がこの問題を提起し医師会を批判、市の第三者検討委員会も設置されましたが、結局は医師会が自ら調査し説明しました。その間 3 年が経過しましたが、それは医師会側に病院調

査資料がすぐには戻つてこなかつたためです。外部調査委員会分を含めた調査費用の負担などまだ残された問題はありますが、ようやく胸のつかえが取れたところです。しかし、この結果を市民や医療関係者までもが十分周知しておらず、まだ誤解を受けていることもしばしばです。医師会の信用と名誉が回復されるまでにはまだ時間がかかりそうです。(杉尾 克徳)

◇ ◇ ◇ ◇

### 南 那 珂 医 師 会

理事会で、日本医師会雑誌 10 月号(在宅医療の充実に向けて)が話題になりました。南那珂医師会では、在宅ケア研究会を長年行つており行政、医師、看護師、リハビリテーション、ケアマネジャー等の立場から意見交換を行つています。往診の時代から、地域包括ケアシステムに変換し情報の共有と、経験が蓄積されています。2025 年には団塊の世代が後期高齢者となり現状のシステムでは対応が困難となります。超高齢社会が始まる前より課題が山積していますが、乗り越えなければならぬ壁だと思ひます。

(井藤 健)

◇ ◇ ◇ ◇

### 西 諸 医 師 会

西諸医師会では平成 24 年度より県と県医師会のモデル事業として西諸地域うつ病医療連絡会議を定期開催している。うつ病治療における精神科の早期介入を実現するために、一般かかりつけ医が行うスクリーニングや情報提供を簡潔かつ有効なものにして G.P 連携 かかりつけ医・精神科医連携 を強化しようという試みである。少しでも自死抑制につながることを望まれる。

(内村 大介)

◇ ◇ ◇ ◇

### 西 白 杵 郡 医 師 会

第 53 回宮崎県精神保健福祉大会(宮崎県、宮崎県精神保健福祉連絡協議会、宮崎県精神科病院協会などの主催)が、10 月 22 日に高千穂町の町武道館で開催された。今大会では、「神話のふるさと高千穂でひろげよう神話のまちづくり」をテーマに、県内の福祉医療関係者ら約 530 人が参加し、精神障害への理解を深めた。(植松 昌俊)

◇ ◇ ◇ ◇



## あなたできますか？

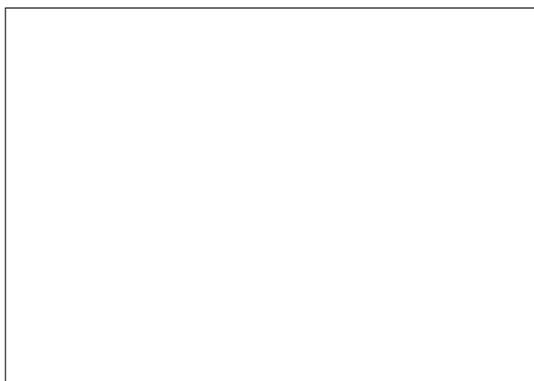
平成 24年度 医師国家試験問題より

( 解答は 69ページ )

1. 糖尿病の慢性合併症でないのはどれか。
  - a 足趾壊疽
  - b 尋常性痤瘡
  - c Charcot関節
  - d 浮腫性硬化症
  - e Dupuytren拘縮
2. サルコイドーシスの気管支鏡検査所見として正しいのはどれか。2つ選べ。
  - a 気管支粘膜の白苔
  - b 粘膜下血管の網目形成所見
  - c 気管支肺胞洗浄 (BAL) 液中のリンパ球分画低下
  - d 米のとぎ汁様の白濁した気管支肺胞洗浄 (BAL) 液
  - e 経気管支肺生検 (TBLB) での非乾酪性類上皮細胞肉芽腫
3. 水様下痢が持続し乏尿となった若年男性の検査結果を示す。血圧 86/52mmHg。血液所見 Ht54%。血液生化学所見 尿素窒素 64mg/dl, クレアチニン 2.8mg/dl, 尿酸 8.4mg/dl, Na 138mEq/l, K 4.1mEq/l, Cl 110mEq/l。  
尿所見として予想されるのはどれか。
  - a 尿比重 1.006
  - b 尿蛋白 3+
  - c 尿潜血 2+
  - d 尿Na 6mEq/l
  - e 尿K 0mEq/l
4. 6歳の男性。生来健康である。1週前に孫が生まれたのをきっかけに禁煙を思い立った。昨日から禁煙しているが、イライラ感が強いので禁煙外来を受診した。その時の医師と患者の会話を以下に示す。  
患者 「昨日起きてから禁煙しているのですが、たばこを吸いたくてたまらなくなります」  
医師 「それは大変ですね。しかし、禁煙を始められたのは、たいへん立派だと思います」  
患者 「ありがとうございます。禁煙のつらさがよくわかりましたので、適切な指導が必要だと思ってきました」  
医師 「わかりました。それでは一緒に頑張りましょう」  
行動変容のステージはどれか。
  - a 無関心期
  - b 関心期
  - c 準備期
  - d 実行期
  - e 維持期
5. 成人の胃食道逆流症の典型的な症状はどれか。2つ選べ。
  - a 呑酸
  - b 胸やけ
  - c 体重減少
  - d 空腹時痛
  - e 唾液分泌過多
6. 20歳の男性。大学を休んでいることを心配した母親に伴われて来院した。大学3年生の6月から半年間休んでいる。昼夜逆転の生活を送っているが、趣味のバンドの練習には週に3日参加している。礼節は保たれ、服装も整っている。「大学には行っていないけれど、これといって嫌なことがあるわけじゃない。バンドは楽しいけど、逃げているだけのようにも思う。将来のことを考えると、自分がどうしたらいいのか分からない」と語った。思考はまとまっておらず、抑制はみられず、静穏である。身体診察では異常所見を認めない。  
最も考えられるのはどれか。
  - a うつ病
  - b 統合失調症
  - c 社交不安障害
  - d 全般性不安障害
  - e 自我同一性形成の障害
7. 2歳の女兒。発熱、咳嗽および呼吸困難を主訴に来院した。前日から発熱し、当日朝から咳嗽が出現した。夕方から嘔声が出現した。夜になって犬が吠えるような咳がみられるようになり、呼吸が苦しそうだため、母親に連れられて受診した。意識は清明だが、顔色はやや不良である。呼吸数 30分。軽度の陥没呼吸を認める。SpO₂ 94% (room air)。胸部の聴診で聴取される可能性が最も高いのはどれか。
  - a 吸気性喘鳴
  - b 呼気性喘鳴
  - c 胸膜摩擦音
  - d fine crackles
  - e coarse crackles
8. 5歳の男性。息切れと皮下の出血斑とを主訴に来院した。生来健康で1年前の会社での健康診断では異常はなかった。4か月前から階段で息切れを自覚するようになり、2か月前に顔色不良を指摘された。1週前に下腿前面に赤紫色の小斑点が多発しているのに気付く受診した。血液所見 赤血球 160万, Hb 5.6g/dl, Ht 17%, 網赤血球 0.4%, 白血球 2,300桿状核好中球 10%, 分葉核好中球 15%, 好塩基球 1%, 単球 6%, リンパ球 68%), 血小板 0.9万。骨髓生検で著明な低形成を認める。  
この患者で予想される症候はどれか。
  - a 脾腫
  - b 心雑音
  - c 嚥下障害
  - d 両上肢感覚障害
  - e 頸部リンパ節腫脹

## 宮崎大学医学部だより

### 附属病院 - リハビリテーション部 -



#### 1. 概要

リハビリテーション部は、昭和 52年開院と同時に院内措置としての特設診療施設となり業務が開始されていたが、平成 14年 4月 1日付で、省令による中央診療部としてのリハビリテーション部となり現在に至っている。昭和 53年に運動療法施設基準実施の認可が下り、平成 2年には学内各関係者からなるリハビリテーション部運営委員会が発足し、運営されている。平成 25年 4月より、リハビリテーション部の組織の整備を図るため、リハビリテーション部職員に技士長が配置された。

#### 2. 業務の現状

人員構成について、リハビリテーション部の部長は整形外科の科長が併任し、副部長はリハビリテーション部准教授が兼任している。また、メディカルスタッフは、理学療法士 11名、作業療法士 5名、言語聴覚士 2名で診療訓練にあたっている。

診療内容に関しては、大学病院といった特殊な性格上、急性期の患者が主体である。原疾患が落ち着いた時点でリハビリテーションが途中であっても転院せざるを得ず、疾患の種類にもよるが、リハビリテーションの継続が必要な患者は外部の医療機関にて引き続き行うことになる。従って、他院との関係が重要となってくる。

本部門で扱った実人数は、2010年度入院 17,975人 外来 5,205人、2011年度入院 19,849人 外来 5,506人、2012年度入院 22,806人 外来 5,668人と増大傾向にあり、依頼科は全科にわたっている。さらに平成 24年 4月から、救命救急センターが設置され、宮崎県ドクターヘリの運航が開始されたことにより、受入の幅が広がっている。以前は、受入可能な患者数が増えすぎた場合には、新規患者のリハビリテーション開始を待ってもらう事態も年に何度となく生じていたが、現在は療法士が増加したことで改善されている。また、従来はマンパワーの不足から訓練の困難であったアスレチックリハ(スポーツリハビリ)も充実してきている。

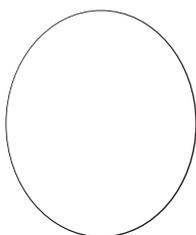
その他に高次脳機能障害支援ネットワークの整備やロコモティブシンドロームの啓発活動を県・医師会と一緒に進めている。研究活動として、スポーツリハビリとしての社会人・高校生のメディカルサポートを定期的に行い、宮崎リハビリテーション研究会、宮崎県スポーツ学会、日本健康運動看護学会等に報告を行っている。

#### 3. 将来構想

高齢社会(超高齢社会)となり、各疾患における合併症や併存疾患を持つ患者は増大傾向にあることから、リハビリテーションは QOL の面からそのニーズは益々高くなっている。宮崎県は、全国よりも速いペースで高齢化が進んでいることから、本県の地域リハビリテーションにおけるセンター的な役割を十分に発揮し、高齢化社会・介護社会の要請に十分な対応ができるよう、質的・量的充実が望まれる。また東京オリンピック・パラリンピック(2020)が決まり、より一層スポーツ医学が脚光を浴びリハビリテーションの方面からも種々取り組む事柄があり、また患者側からも要求されている。基礎的、臨床的な面からその要求に答えて行くべきと考えている。今後も県医師会の先生方からの患者さんのご紹介や宮崎県のリハビリテーション医学の発展にご協力ご支援をお願いいたします。

(部長 帖佐 悦男, 副部長 鳥取部 光司)

## 専 門 分 科 医 会 だ よ り ( 泌 尿 器 科 医 会 )



なかやま けん  
中山 健 会長

前回の平成 24年 3月に続いて、当医会の現況を報告します。

会員の動向を本年 7月に作成した医会名簿により述べますが、総数は 82名で前回より 4名の減少です。その内訳は開業医 2名、勤務医 53名、その他 2名で開業医が前回より 2名増加しました。会員が所属する医療機関の所在地は宮崎市 19、都城市 6、延岡市 3、日南市 3、日向市 5、小都市 3、西都市 1、串間市 1、東諸県郡 1、児湯郡 1、東臼杵郡 1 とほぼ全県下にわたっております。医会役員は副会長を児湯郡の永友和之、宮崎市の蓑田国廣、幹事を大学の分田裕順、宮崎市の椎教次、福田聡一郎、南口尚紀、都城市の速見晴朗、延岡市の竹原俊幸、日向市の中村恒雄、日南市の村上憲彦、小林市の池井義彦、そして監事を東諸県郡の棚田敏文の諸先生にお願いしています。県立宮崎病院の木宮公一先生にも幹事として当医会の運営にご尽力いただいておりますが、まことに残念ながら本年 5月に病死されました。合掌。

医会の活動は、例会を原則として毎奇数月と 12月に行い、宮崎大学のお世話で全国の大学から講師をお招きし、各領域の最新情報を拝聴しています。本年 12月に第 183回を迎えますが、これは特に県外へ行きづらい開業医にとって大変有益な場です。加えまして、開業医中心の懇話会があり、会員数の多い宮崎地区では本年のみでも 12回開催し、主として当地の基幹病院の先生を講師として、ラウンド型式で自由討議を行いました。また、大学主催の日本泌尿器科学会

宮崎地方会もあり、これらへの参加により私達の「生涯教育の充実」は計られていると思っています。

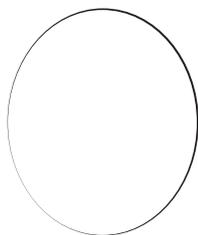
それから、医会挙げての取組みに「宮崎泌尿器科医療連携(Miyazaki Urological Network: M-U-Net, ミューネット)の構築があります。これは大学の賀本敏行教授のご提唱によるもので、平成 23年 1月にまず PSA 値を用いた前立腺癌治療(PSA パス)が開始されました。具体的には、基幹病院(現在は大学と都城市の藤元総合病院)と地域の医療機関(非泌尿器科を含む)との間で患者さんの情報(PSA 値)交換を紙で運用し、患者さんに原則として年 1回、或いは設定された PSA 値を越えた時点で基幹病院を受診していただくというものです。本年 8月までの登録例数は 515、参加する医療機関数は 3(非泌尿器科 2を含む)で、なお増加中です。PSA パスの詳細につきましては宮崎大学泌尿器科のホームページに掲載してありますので、どうぞご参照下さい。平行して M-U-Netカンファレンスの集会も行われ、すでに 4回を数えました。近く、新たに腎癌のクリニカルパスも開始される予定です。

お陰様で私が願っております「病診・診診連携の強化」や「宮崎大学との協調ならびに緊密な連携」と前述の「生涯教育の充実」の三本柱の組み立ては今や更に堅固なものになっていると自負します。

当医会是他医会との交流も進めており、本年 6月 20日には「過活動膀胱」をテーマに第 5回宮崎県泌尿器科・内科連携の会を開催しました。

今後とも当医会に対する皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い致します。(中山 健)

## メディアの目



## 地震雑感

共同通信社 宮崎支局長

し みず あき のり  
清 水 昭 範

南海トラフ巨大地震の発生直後、宮崎市内に押し寄せる津波。またたく間に水没する橋やビル。宮崎大学の研究者らがスーパーコンピューター「京」で行った津波シミュレーションだ。津波の動きを 3 次元で分析し、地域の弱点を浮き彫りにし、津波避難ビルの選定や避難経路の検討に役立てるのが狙いだ。

宮崎県は、マグニチュード 9 規模の地震が発生すれば、最大震度 7 の揺れと津波で死者は 3 万 5 千人に上ると想定した。一方で、建物の耐震化を進め、早期避難を実行すれば 8,600 人にまで減らせるとしている。

南海トラフ地震の大津波が想定される西日本の各地で、減災・被災対策が進んでいる。宮崎を含む多くの自治体が頼みにしているのは津波避難タワーだが、静岡県袋井市では土を盛った「築山」の建設、高知県芸西村には集会所を高床式にする計画もある。現代版「ノアの箱舟」として「津波救命艇」の試作も進んでいる。関西や四国では、ゴルフ場が被災者の受け入れで自治体と協定を結んだ。また名古屋市では、大規模災害時、市内の全市立中学校に地域の医師を集め、医療拠点とする準備を進めている。

わが支局でも緊急時の備えを点検してみた。衛星を利用した通信機器や無線機は大丈夫だ。宮崎空港のヘリポートが津波で使えないことを

考えて、代わりになる場所を探してみたが、ヘリコプターの離着陸には思いの外に広い場所が必要なことを学んだ。食料の備蓄も予想外に手こずった。若手記者に食料を買いに行かせたところ、ピスケットのようなお菓子を買ってきた。数か月で賞味期限切れになり、みんなで食べる羽目に陥った。

他県から応援に来る記者用の宿泊施設も必要だが、市内で自家発電機を備えたホテルは限られる。きつと取り合いになるだろうから、支局長の業務は、地震がきたら、支局員の安否確認に次いで、ホテル予約の電話を入れることかな、と考えたりしている。

駆け出しの記者だった静岡支局では、伊豆東沖群発地震で大打撃を受けた伊東温泉街を目の当たりにした。阪神大震災では学生のころ世話になった神戸・三宮の街が壊滅し、宝塚の実家も半ば壊れた。仙台時代には、宮城・岩手内陸地震を体験し、土石流で旅館が流され、行方不明者の捜索を 1 週間取材した。仙台から東京に戻って 2 年たたない内に東日本大震災が起きた。刺身定食を食べた海辺の街は跡形もなくなった。地震列島に住む限り、地震との縁は切れない。東日本大震災を経て、ますます備えの重要性を痛感している。

## 薬事情報センターだより ( 319)

## バイオ後続品

バイオ後続品とは、国内で既に新有効成分含有医薬品として承認されたバイオテクノロジー応用医薬品(以下「先行バイオ医薬品」という)と同等/同質の品質、安全性、有効性を有する医薬品として、異なる製造販売業者により開発される医薬品のことです。同等性/同質性とは、先行バイオ医薬品に対して、バイオ後続品の品質特性がまったく同一であることを意味するのではなく、品質特性において類似性が高く、かつ、品質特性に何らかの差異があったとしても、最終製品の安全性や有効性に有害な影響を及ぼさないと科学的に判断できることを意味します。適宜先行バイオ医薬品を比較対象とし、物理化学的試験、生物活性試験、さらに非臨床・臨床試験データを組み合わせることにより、同等性/同質性が評価されます。

バイオ後続品の開発では、一次構造(アミノ酸配列)が先行バイオ医薬品と同じでも、複数の機能部位から構成されるといった複雑な構造、生物活性、不安定性、免疫原性等の品質特性から、化学合成医薬品と異なり先行バイオ医薬品との有効成分の同一性を実証することが困難な場合が少なくなく、基本的には化学合成医薬品の後発品(以下「後発品」という)と同様のアプローチは適用できないため、後発品とは異なる新たな製造販売承認申請区分で申請することになっています。

バイオシミラーという呼び方もよくされます。欧米では「バイオシミラー」が正式な呼び名ですが、わが国の規制上では、「バイオ後続品」とい

う名称が使われています。各国で、同等/同質という共通のコンセプトに基づいて、ガイドラインが制定されています。しかし、開発の要件、承認基準などに多少の相違があり、わが国のバイオ後続品と海外のバイオシミラーは完全に同じではありません。

一般的名称は、個別品目の承認審査によってバイオ後続品と判断された時点で、先行バイオ医薬品の一般的名称(遺伝子組換えに係る記載を除く)の末尾に「後続 1( 2, 3, …)」を角括弧書きで追記したものとなります。但し、目的とする有効成分の一次構造を含む本質等が先行バイオ医薬品の有効成分と同一と判断される医薬品については、先行バイオ医薬品の一般的名称となります。また、販売名については、一般的名称(名称中の遺伝子組換え等に係る記載は省略し、また、「後続 1( 2, 3, …)」の代わりに「BS」と記載)に剤形、含量及び会社名(屋号等)を付することが原則とされます。

## 参考資料

バイオ後続品に係る一般的名称及び販売名の取扱いについて

(平成 25年 2月 14日薬食審査発 021第 1号)

バイオ後続品の品質・安全性・有効性確保のための指針

(平成 2年 3月 4日薬食審査発第 030400号)

押さえておきたいバイオ後続品の基本と特徴・月刊薬事 56(11), 59-64. 2013

(宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)

## 日本で販売されているバイオ後続品(平成 25年 11月 1日現在)

先行バイオ医薬品		バイオ後続品		
製品名	一般的名称	製品名	一般的名称	承認年
ジェノトロピン	ソマトロピン (遺伝子組換え)	ソマトロピンBS皮下注 「サンド」	ソマトロピン(遺伝子組換え)	2009
エスポー	エポエチンアルファ (遺伝子組換え)	エポエチンアルファBS 注「JCR」	エポエチンカップ(遺伝子組換え) [エポエチンアルファ後続 1]	2010
グラン	フィルグラスチム (遺伝子組換え)	フィルグラスチムBS注 「モチダ」, 同「F」	フィルグラスチム(遺伝子組換え) [フィルグラスチム後続 1]	2012
		フィルグラスチムBS注 「NK」, 同「テバ」	フィルグラスチム(遺伝子組換え) [フィルグラスチム後続 2]	2013

一部剤形、含量等は省略しています。

## 各種委員会

## 介 護 保 険 委 員 会

と き 平成25年10月24日(木)

ところ 県医師会館

テレビ会議：延岡

石川常任理事の司会で開会した。河野副会長からの挨拶後、牛谷委員長により議事進行が行われた。

## 1. 主治医研修会について

毎年県から委託を受けて行う介護保険主治医研修会について実施要領を確認の上、企画を行った。

検討の結果、内容は、最初に県長寿介護課から県の介護保険情勢および今後の介護保険制度改正について説明をいただき、講演会は審査員や他職種(薬剤師、看護師、介護福祉士、理学療法士等)へ依頼することになった。

なお、2月1日にテレビ会議システムを利用して開催する。

## 2. 県医師会在宅医療協議会について

役員および会員(149名)について、また、県看護協会および県介護支援専門員協会より推薦いただいた在宅医療推進に伴う各地域の担当者について確認を行った。

8月3日に開催した各都市医師会介護保険担当理事と県医師会在宅医療協議会役員等との合同協議会について報告があった。

## 3. 在宅医療推進事業について

在宅医療連絡協議会強化事業(事業主体：県医師会)として、県医師会在宅医療協議会のさらなる基盤整備・組織強化を行い、在宅医療を推進するための検討や研修会等を行う。

圏域毎の在宅医療ネットワーク推進事業(事

業主体：各都市医師会)として、前年度に引き続き、圏域毎に、在宅医療の専門職が参加する在宅医療ネットワークにおいて、連絡会議、研修会、情報交換会等を開催し、多職種連携を深める。圏域毎に、在宅医療に関係する機関のリストを整備する。

また、各都市医師会への補助金分配についても説明を行った。

出席者 牛谷委員長、山路副委員長、  
宮本・松本・池井・鳥取部・谷口委員  
(県医) 河野副会長、立元・石川・池井・  
牛谷常任理事、矢野理事、小川課長  
鳥井元係長

## 諸 規 程 検 討 委 員 会

と き 平成25年10月31日(木)

ところ 県医師会館

テレビ会議：延岡・日向

協 議

## 1. 裁定委員会規程(案)

前委員会での指摘事項及び修正点の説明が行われ、協議の結果、郡市医師会の執行延期の通告と意見書提出の条文に「その採決の執行の延期を通告すると共に」を加えること、並びに全般に渡り読点を整理することの変更を加えた上で、変更案とすることが承認され、後日答申としてまとめることとなった。

## 2. 議事規則(案)

日医の議事規則を参考に作成した原案の説明が行われ、協議の結果、以下の点について変更を加えた上で、変更案とすることが承認され、後日答申としてまとめることとなった。

- ・ 欠席の届出の期限を追加
  - ・ 秘密会議の削除
  - ・ 議長は法的に議事進行の整理権を持つので、  
「議事進行に関する発言」は削除
3. 医事紛争対策委員会規則(案)
- 原案の説明が行われ、協議の結果、第 12条  
「本委員会において別に定める」の「別に」を削除、  
全般に渡り読点を整理することの変更を加えた上で、  
変更案とすることが承認され、後日答申としてまとめることとなった。
4. その他
- ・ 会費賦課徴収規程の出産育児免除の取扱い  
について

出産育児の会費免除について、申請の始期及び範囲が明記されていなかったため、「出産時の翌年度まで申請可とし、」を加えること、代議員会の承認事項であるが、それまでは内規として運用すること等の説明が行われ承認された。

出席者 - 長倉委員長，市来副委員長，  
溝口・青柳・花田委員  
(県医) 稲倉会長，富田副会長，立元・  
吉田常任理事，大重事務局長，  
竹崎課長，喜入主事

## お知らせ 年末・年始の休館について

県医師会館(医師会，医師国保，医師協同組合・エムエムエスシー，病院厚生年金基金)は年末・年始休業のため、下記のとおり休館いたしますのでお知らせします。

記

期 間 平成 25年 12月 29日(日)～平成 26年 1月 3日(金)

緊急連絡先 総務課長 090-9572-1385

事務局長 080-5266-7453

## 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会

と き 平成 25年 11月 12日(火)

ところ 県医師会館

立元常任理事の司会により開会。稲倉会長，佐藤福祉保健部長，渡邊病院局長の挨拶の後，事前に郡市医師会の意見を踏まえ取りまとめた下記項目について要望し，意見交換を行った。これに対し県は現状を説明した上で，予算確保・維持に全力で取り組んでいくとの回答があった。

### 要望事項

1. 医師確保について( 富田副会長 )
2. 小児医療の充実について( 高村理事 )
3. 宮崎県周産期医療体制の維持について  
( 濱田常任理事 )
4. スポーツランドみやざきについて  
( 池井常任理事 )
5. 女性医師の勤務環境改善策について  
( 荒木常任理事 )
6. 看護学校の運営について( 立元常任理事 )
7. 在宅医療推進のための提言について  
( 石川常任理事 )
8. 救急医療について( 古賀常任理事 )
9. その他
  - ・医療安全について( 宮崎市郡医師会 )
  - ・県立宮崎病院精神医療センターの更なる機能充実について( 宮崎市郡医師会 )
  - ・県西地区の医療体制の確立と予算について  
( 都城市北諸県郡医師会 )
  - ・県立病院の連携について( 日向市東臼杵郡医師会 )
  - ・施設整備補助金の新設について( 南那珂医師会 )

出席者 -

### 【県福祉保健部】

佐藤部長，富高次長( 福祉担当 )，  
日高次長( 保健・医療担当 )，  
長倉医療薬務課長，川越長寿介護課長，  
古川障害福祉課長，和田健康増進課長，  
蛭原感染症対策室長

### 【病院局】

渡邊局長，桑山次長

### 【医療薬務課】

小田課長補佐，津田主幹( 医務担当 )，  
長倉主幹( 地域医療担当 )，  
児玉主幹( 医師確保担当 )，  
早川主査( 看護担当 )

### 【病院局経営管理課】

横山課長補佐( 総括 )，  
米良課長補佐( 経営・財務 )

### 【県医師会】

稲倉会長，河野・富田副会長，立元・吉田・  
濱田・古賀・石川・荒木・池井・牛谷・  
金丸常任理事，高橋・上田・矢野・直井・  
峰松・佐々木・青木・高村理事  
大重事務局長，與・小川・竹崎・杉田・  
久永課長，牧野係長

## 平成 25年度都道府県医師会検案担当理事連絡協議会

と き 平成 25年 10月 9日(水)

ところ 日本医師会館

高杉日医常任理事により開会，本協議会が進  
行された。

横倉日医会長挨拶(代読 今村日医副会長)

計り知れない犠牲者を出した東日本大震災に  
おける絶望的な状況の中での検案活動，昨年成  
立をみた死因究明二法とこれに基づいて国に設  
置された「死因究明等推進会議」での議論など，  
死因究明，死体検案の分野は，社会全体の中  
において重要性を高めてきている。

亡くなられた方のご遺体を正確に検査し，身  
元を特定し，その死因を正確に診断することは，  
その故人に対する「最後の医療」として，決して  
疎かにしてはならない事柄であると考え。最  
後の医療を提供することは，亡くなられた方  
の名誉と尊厳を守り，残されたご遺族の尊厳を  
守ることにつながっていく。一人のご遺体の死  
因をきちんと究明することは，社会全体の医学，  
公衆衛生の向上，あるいは治安の維持などにも  
連なる，極めて重要な意味をもつと考える。我々  
医師は，現に生きている患者さんに対すること  
と同様，ご遺体に対しても，厳粛な態度で接す  
べきことを自覚せずにはおれない。

本日は，日頃から警察に協力して検視立会い  
や検案などを担当されておられる先生方の連絡  
調整のための組織を平成 26年度を目途に日本医  
師会内に設けることをお伝えし，各都道府県医  
師会において必要な準備をお願いすることが目  
的である。

警察の検視に協力し，ご遺族の求めに応じて  
的確な検案を行うことができる医師を養成し，

大規模，広域な災害が発生した際には，警察と  
の連携のもとに，医師を迅速に被災地の検視・  
検案業務に派遣する体制を整えることは，今や  
喫緊の課題である。来年度から日本医師会が，  
各都道府県医師会のご協力のもとに取り組もう  
としている，警察に協力する医師の全国組織化  
の事業は，社会的に極めて意義のあるものと自  
負する次第である。

本日の協議会は極めて実務的性質を多く含む  
内容となっており，担当理事の先生方におかれ  
ては，活発かつ忌憚のない意見交換をしていた  
だき，医師会主導による検案業務の円滑な実施  
にご尽力を賜りますよう，心よりお願い申しあ  
げる。

内閣府死因究明等推進会議等における議論に  
ついて

内閣府大臣官房審議官死因究明等推進会議

事務局長 安森 智司

平成 24年 6月に議員立法により，死因究明等  
の推進に関する法律が成立し，同年 9月内閣府  
に死因究明等推進会議が設置された。推進会議  
においては，死因究明等推進計画案の作成に資  
するため，検討会を開催することが決定され，  
人材の育成・施設等の整備・制度の整備の 3つ  
に分類したうえで順次議論を進めていくところ  
である。検案する医師の技術向上を図ることを  
目的に厚労省では死体検案研修会を実施し，昨  
年度までに 77名が修了している。今後について  
は，死亡時画像診断や解剖等の結果と検案結果  
を比較出来るなど，検案医師の資質・能力を向

上させていただければと考える。今までのような警察医としての使命感や正義感を持った活動だけではなく、犯罪見逃しを無くすうえでも先生方には今後とも協力をお願いしたい。

警察における死体取扱状況及び死因・身元調査法の施行状況等について

警察庁刑事局捜査第一課

検視指導室長 檜垣 重臣

警察における死体取扱総数は年々増加傾向にあり、東日本大震災での死者・交通事故を原因とする死者を除いた平成 24年度の死体取扱件数は、173,833件であった。厚労省の人口動態件数調査と対比した場合、全国で亡くなられた総数の警察が取り扱う死体取扱件数は概ね 14%を占めている。警察が取り扱う死体については、犯罪によって亡くなった可能性や疑いのある死体を主に取り扱うことになる。死体取扱業務の流れは、変死体の場合、刑事訴訟に則った形で検視を行う。それ以外の場合は本年 4月 1日より施行された、死因・身元調査法に沿った形で進められる。具体的には、体内の状況を調べる検査として、尿採取、薬物検査、CTによる画像検査等を行うことになる。更に検査が必要と判断された場合には、行政解剖が実施されることになり、犯罪死体かどうかの判断を行う。これ以上、死体に対する検査は必要ないと最終的な判断がなされたら、遺族に対して死因等の説明を行い遺体を引き渡すことになる。

死体の認知としては、国民からの 110番通報等により警察官が死体の存在を把握する、また救急搬送先の医療機関からの通報によって把握することも少なからずある。初めにその地域を管轄する警察において対応することになり、状況については、検視官への報告が行われる。ご存知のとおり、検視官とは捜査経験も長く犯罪に熟知した法医学知識を身に付けた専門の警察官のことである。検視・死体の調査については、

変死体の場合、検察官が検視を行うことと定められているが、実際は検察官が検視を行うことは極稀なことであり、ほとんどは検視官によって行われている。検視官が検視を行う場合には、警察内部規則として医師の立会いを求めて検視を行うこととしている。よって、変死体の死因および身元を明らかにするために外表の調査、死体の発見された場所の調査、関係者に対する質問等の必要な調査を医師および歯科医師に協力を求めることになる。大きく 3つに分けると、死体調査等時の立会い、死者が入通院歴があった場合の診療情報の提供依頼、体内状況を調べるための検査等を医師に医学的判断や助言をいただき協力を願うことになる。検査に関しては法律上、医師が行うことと定められているが、政令として死体現場にいる警察官が体内から体液、尿その他の物を採集し、簡易な器具を用いて薬物等を検出することについては実施可能としている。本年から施行された、死因・身元調査法の施行状況について、4月～6月の間、全国で 49件の新制度に基づく解剖を実施している。内閣府が取りまとめた死因究明等推進計画検討会中間報告書の中にも記載されているが、検案する医師が、死亡時画像診断や解剖等の結果と検案結果を比較することが出来るよう、警察が取り扱う死体に係る検査や解剖の結果について、捜査への影響に留意しつつ検案する医師に還元することとしている。今後においても、医師会と各都道府県警察がお互いを理解しながら密接に連携しつつ、大規模災害時の検案にも協力出来るよう体制づくりに努めていきたいと考える。日本医師会による警察活動に協力する医師の全国組織化について

今村日医副会長

警察医を取り巻く環境は非常に厳しいものとなっている。業務内容や警察医としての名称も

地域によって様々であり、待遇面においても同様で、それらが警察医の減少に繋がっている。また、検案の質についても地域ごとにバラつきが出てくる恐れがあり大変懸念している。東日本大震災に見られたように今後起こり得る大規模災害への備えについても検視・検案について日本医師会においても対応していく必要があると考える。昨年、死因究明二法の成立により、検視・検案体制の充実が一層求められることになった。去る 9 月 22 日に宮崎市にて開催された日本警察医会総会では、日本医師会主導による警察医の全国組織を早急に構築することが必要との総意のもと日本警察医会を発展解散することが決定している。よって、日本医師会では警察医の新たな全国組織化を検討することになった。今までのような警察医個人の犠牲や負担に頼ることなく、日本医師会が警察医の安定的確保のための責務を担う。また、検視・検案を担当する医師の質を全国的に均質化すべきであり、検案研修会受講修了を検案医師の選任要件とすることを今後検討していきたい。今後起こり得る大規模災害時等の検案医師派遣体制も早急に整備することが必要である。

事前に都道府県医師会からの質問事項に寄せられたように、警察医と警察嘱託医などの定義付けがまちまちで統一化されていない。日本医師会としては、警察における全ての業務、死体検案・警察職員への産業医的業務・留置人の健康管理を包含した業務を警察医が担うことを念頭に置いている。まず当面の取り組むべきこととして検視立会い・検案業務についてから議論していきたい。検視においては、司法の取り扱いであるが、本来検察官が行う業務を代行して警察官が行っている検視への立会いを医師が担っている。ここで犯罪性がないと判断された時に遺族の求めに応じて医師が検案したうえで検案書を発行することになる。

死因究明に関する人材育成への取組みとして、日本医師会主催の死体検案研修会を実施したいと考える。現在のところ基礎研修と上級研修の 2 つのコースに分けて行う。全ての医師の受講を目標とし、医師として検案業務の基礎的な知識を身につけていただき、大規模災害時への備えとしても有効な基礎研修と厚労省の委託事業としてこれまで国立保健医療科学院で計 4 日間に亘って行っている上級研修会を来年度以降は、日本医師会が現行の研修レベルを落とすことなく実施する予定である。解剖研修も含んでいることから、東京都監察医務院にも協力要請したいと考える。また、出来る限り、日本医師会主催して開催する以外でも質の高い研修会を受講していただきたい意向を持っているので、各地域においても研修会開催について検討していただきたい。今後、制度化を含めて日本医師会内に設置する委員会によって提言されていくことにはなるが、警察医として活動されておられる先生方には上級研修の受講を是非お願いしたい。

全国組織化の要点として、各都道府県医師会内に警察活動に協力する医師の部会を設置していただきたい。ただし、既存の警察医会を医師会内に設置されている場合は、その組織を早々に解体して部会を設置するのではなく、当面生かすような仕組みで取り組んでいただきたい。ただし、各地域において今後警察からの検視・検案依頼については、医師会内に設置した部会を通して、警察医を選任および派遣をしていただきたい。都道府県警察側にも警察庁を通じて協力を要請する意向である。

来年度以降は、日本医師会にて連絡協議会を開催することになるが、年一回程度、総会と学術大会も開催することを念頭に考えている。また、警察医に関わる様々な問題点に関しては、恒常的に検討する委員会を新たに設置したい。

委員には、警察庁、厚労省、法医学会、歯科医師会等で構成し参加していただくよう要請する考えである。

今後の準備にあたり、各都道府県医師会の部会設置については、出来る限り既存の組織を有効活用していただきたい。医師会内部にある場合は、特に問題なく部会へ移行出来るものと思うが、医師会外部に組織がある場合は、部会設置の調整を各々でお願いしたい。また、検案業務に関しては、極めて公益性が高いものと思われるので、医師会内部に設置した組織であっても会員、非会員を問わず構成員として参加していただいて構わないと考える。部会の名称は特に問わないが、「警察活動に協力する医師の部会」として当面仮称として設置されても良いものとする。この部会は会員に対しての会費徴収は行わず、各県医師会検案担当理事が部会の代表者として原則就任していただきたい。また、部会において各県で検視立会い等に協力する医師のリストを作成していただきたい。このリストを

もって大規模災害時の緊急派遣に関する基礎資料として今後取扱いたいと考える。

日本医師会としては、年末にかけて「警察活動に協力する医師の部会」の全国組織化に向けた事業計画および予算案を作成し確立していきたい。来年 4 月には、日本医師会内部に事務局を設置し、会内委員会も同時に設置していく。また、来年秋頃に日医会館において第 1 回目の連絡協議会総会・学術集会を開催し、大規模災害時の検視・検案体制については、日本医師会と警察庁との間で協定を取り交わしていきたいと考えるので、各県においても警察・医師会・歯科医師会と密接に連携し、検視チームの編成をお願いしたい。

警察庁および日本医師会からの説明後、兵庫県医師会等の取組みについての紹介があり、質疑応答が行われ、閉会した。

出席者 - 立元常任理事、杉田課長

## 宮崎県医師会医療情報コーナー

県医師会館 1 階の「医療情報コーナー」では、分かりやすい医療や介護の本、闘病記のほか、難病・認知症・健康増進や子育てに役立つ本・雑誌・DVD などを幅広く取り揃えています。県民の皆様への貸出もしておりますので、お気軽にお立ち寄りください。パソコン情報検索、ビデオ・DVD の視聴もできます。

開室時間 月～金曜日 10 00～19 00、土曜日 10 00～18 00

休館日 日曜・祝日、12 月 29 日～1 月 3 日、8 月 14～15 日、特別整理期間(3 日間)

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地

TEL 0985-22-5118 E-mail tosho@m iyazakim ed.or.jp

## 第 35回産業保健活動推進全国会議

第 35回産業保健活動推進全国会議が 10月 10日開催された。

厚生労働省佐藤副大臣( 泉労働衛生課長代読 )、横倉日医会長( 今村副会長代読 )、労働者健康福祉機構武谷理事長、産業医学振興財団櫻井理事長がそれぞれ挨拶を行い、横倉会長は、地域産業保健センター事業( 以下 地産保事業 )について「受託方式の変更や都道府県産業保健推進センターの縮減、メンタルヘルス対策支援センターの受託先変更など、短期間で労働衛生行政の大きな変更があった。その結果、地域の産業保健活動を推進してきた都道府県医師会・郡市区医師会に大きな混乱を招いた。そのような産業保健政策停滞の改善のため、昨年、日医産業保健委員会では、都道府県医師会を対象に地産保事業に関するアンケート調査を実施し、その結果をもとに、昨年 12月に中間答申を取りまとめた。中間答申では、現行の三事業が抱える多くの課題を指摘した上で、これらの事業が本来目指しているワンストップサービスとして安定的かつ継続的に提供できるようにすることを提言した。この中間答申を基に、平成 24年 12月に厚生労働省に三事業の一括運営を要望した。我が国がこれからも豊かで活力ある社会であり続けるためには、労働者の健康の保持増進とそれに資する質の高い産業保健が求められるが、その取り組みにおいては都道府県医師会や郡市区医師会の先生方のご協力が不可欠である。今後も、地域における産業保健事業においては、医師会が主体的に関与できるように政策提言を行って

と き 平成 25年 10月 10日( 木 ) 10 30~

ところ 日本医師会館

いく」と強調した。午前は、活動事例報告として宮城県と徳島県における産業保健事業の取り組みについて報告と質疑応答が行われた。

説明・報告

午後は、「日本医師会産業保健委員会活動報告」、「今後の産業保健事業の方向性等について」、「医療機関の勤務医環境改善に関する制度改正等の動向について」説明・報告が行われた。まず、道永日医常任理事より日本医師会産業保健委員会が平成 24年 9月に都道府県医師会を対象に地域産業保健センター事業に関するアンケート調査を実施し、その結果を踏まえて 12月に中間答申を取りまとめたことについて報告が行われた。中間答申では三事業を一元化して運営すること、一元化する事業については、労働者健康福祉機構を設置主体としつつ、都道府県医師会及び郡市区医師会が主体的かつ自主的に関与して事業を運営すること、経理や庶務の事業を集約して合理的に処理するため、全国 8 か所程度に産業保健支援事業経理事務所( 仮称 )でまとめて行うこと等の提言がされたと説明した。

続いて厚労省泉労働衛生課長より「労働衛生の現状」、「第 12次労働災害防止計画」、「産業保健事業の現状及び今後の方向性」、「健康づくり大キャンペーン」についてそれぞれ報告及び説明が行われた。産業保健事業について厚労省では、「産業保健を支援する事業の在り方に関する検討会」を設置し平成 25年 6月にその報告書が取りまとめられた。報告書では、三事業を一元化してワンストップサービスとして支援を提供すること、

一元化後の事業は労働者健康福祉機構が実施主体となり専門性を活かして積極的に関与して事業を実施する体制とすること、単年度の事業実施方式を改め、安定的・継続的に実施して、必要な人材の確保ができる方式にすること等の提言がなされ、この報告書に沿って平成 26年度予算要求に反映しているとの説明が行われた。平成 26年度の事業がスムーズに開始できるよう都道府県の労働局へ 10月下旬に説明を行い、その後労働局から都道府県医師会、郡市区医師会にも順次説明を行う予定であると述べた。

次に、厚労省中野医政局総務課・看護課・労働基準局労働条件政策課医療労働企画官より、医師・看護師等の医療スタッフの離職防止や医療安全の確保を図るため、国における指針の策定等、各医療機関がPDCAサイクルを活用して計画的に勤務環境改善に向けた取組みを行うための仕組み(勤務環境改善マネジメントシステム)を創設するとともに、各都道府県にこうした取組みを行う総合的に支援体制を構築するとし、来年度からの事業実施のため予算要求を行っているとの説明が行われた。

#### 協議

泉労働衛生課長、道永日医常任理事、労働者健康福祉機構森岡理事、産業医学振興財団岩崎事務局長の4人が、事前に寄せられていた質問について回答を行った。主な質疑内容は次の通りである。

Q．地域産業保健センターにおける騒音性難聴担当医の扱いについて、産業医資格のない騒音性難聴性担当医でも地産保の相談医となることはできるのか。

A．現在の規定上は、メンタルヘルス相談以外については、産業医であることとしている。

Q．来年度から予定されている産業保健三事業について、早期に郡市区医師会へ説明を実施すべきではないか、コーディネータの募集規約・

契約条件等が示されるはいつごろか、平成 25年度事業の残務処理をどのように行うのか、関連の法律(通達を含む)改正はあるか伺いたい。

A．予算要求中であるため確定はしていないが、都道府県労働局を通じて都道府県医師会に説明及びご協力をお願いをさせていただき、都道府県医師会に相談しながら郡市区医師会へ説明を行う予定である。コーディネータの契約条件については、予算要求が確定次第お示ししたい。残務処理については、会計の規定によって整理を行うため、現行の事業についてはこれまで同様会計年度末である 3月 31日までに報告書を提出していただかなければならない。法律改正等はない。

Q．産業医が訴訟を起こされるケースがあるが、相談医がすべて日医会員というわけではない。対応した産業医に対して訴訟を起こされた場合の補償制度が必須と考えるが日医のお考えを伺いたい。

A．会員、非会員に関わらず損害賠償請求に対する保険は必要だと考える。ご指摘の制度創設又は個人で保険に加入できるか等を国に働きかけていきたい。

Q．日医認定産業医の申請をするにあたって、手帳の管理は個人に任されており申請を複雑化させている面がある。日医生涯教育のシステムとも連動なども含め時代にあった新しいシステムの検討いただけないか。

A．新しいシステムの構築にあたってはご指摘の通り、他の制度と連携して行っていきたい。また、都道府県医師会によってはすでに単位管理を行うシステムを導入しているところもある。まず都道府県医師会の現状調査を行い、結果を踏まえ検討させていただきたい。

Q．小規模事業場についても一般定期健康診断の結果を所属する労働基準監督署に報告する義務を規定されたい。また大手企業の関連事業場

(50人未満)において、自社の産業医による管理を行わず、地産保センター事業を適用している事例が見られるが、地元地域の独立小規模事業場に優先して産業保健活動を実施できるよう大手企業に対しての行政指導を要望する。

A. 小規模事業場は資金・人員の面で基盤が弱く、過重な負担をかけることができない状況にあるため、新たな報告義務を課すことに関しては、直ちには難しいと考える。大手企業の関連事業場については、地産保センターでなくても支援が受けられるという面があるので、優先順位を考えるべきである。

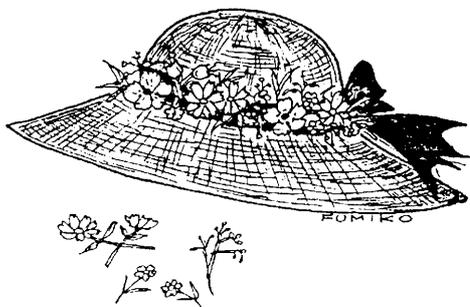
Q. 日医では、例年12月頃に日医主催の前期研修が開催されていたが、平成23年度以降は開催されていない。今後の前期研修開催に関する日医の方針を伺いたい。

A. 日医では、生涯研修の実地研修の開催数が少なく受講が困難との要望を踏まえ、平成23年度からは生涯研修の実地研修を開催してきた。昨年度における全国の前期研修の開催状況は21都道府県で43回となっており、こうした状況を踏まえ来年度の研修会開催について検討していきたい。なお、九州ブロックでは福岡県で前期研修の1単位取得できる研修、長崎県・宮崎県・沖縄県では前期研修の一部単位が取得できる研修が開催されているのでご活用いただきたい。

出席者 小岩屋(宮崎産業保健推進連絡事務所代表)、富永・眞志喜・外村・新(地域産業保健センターコーディネータ)  
池井常任理事、力衛主事

## お知らせ

# カット、イラストの募集



日州医事のページを飾るカットやイラストを募集しております。是非、作品をお寄せください。なお、白黒での掲載になります。採否は広報委員会にお任せください。

原稿宛先

宮崎県医師会広報委員会  
〒880-0023  
宮崎市和知川原1丁目101  
genko@m-iyazakim-ed.or.jp

## お知らせ

平成 25年度日本医師会認定医療秘書養成制度  
卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内3教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れています。

今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内3教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせ等につきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

宮崎学園短期大学 (宮崎市)	宮崎医療管理専門学校 (宮崎市)	都城コアカレッジ (都城市)
就職希望者 17名 (女 17名)	就職希望者 10名 (男 2名, 女 8名)	就職希望者 7名 (女 7名)
連絡先: 0985-85-0146 宮崎市清武町加納 1415 担当: 佐土原 敦 谷口 和子	連絡先: 0985-86-2271 宮崎市田野町甲 1556-1 担当: 福元 進	連絡先: 0986-38-4811 都城市吉尾町 77-8 担当: 原口桂一郎 中山さおり 吉原真由美

## 宮崎県医師会親善ゴルフ大会

と き 平成 25年 10月 27日(日)

ところ ハイビスカスG・C

恒例の県医親善ゴルフ大会が、ハイビスカスゴルフクラブにおいて開催され、1名の会員の先生方が参加されました。

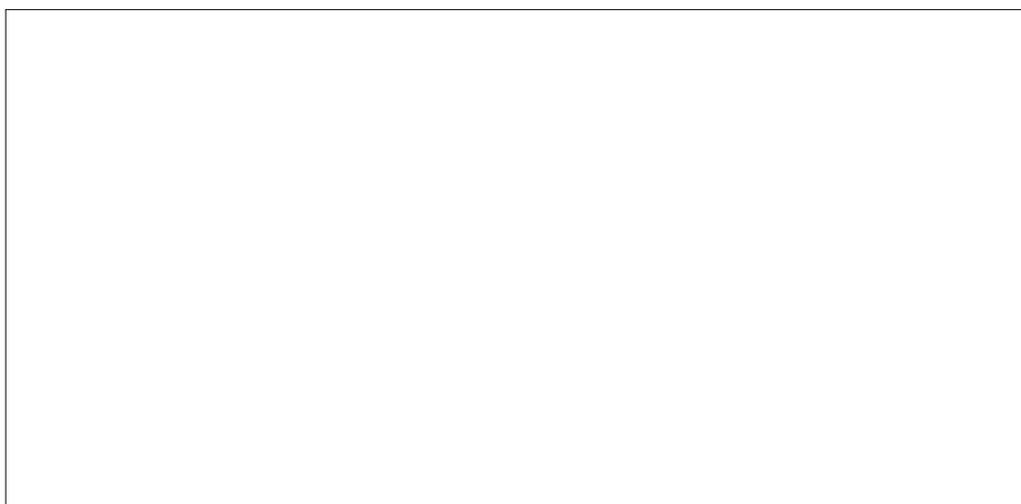
絶好のゴルフ日和のもと、熱戦が繰り広げられ、無事に大会を終了することができました。

今大会の競技方法は、18ホールズストロークプレーダブルペリア方式(同ネットの場合は年長者を上位)で行われ、団体戦は宮崎Aチーム(氏名がた行～や行)が優勝、個人戦は、年齢別にA・Bの2区分に分けて行い、A：弓削達雄先生(宮崎)、B：菊池清文先生(宮崎)がそれぞれ優勝されました。

成績は以下の通りです。

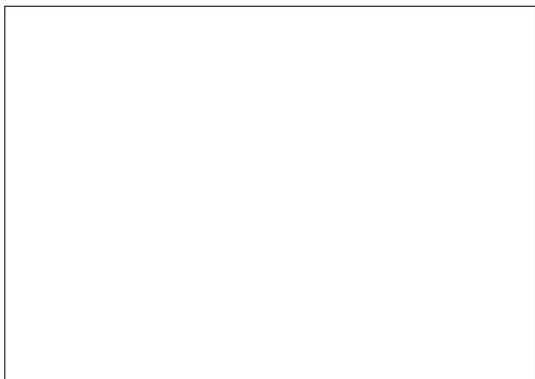
団体戦	郡 市 名	NET合計	各 郡 市 NET 上 位 3 名					
優 勝	宮 崎 た 行 ~ や 行	228.0	弓 削 達 雄	72.0	森 山 光 一	73.6	立 元 祐 保	82.4
準優勝	西 都 ・ 西 諸 ・ 宮 大 医	228.8	南 嶋 洋 一	72.6	前 田 讓 治	76.6	大 塚 直 純	79.6
3 位	宮 崎 あ 行 ~ さ 行	229.4	菊 池 清 文	71.4	篠 原 義 成	76.2	神 戸 光	81.8

個 人 戦	会 員 名	OUT	IN	GROSS	HD	NET	
A	優 勝	弓 削 達 雄	41	43	84	12.0	72.0
	準優勝	南 嶋 洋 一	52	47	99	26.4	72.6
	3 位	前 田 讓 治	49	54	103	26.4	76.6
B	優 勝	菊 池 清 文	42	45	87	15.6	71.4
	準優勝	森 山 光 一	49	57	106	32.4	73.6
	3 位	篠 原 義 成	46	47	93	16.8	76.2
B G 賞	弓 削 達 雄	84					
N P 賞	菊 池 清 文 , 篠 原 義 成						



## 団体戦優勝

宮崎(氏名が た行~や行)チーム

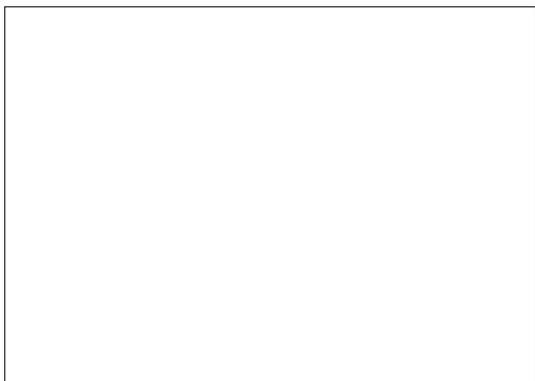


絶好のコンディションでの親善ゴルフ大会でした。最高のゴルフシーズンとなった宮崎では、この大会以外にもいくつかのゴルフコンペが開催され、この為か、今回は参加者は少なく3組の大会でした。参加者の年齢層は比較的高く、若手の参加者でも還暦は過ぎていました。「お達者クラブ」のゴルフコンペの感はありましたが、先輩先生達は皆お元気で、ゴルフもお上手、プレーも早くついて行くのに必死でした。「宮崎た~や」チームでの団体戦優勝でしたが、弓削先生のベストグロスが断然光っておりました。立元先生の貢献もあり、私はたまたまそのチームにいただけで非常にラッキーでした。80歳を過ぎてても元気にゴルフされる先輩先生方の姿に刺激され、早速節制に努め、練習開始しました。次回の宮崎県医師会親善ゴルフ大会には、多数の先生方の参加を希望いたします。日曜日にもかかわらずお手伝いいただいた職員の方々には感謝いたします。

(森山 光一)

## 総合優勝

宮崎市郡医師会 菊池 清文



台風余波の影響の後の快晴と、パートナー(中島知徳先生(8歳)、王丸鴻一先生(80歳)、大塚直純先生(7歳))に恵まれました。

仕事や人生の中で少し疲れを感じていた私でしたが、中島知徳先生、王丸鴻一先生の淡々としたゴルフと^{かくしやく}豊饒たる姿、また、大塚直純先生の大いなる飛距離に刺激を受け、まだまだ元気な自分を維持しなければとの思いになりました。

心より楽しい、有意義な1日を過ごすことができました。しかも総合優勝でした。ありがとうございました。

## 日医インターネットニュースから

### 患者紹介ビジネスは「不適切」

田村厚労相

田村憲久厚生労働相は10月25日の閣議後に会い、23日の中医協で議題に上った、いわゆる「患者紹介ビジネス」について「本来の趣旨からすればそういうことを想定しておらず、不適切だと思っている」と述べ、診療報酬や療養担当規則で対応する必要性を指摘した。

田村厚労相は患者紹介ビジネスへの対応策として、1施設で多くの患者を訪問診療した場合に診療報酬の点数を訪問人数によって引き下げることや、療養担当規則で紹介料の支払い自体を禁止することに言及。訪問診療に関するガイドラインを整備することも必要とした。

(平成25年10月29日)

### 7979人の臨床研修病院が内定

内定率 96.1%

医師免許を取得して2014年度から医師臨床研修を希望する医学生・医学部卒業生7979人の研修病院が内定した。医師臨床研修マッチング協議会が10月24日、研修希望者と研修医を募集している病院をコンピューターシステムで組み合わせた「マッチング」の結果を公表。今回のマッチングに参加したのは1008病院で、内訳は大学病院116施設、臨床研修病院892施設。募集定員総数1万489人に、8238人が参加した。内定率は96.1%。昨年度の内定率は96.0%。内定者の内訳は大学病院3603人(45.2%)、臨床研修病院4376人(54.8%)。1年度に実施したマッチング以降、臨床研修病院の割合が増え続けている。

地域別の内定率は、大都市部を含む6都府県(東京、神奈川、愛知、京都、大阪、福岡)以外の道県に内定する人の割合は55.3%で、前回53.5%を上回り、04年度に新臨床研修制度を導入して以降の過去最大を更新した。都市部6都府県以外の道県全体の内定率は、09年度以降増加を続けている。

都道府県別で見ると、内定者数が増加したのは、千葉(前年度比33人増)、大阪(同28人増)など。内定者数が減少したのは京都(同22人減)、神奈川(同21人減)など。

第1希望の病院に内定したのは6532人で内定

者全体の81.9%。第2希望に内定したのは960人(内定者全体の12.0%)、第3希望が323人(同4.0%)、第4希望以下が164人(同2.1%)となった。(平成25年10月29日)

### 診療報酬改定の基本方針に政治介入 自民、PT新設し主導

自民党は今後の診療報酬改定で、党が基本方針を打ち出していくことを決めた。厚生労働部会・医療委員会の下部組織として、診療報酬を扱うプロジェクトチーム(PT)を新設し、社会保障審議会や中医協の上位に位置付ける。座長には鴨下一郎氏が就く。社保審や中医協には、党が納得できるような議論をするよう求める。従来は社保審の医療部会や医療保険部会が改定の方向性を提示した後、12月下旬に内閣が改定率を決め、年明けの中医協で具体的な配分を決めていたが、この流れを見直す。

診療報酬改定への政治介入を強化する方針は、10月29日の「社会保障制度に関する特命委員会」役員会で決まった。これまでのように年末の改定率決定に関与するだけでなく、具体的な改定の方向性や、今後の診療報酬の在り方についても党の意見を打ち出していく。出席者が全員一致で政治介入を支持し、反対意見はなかったという。

鴨下氏以外では、座長代理に宮沢洋一氏が加わることは決まったが、その他のメンバーは未定。新PTはできるだけ小規模な組織にしたい考えだ。

社保審や中医協には関係者の利害調整機能を果たしている側面があり、こうした場の議論だけでは、医療提供体制のゆがみを是正できないとの考えが自民党幹部にあるようだ。

鴨下氏は、多くの病院が7対1入院基本料を算定することで医師や看護師を抱え込む一方、有床診療所の経営悪化には歯止めがかからない現状があると問題視する。また地方などでは、大規模な公的病院と中小の民間病院の差が広がっていることも危惧している。(平成25年11月1日)

### 在胎週数基準、「31週以上」に拡大 産科補償・運営委

日本医療機能評価機構の産科医療補償制度運

営委員会(委員長=小林廉毅・東京大大学院教授)は11月13日、補償対象の審査基準のうち、在胎週数の基準を「3週以上」に拡大すべきとの意見で一致した。現行は「33週以上」。沖縄県の出生児データを解析して在胎週数ごとに1000人当たりの脳性麻痺発症率を調べたところ、「3週」から顕著に低下していた。

運営委は、2015年1月から制度を見直すための意見を取りまとめる。年内に厚生労働省の社会保障審議会・医療保険部会に示して審議を求める予定だ。

同制度は、補償対象の判断基準として「一般審査基準」と「個別審査基準」の2つを規定している。一般審査基準は、先天性の要因と新生児期の要因を除外した上で「在胎週数」と「出生体重」を満たした身体障害者等級1・2級相当の重度脳性麻痺児を一律で補償対象とする。

個別審査基準は、分娩時に低酸素状況が認められた場合を補償対象とするための基準で、低酸素状況を確認する指標を示している。在胎週数が「28週以上」であることも条件だ。

運営委は一般審査基準のうち出生体重に関する基準を現行の「200g以上」から「140g以上」に見直す意見でも一致しており、在胎週数の基準拡大と併せて見直した場合、同機構の推計によると、年間補償対象者数は現行より140人増える。

「個別審査基準」の見直しも意見一致

この日は「個別審査基準」の見直しについて、同制度の審査委員会(委員長=戸苅創・名古屋市立大学長)がまとめた案に基づき議論し、意見が一致した。現行の「在胎28週以上」は変えず、「低酸素状況が持続して臍帯動脈血中の代謝性アシ

ドーン(酸性血症)の所見(pH値7.未満)が認められる場合」以外の状況で、低酸素状況を確認する指標の選択肢を現場の実態などを踏まえて増やす。(平成25年11月15日)

### 同一ワクチンの接種間隔、上限を撤廃へ 予防接種基本方針部会

厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会の予防接種基本方針部会(部会長=岡部信彦・川崎市健康安全研究所長)は11月18日、同一ワクチンを通常の接種間隔を超えて接種した場合も、定期の予防接種として取り扱えるようにすることを了承した。近く、予防接種実施規則・実施要領を改正する。

今回の変更は、新ワクチンが導入されていることで予防接種スケジュールが過密になり、必要なワクチンを接種する機会を逃すケースがあることを踏まえた対応。接種間隔が開いてしまった場合の有効性に関する海外での研究や考え方から通常よりも長い間隔を置いて接種しても、有効性・安全性は損なわれるとは考えられていない。より多くの被接種者に機会を提供して接種率を上げるメリットは、勧奨効果を薄れさせるデメリットよりも大きいと判断した。

ヒブ・小児用肺炎球菌など現行規定からそのまま上限をなくした場合、過剰接種などが発生するワクチンについては、個別のただし書きも追加する。

委員からは変更に対し賛同する意見が相次いだ。小森貴委員(日本医師会常任理事)は「全国の医師会員からも接種間隔の規定に怨嗟に近い声が出ていた。柔軟に対応をしてもらったことを感謝したい」と述べた。(平成25年11月22日)

このコーナーの記事は“日医インターネットニュース”から抜粋して掲載していますので、詳細を知りたい方は日本医師会ホームページをご覧ください。毎週火・金に更新していますので全ての記事が閲覧できます。

日医インターネットニュースへのアクセス方法

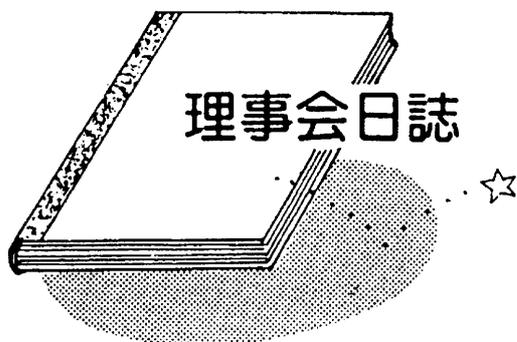
日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)にアクセス

日本医師会ホームページ右上のメンバーズルームをクリック

メンバーズルームに入る方法

ユーザー ID 会員 ID 番号(日医からの送付物の宛名シール下部に印刷されている10桁の数字)を0も含め、全て半角で入力

パスワード 先生の生年月日の6桁の数字を半角で入力  
例) 196年5月1日生まれの場合、610501



平成 25年 10月 22日(火)第 19回常任理事協議会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

1. 11/14(木)西諸)社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施について
 

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、立元常任理事を立会い人として派遣することが承認された。
2. 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会(11月16日)における日本医師会への質問・要望事項について
 

日本医師会横倉会長の中央情勢報告に対する質問事項の確認が行われ、「有床診療所における設備整備の補助について」、「病床機能報告制度について」の2題を提出することが承認された。また、医療機関の火災への対応について、専門家を講師に招き医療安全対策セミナー等で講演を行ってはとの提案があり承認された。
3. 九州医師会連合会平成25年度第2回各種協議会の開催種目について(再)
 

在宅医療に関する諸問題や介護施設の診療報酬について集中討議すべき等の意見が出され、介護保険分野の取扱いをまとめた上で、次週改めて協議することとなった。

4. 九州医師会連合会会則(案)並びに九州医師会連合会(九州医師会)医学会細則改正(案)について

公益法人制度改革に伴う会則等の変更案で、概ね了承は得られたものの九医連役員の任期開始が7月1日になっていることから、6月に行われる役員改選期の日医代議員会の取扱いについて確認を行った上で、回答することとなった。

5. 移動全理事協議会について

12月7日(土)、18時頃から、宮崎市のシーガイアにおいて開催することが提案され承認された。詳細については、次週の全理事協議会に改めて提案することとなった。

##### (報告事項)

1. 週間報告について
  2. 10/9(水)支払基金)支払基金幹事会について
  3. 10/1(金)シーガイア)日本神経感染症学会懇親会について
  4. 10/19(火)日医)日医理事会について
  5. 10/19(土)宮観ホテル)宮崎大学統合10周年記念式典及び祝賀会について
  6. 10/20(日)宮観ホテル)九州在宅医療推進フォーラムin宮崎について
  7. 10/19(土)シーガイア)鶴田病院創立50周年記念祝賀会について
  8. 10/9(水)日医)都道府県医師会検案担当理事連絡協議会について
  9. 10/1(木)日南)社会保険医療担当者(医科)の個別指導について
  10. 10/20(日)宮観ホテル)女性医師フォーラムについて
  11. 10/19(土)県医)産業医研修会(実地)について
- ##### 医師連盟関係
- ##### (報告事項)
1. 10/14(月)宮観ホテル)県経済団体協議会について

## 平成 25年 10月 29日(火)第 8 回全理事協議会

## 医師会関係

## (議決事項)

## 1. 宮崎県医師会会費賦課徴収規程 出産育児減免の取扱いについて

出産育児の際の会費減免期間について、始期が記載されていないため、日医に合わせ「出産日の翌年度まで申請可(前年度の出産でも申請可)とし」を付け加えることが承認されたが、本規程の変更は、代議員会の決議を要することから、当面は内規的な取扱いとして運用することが承認された。

## 2. 後援・共催名義等使用許可について

H 26.2 /22(土)・23(日)第 10回宮崎県作業療法学会の名義後援(ご依頼)について

メインテーマを「温故知新～これまでの10年、これからの10年～Towards the next decade of Occupational Therapy in Miyazaki」と題し県内の各地区持ち回りで開催される学会で、名義後援を承諾することが承認された。

## 3. 九州医師会連合会平成 25年度第 2 回各種協議会の開催種目について(再)

地域医療、医療保険、在宅医療対策協議会の3つを要望することが承認された。なお在宅医療については、在宅及び介護現場における医療の問題を集中的に議論するよう提案することとなった。

## 4. 県への要望事項について

各郡市医師会から出された要望を含め、県医師会から「医師確保について」をはじめとする8つの要望を提出することが提案され、一部担当者を中心に文言等の見直しを行った上で、県に提出することが承認された。

## 5. 11/2(休)(日医)都道府県医師会感染症危機管理担当理事連絡協議会の開催について

新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく医療機関の役割等の説明を行う連絡協議会で、峰松理事が出席することが承認された。

## 6. 12/6(金)(県医)平成 25年度感染症危機管理・予防接種実務担当者研修会について

ワクチンに関する最近の話題を中心に、県内の医師及び看護職員、保健所の感染症担当者や学校関係者等を対象に行なわれる研修会で、会場及びテレビ会議システムの利用や広報等について協力することが承認された。

## 7. 12/7(土)(日医)平成 25年度家族計画・母体保護法指導者講習会の開催について

テーマを「改正母体保護法下の研修会のあり方」と題し開催される講習会で、濱田常任理事の出席が承認された。

## 8. 「国民医療を守るための国民運動」の展開について

格差社会が危惧される中、医療を取り巻く現在の危機的状況を国民に知らせた上で、国民皆保険の恒久的堅持と地域医療の再興を願う声を政府に届けることを目的に行われる運動で、12月6日(金)(東京)の総決起大会へ本会役員が積極的に参加すること並びに宮崎県地域医療・福祉推進協議会を中心に本県で集会を開催することが承認された。

## 9. 11/29(金)(日医)平成 25年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会について

医療事故調査制度と新しい専門医制度の話題を中心に開催される連絡協議会で、上田理事が出席することが承認された。

## 10. 12/7(土)(シーガイア)移動全理事協議会の開催について

役職員の研修及び慰労も兼ね宮崎市のシーガイアにおいて開催するとの説明が行われ、詳細については、講師等のスケジュールも勘案した上で、改めて案内することとなった。

## 11. 11・12月の行事予定について

11月の追加行事と12月の行事の確認が行われた。

## (報告事項)

## 1. 週間報告について

## 2. 10/28(月)(総合保健センター)みやざき愛の献血運動推進県民大会について

3. 10/26(土) (日医)日医Mass Gathering Medicine 研修会について
4. 10/27(日) (ハイビスカスG.C.)県医親善ゴルフ大会について
5. 10/26(土) (県医)ICLS指導者養成ワークショップについて
6. 10/27(日) (県医)ACLS研修会について
7. 10/27(日) (MRT mix)救急・災害医療国際連携フォーラムについて
8. 10/28(月) (県医)県訪問看護推進協議会について
9. 10/24(木) (県医)介護保険委員会について
10. 10/24(木) (宮大)地域医療現場における働きやすい環境を考える会について
11. 10/25(金) (県医)県産業保健連絡協議会等について
12. 10/3(木)・4(金) (日医)日医社会保険指導者講習会について
13. 10/2(水) (わらしべ)土曜会(報道機関支局長の会)との懇談会について
14. 10/1(金) (県医)広報委員会について
15. 10/24(木) (県医)広報委員会について
16. 9/30(月) (県医)九州ブロック学校保健・学校医大会等実行委員会について

医師協同組合・エムエムエスシー関係

1. 医協理事・運営委員合同協議会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 11/5(火) (東京)第16回武見セミナーの開催について  
日本の新しい国家目標「活力のある健康長寿社会をめざして」をテーマに開催されるセミナーで、協力することが承認された。

平成 25年 11月 5日(火)第 20回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 11/28(木) (都城)社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施について

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、池井常任理事を立会い人として派遣することが承認された。

2. 日医テレビ健康講座「ふれあい健康ネットワーク」について

既に5月の理事会で協力することが承認されている健康講座のテーマ等について、在宅医療及び県内の医療情勢等の意見が出され、次の全理事協議会で再協議することが承認された。

3. 統合型リゾート研究会設立について

カジノを含む統合型リゾートの誘致は、観光、雇用、税収確保等、本県の経済浮揚への絶好の機会であるとの理由から、その実現を目的に設置される研究会で、内側から県民の健康や環境への影響を提言する立場として研究会に参加することが承認された。

4. 11/23(日) (日医)ハーバード大学公衆衛生大学院武見プログラム 30周年記念シンポジウム開催について

武見太郎元日医会長の名を冠して、途上国における医療資源の開発と配分に関する中堅の専門家及び研究者のための研究・高度研修プログラムが設立30年を迎えることから開催されるシンポジウムで、参加希望者は事務局に申し出ることとなった。

5. H 26.1 /6(月) (宮観ホテル)2014年寿 新春賀詞交歓会のお知らせについて

例年、相互交流を目的に商工会議所が主催して開催される交歓会で、参加希望者は、事務局に申し出ることとなった。

6. H 26.1 /19(日) (日医)平成 25年度日本医師会医療事故防止研修会開催のご案内について

「成果が見える医療安全を目指して」を諮問とする日医医療安全対策委員会の答申報告と都道府県医師会の医療事故防止に関する取組みの発表を行う研修会で、濱田常任理事が出席することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 10月末日現在の会員数について
3. 10/30(火) 県庁) 県がん対策推進協議会について
4. 11/1(金) 日医) 日医設立記念医学大会について
5. 10/30(火) 宮崎労働局) 労災診療指導委員会について
6. 10/31(水) 九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
7. 10/31(水) 県医) 諸規程検討委員会について
8. 11/2(木) 県医) 日医生涯教育協力講座セミナーについて
9. 11/5(火) 県医) 治験審査委員会について

平成 25年 11月 12日(火)第 9 回全理事協議会

## 医師会関係

## (議決事項)

1. 日医テレビ健康講座「ふれあい健康ネットワーク」について  
都道府県持ち回りで開催されるテレビ番組で、番組のテーマを在宅医療とし、後半は、日医の常任理事と稲倉会長が、県内の医療情勢について議論を行う構成とすることが承認された。
2. 郡市医師会からの忘年会のご案内について  
3つの郡市医師会よりお誘いがあり、日頃の御礼も兼ね、できるだけ参加させていただくよう調整することが承認された。
3. 「国民医療を守るための国民運動」の展開について  
12/6(金)日比谷公会堂で開催される総決起大会に、稲倉会長他役職員4名が出席することが承認された。また本県で開催する協議会を12/10(火)に開催し、県地域医療・福祉推進協議会の構成団体に案内すると共に、消費税、皆保険、TPP等の問題について、問題提起することとなった。

4. 平成 25年度宮崎県総合防災訓練の実施について

南海トラフ巨大地震を想定した総合防災訓練で、本会から河野・富田副会長、立元常任理事が参加すると共に、東日本大震災時、本県から派遣したJMA T協力医療機関に参加を呼びかけることが承認された。

5. 12/1(水) 日医) 平成 25年度日医認証局の運営に係る情報担当理事及び事務局担当者向け連絡協議会の開催について

主に日医認証局の意義及びICカード化した医師資格証の審査体制構築について検討する協議会で、荒木常任理事が出席することが承認された。

6. 花粉飛散数のデータ提出依頼について

本会が収集している花粉情報を、温暖化と大気汚染物質が花粉症に及ぼす影響を研究するために利用したいという依頼で、協力いただいている郡市医師会の了解を得た上で協力することが承認された。

## (報告事項)

1. 週間報告について
2. 11/12(火) 県庁) 県立病院事業評価委員会について
3. 11/9(木) 宮観ホテル) 宮崎医療センター病院設立10周年記念祝賀会について
4. 11/6(火) 日医) 日医医療秘書認定試験委員会について
5. 11/11(水) 県医) 高次脳機能障がい講演会について
6. 11/7(木) 県医) 地域リハビリテーション広域支援センター連絡会議について
7. 11/9(木) 県医) 産業医研修会について
8. 11/7(木) 県医) 日医社会保険指導者講習会復講について
9. 11/9(木) 岡山) 全国医師会勤務医部会連絡協議会について
10. 11/9(木) 秋田) 全国学校保健・学校医大会について

## 医師連盟関係

(議決事項)

- 11/19(火)東京)「国民医療を守る議員の会」出席について

本県選出の自民党所属国会議員に参加を呼びかけた議員連盟の会で、本会から池井常任執行委員が出席することが承認された。

- H 26.1 /2(火)日医)日医連執行委員会開催について

主に平成 24年度の収支報告決算及び平成 26年度の負担金基準を協議する執行委員会で、稲倉委員長と河野常任執行委員の出席が承認された。

## 平成 25年 11月 19日(火)第 2回常任理事協議会

## 医師会関係

(議決事項)

- 後援・共催名義等使用許可について

九州・沖縄地区研究会後援名義使用のお願いについて

「地域の中で果たすべき医療介護福祉のすがた 地域医療計画と連携」をテーマに開催される研究会で、名義後援を行うことが承認された。

- 市民のための法律家育成のために「司法修習生に対する給費の実現と充実した司法修習を求める要請書」への賛同(団体・個人)のお願いについて

司法試験に合格した法律家が行う 1年間の司法修習期間の取り扱いについて、給費制の復活等を求める要請で、協力することが承認された。

- H 26.1 /25(土)沖縄)九医連平成 25年度第 2回各種協議会の提案事項について

地域医療対策協議会(医療事故制度調査制度は除く)は古賀常任理事、医療保険対策協議会は河野副会長、介護保険・在宅医療対

策協議会は石川常任理事が担当となり、質問事項を取りまとめ提案することが承認された。

- 11/20(火)県医)各都市医師会長協議会について

11/19の都道府県医師会長協議会の他に、11/12の県福祉保健部・病院局との意見交換会の際に提出された「県への要望」、11/19の国民医療を守る議員の会の報告を行うことが承認された。

- 会費減免申請について

20年以上在籍かつ満年齢 83歳に達するとして、高齢による会費減免(日医)1件が承認された。

- 平成 25年度県内医療機関合同就職説明会について

県立看護大学が、就職支援の一環として、県内の医療機関情報をより多く得ることができるよう昨年度から開催しているもので、医療機関への周知等について、協力を行うことが承認された。

(報告事項)

- 11/13(火)日医)都道府県医師会有床診療所担当理事連絡協議会について
- 11/13(火)日医)日医有床診療所に関する検討委員会について
- 11/14(水)小林市)社会保険医療担当者(医科)の個別指導について
- 11/15(金)~17(日)沖縄)九州医師会総会・医学会関連行事について
- 11/18(月)県医)医師会立看護学校担当理事連絡協議会について
- 11/19(火)宮観ホテル)県ドクターヘリ運航調整委員会について

## 医師連盟関係

(報告事項)

- 11/19(火)東京)国民医療を守る議員の会について

## 県 医 の 動 き

( 11月 )

1	日医設立記念医学大会(日医)会長)	17	九医学分科会・記念行事(沖縄) 世界糖尿病デー市民公開講座
2	日医生涯教育協力講座セミナー(TV会議:都城・延岡・日向・児湯・西都・南那珂・西諸) (富田副会長他) 産業医研修会(実地)都城)	18	研修管理委員会(会長) 医師会立看護学校担当理事連絡協議会 (富田副会長他) 県うつ病医療検討部会(吉田常任理事他)
3	全国医師協同組合連合会通常総会(神奈川)会長)	19	国民医療を守る議員の会(東京)会長他) 日医理事会(日医)会長) 県ドクターヘリ運航調整委員会(古賀常任理事) 都道府県医師会長協議会(日医)会長他) 医協打合会(立元常任理事) 第2回常任理事協議会(河野副会長他)
5	治験審査委員会(富田副会長他) 第20回常任理事協議会(会長他)	20	県産婦人科医会献金委員会(濱田常任理事)
6	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会 理事会 日医医療秘書認定試験委員会(日医)富田副会長)	21	都道府県医師会感染症危機管理担当理事連絡 協議会(日医)峰松理事)
7	地域リハビリテーション広域支援センター連絡 会議(石川常任理事) 日医社会保険指導者講習会復讐(TV会議:都城・延岡・日向・児湯・西都・南那珂・西諸・西臼杵) (会長他)	22	宮崎政経懇話会県央地区例会(会長) 九州厚生局宮崎事務所との指導に関する打合せ (会長他)
9	全国医師会勤務医部会連絡協議会(岡山) (古賀常任理事他) 全国学校保健・学校医大会(秋田)会長他) 産業医研修会(TV会議)池井常任理事他) 宮崎医療センター病院設立10周年記念祝賀会 (河野副会長)	23	ハーバード大学公衆衛生大学院武見プログラム 30周年記念シンポジウム(日医)直井理事)
10	県小児科医会秋季総会・学術講演会(高村理事)	24	新型インフルエンザの診療に関する研修(日医) (吉田常任理事)
11	高次脳機能障がい講演会(TV会議:都城・延岡・日向・児湯・西都・南那珂・西諸・西臼杵) (会長他) 県内科医会会誌編集委員会	25	宮大経営協議会(会長) 宮崎銀行との懇談会(会長他) 広報委員会(荒木常任理事他) 生活習慣病検診従事者研修会(TV会議) (古賀常任理事)
12	県立病院事業評価委員会(会長) 第9回全理事協議会(会長他) 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換 会(会長他)	26	医協理事・運営委員合同協議会(会長他) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (河野副会長) 医協理事会(会長他) 第10回全理事協議会(会長他) 各都市医師会長協議会(会長他)
13	都道府県医師会有床診療所担当理事連絡協議会 (日医)河野副会長) 支払基金幹事会(会長) 日医有床診療所に関する検討委員会(日医) (河野副会長) HTLV-母子感染対策協議会(濱田常任理事) 県警察医会協議会	27	労災診療指導委員会(河野副会長他) 県医会計監査(会長他) 産業医研修会(TV会議)
14	社会保険医療担当者(医科)の個別指導(小林市) (立元常任理事) 世界糖尿病デー県庁ライトアップ(会長) 広報委員会(富田副会長他) 県産婦人科医会常任理事会(濱田常任理事)	28	社会保険医療担当者(医科)の個別指導(都城市) (池井常任理事) 日医公衆衛生委員会(日医)吉田常任理事) メディカルトライアングルプロジェクト学生向 けセミナー(会長他)
15	九医連常任委員会(沖縄)会長) 九医連臨時委員総会(沖縄)会長他) 県外科医会秋期講演会 産業医研修会	29	都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会(日医) (上田理事) 日医医療秘書認定試験委員会(日医)富田副会長)
16	九医連委員・九州各県医師会役員合同協議会 (沖縄)会長他) 九州医師会総会・医学会(沖縄)会長他)	30	県訪問看護ステーション連絡協議会総会・ 研修会(富田副会長他) 九州学校検診協議会専門委員会(福岡)高村理事) 県整形外科医会研修会 九州各県学校保健担当理事者会(福岡)会長他)

## 追 悼 の こ と ば

都城市北諸県郡医師会

山 下 博 先生  
やま した ひろし

(大正 15年 1月 2日生 86歳)

弔 辞

本日ここに、今は亡き  
山下 博 先生のご葬儀が  
執り行われるにあたり、  
都城市北諸県郡医師会を代  
表いたしまして、謹んで先  
生のご霊前に哀悼の意を表  
し、お別れの言葉を申し上  
げます。

先生は、これまで地域医療一筋にご活躍をさ  
れてこられました。先生が3か月程前に下肢の  
外傷で都城市内の病院に入院されておられまし  
たので、私ども会員一同、一日も早いご回復を  
念じておりました。

しかし、その後、他の病気が判明し、去る 10  
月 27日の午前 10時 33分、医療スタッフの懸命な  
治療やご家族の手厚い看護にもかかわらず、先  
生がご逝去されたとの突然の訃報を受け、痛恨  
の念に絶えず、残念で仕方ありません。

先生急逝の知らせは、程無く全会員に伝えら  
れ、会員一同、深い悲しみに包まれているとこ  
ろでございます。

ましてや、ご遺族の皆様方のお悲しみは、察  
するに余りあり、お慰めの言葉もありません。  
私ども医師会員一同、心より哀悼の意を表する  
次第でございます。

先生は、大正 15年 1月 2日、男 3人女 3人の  
6人兄弟の次男として、鹿児島市でお生まれに  
なられました。長じて医学の道を志し、昭和 23  
年に県立鹿児島医学専門学校をご卒業、同校附  
属病院にて実地修練を積み、同校予防医学教

室助手を拝命、医師としてのスタートを切られ  
ました。その後、昭和 3年に鹿児島大学医学部  
産婦人科学教室に入局され研鑽を積みまし  
た。翌年には医学博士の学位も取得されておら  
れます。

昭和 3年に鹿児島県立鹿屋病院産婦人科医員  
を拝命、同年 8月に宮崎県日之影町国民健康  
保険病院産婦人科に勤務、昭和 3年から 10年間  
は、三股町国民健康保険病院産婦人科に勤務さ  
れておられます。昭和 4年 4月に、三股町にて  
山下医院を開業され、以来、医師として今日ま  
で、永年にわたり、地域住民の医療、保健、福  
祉の向上に貢献をされてこられました。

先生は、私ども医師会活動におきましても、  
多忙な診療の傍ら、裁定委員、医師連盟執行委  
員を 20数年間にわたり歴任されました。また、  
開業相談委員長を昭和 6年から 6年間されてお  
ります。

また、学校医も複数の小・中学校で歴任さ  
れ、昭和 38年から三股町立三股中学校を 12年  
間、梶山小学校、長田小学校を 16年間、三股小  
学校を 2年間、平成元年からは三股西小学校を  
15年間と通算 40年以上もの永きにわたり務めら  
れ、児童生徒の健康管理、保健衛生に精力的に  
取り組まれました。これらのご功績に対し、昭  
和 55年に三股町長表彰、昭和 60年に北諸県郡学  
校保健会会長表彰、平成 7年に宮崎県教育長表  
彰、平成 15年に北諸県郡学校保健功労賞表彰を  
受賞されておられます。

国民健康保険事業につきましても、昭和 36年  
から保険者代表として、国民健康保険診療報酬  
審査委員を 8年間務められ、平成 7年に厚生労  
働大臣表彰を受賞されておられます。

一方、診療を離れると先生はゴルフがお好き  
で、若い頃は月に 2、3回は会員の先生方と行

かれたとお聞きしております。2000年4月にはレインボースポーツランドゴルフクラブにて池越えの9番ホールでホールインワンをされたと伺っております。

先生は、お子様が3人おられますが、ご長男の兼一先生が医師としてすでにご活躍中であり、先生の後継者として立派にご意志を継いで地域医療に取り組みおられますので、先生もさぞかしご安心のことと思います。

先生、これからは、遥か彼方より、ご子息の

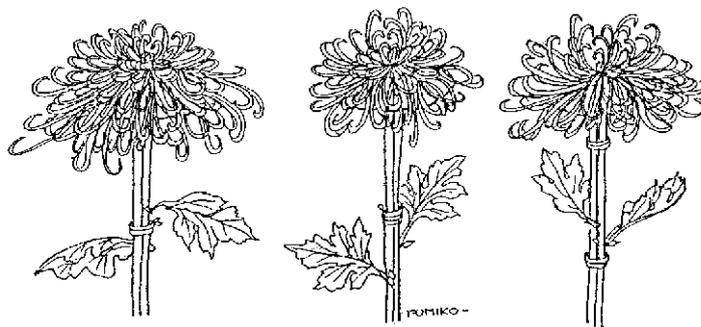
ご活躍とご家族の安泰、ご繁栄、医師会の発展を末永く見守りください。

最後に、先生がこれまで地域医療に捧げられましたご功績に対し、深い尊敬と感謝の念を表し、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げ、お別れの言葉と致します。

平成 25年 10月 29日

都城市北諸県郡医師会

会長 飯 田 正 幸



## 追 悼 の こ と ば

宮崎市郡医師会

かわの 河野 通 先生

(大正 10年 7月 14日生 92歳)

弔 辞

本日ここに、今は亡き、  
河野 通 先生の御霊前に、  
宮崎市郡医師会を代表して、  
謹んでお別れの言葉を申し  
上げます。

一昨日、先生の突然の御  
訃報に接し、会員一同、深  
い悲しみに包まれております。

先生は、数日前より、お体の調子を崩され御  
入院されておられましたので、一日も早い御回  
復を念じておりましたが、11月 10日午後 1時 46  
分、92歳の御生涯を静かに閉じられました。

今、こうして葬送の列に加わり、御遺族の皆  
様方、また先生を慕われる多くの皆様の御心中  
をお察し申し上げますとき、お悲しみは如何ば  
かりかと胸塞がる思いでございます。

先生は、大正 10年 7月 14日、熊本県宇城市で  
7人兄弟のご長男としてお生まれになり、幼少  
にしてその才誉れ高く、昭和 17年 9月に九州帝  
国大学附属医学専門部を優秀な成績で御卒業に  
なられた後、同年 10月に陸軍の軍医少尉として  
招集され、昭和 2年 5月に召集解除の後、旧国  
立熊本病院産婦人科で御研鑽を積まれ、旧熊本  
県牛深市民病院副院長、旧田野町立病院長を経  
て、昭和 3年 5月、現在地の宮崎市中村町にて  
河野産婦人科医院を御開業になりました。その  
後、平成 10年 4月に御子息の恭悟先生に院長職  
をお譲りになるまで、36年の永きに亘り昼夜を  
分かたぬ御診療をもって地域医療に貢献されて  
こられました。先生はその誠実で飾り気のない、

そして温かいお人柄は、地域の人々にも親しま  
れ、多くの患者さんからの信望を集め、地域に  
根ざした診療活動は我々医師会員にとりまして  
模範でありました。

先生の御活躍の場は、日常の御診療だけにと  
どまらず、その卓越した識見と指導力をもって、  
医師会活動全般にわたって御活躍され、宮崎市  
郡医師会長 10年、同副会長 4年、同理事 8年、  
その他に日本医師会代議員 6年、宮崎県医師会  
理事 2年、同代議員 10年などの要職を多年に亘  
り歴任し、地域医療の充実と会員医療機関の経  
営安定を始め医師会の健全なる発展と円滑な運  
営に努力されてこられました。

特に本会理事として就任以来、救急医療の整  
備推進を図り、宮崎市と共に県内初の夜間急病  
センター開設に努力され、昭和 54年 10月の開設  
と同時に所長として就任し市民の夜間急病に対  
する不安を解消されました。

先生は救急医療事業として昭和 45年宮崎市郡  
医師会病院建設推進委員会を設置、昭和 56年  
には建設準備委員会を設置し、医師会病院が開設  
されるまでの 14年間同病院建設に傾注され、昭  
和 59年 4月宮崎市郡医師会病院初代院長に就任  
されました。先生は救急医療の充実に力を入れ  
られ、開放型の医師会病院開設と同時に宮崎市  
夜間急病センターを大坪町から医師会病院に移  
設併設し、36日 24時間診療可能な一次・二次の  
救急医療体制を整え、医師会員の後方病院とし  
て万全の体制を構築し、医師会病院の院長とし  
て、宮崎市郡東諸県郡はもとより、本県の救急  
医療の充実に多大なる貢献をされました。

昭和 58年には老人保健法の施行に伴う保健事  
業の推進にいち早く取り組み、昭和 59年には宮  
崎市保健連絡協議会長として成人病予防対策推  
進に努め、市民の健康管理と成人病検診の普及

向上に御尽力されました。学校保健事業では宮崎市郡や東諸県郡の学校保健会長など 24 年間の長期に亘り、児童・生徒の健康管理と環境衛生の整備向上に努力されました。

また、宮崎看護専門学校を始め臨床検査センター、成人病検診センターの新築移転に取り組みられました。特に看護学校では准看護師・看護師の養成と看護技術の向上に寄与されました。

先生の長年に亘る輝かしい御業績は、昭和 59 年宮崎市郡医師会病院におけるボツリヌス菌発生に対する的確な診断と治療による功績として宮崎県知事表彰、昭和 62 年学校保健の向上による功績として文部大臣表彰、平成元年救急医療による功労として厚生大臣表彰、更には平成 9 年勲四等瑞宝章の榮譽をもって顕彰されております。

一方先生は、御診療の傍ら歴史と囲碁を御趣味とされ、最近まで歴史に関する書籍を読んでおられたとお聞きしました。

御家庭にありましては、二男一女のお子様にお生まれ、御長男の恭悟先生と御次男の謙治先生は医師として先生の御意志を立派に継がれています。

宮崎市郡医師会の重鎮でおられました先生が御逝去されましたことは、会員にとりましてかけがえのない財産を失うことであり誠に残念至極に存じます。

先生が築きあげられました宮崎市郡医師会病院は、私どもが先生の御意志を引き継ぎ日本一の医師会病院を目指してまいりますのでお見守りください。そして、先生の御遺徳を心の支えとして地域医療の発展のため、さらに努力してゆく所存でございます。

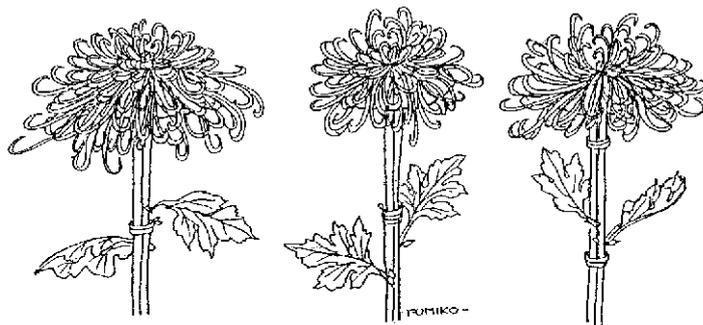
惜別の情尽くし得ませんが、ここに謹んで先生の御霊前に哀悼の意を捧げ、地域医療に対する永年の御功績に心から感謝と敬意を表し、御冥福をお祈り申し上げ、お別れの言葉といたします。

河野先生どうぞ安らかに眠りください。

平成 25 年 11 月 13 日

宮崎市郡医師会

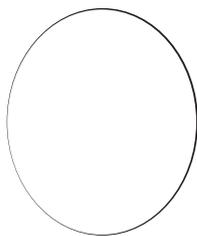
会長 川 名 隆 司



## ニューメンバー

延岡市  
延岡市医師会病院

まつ お たかし  
松 尾 崇



住 所 宮崎市

専門科目 内分泌代謝内科

家族構成 妻・娘

略 歴

平成 15年 弘前大学医学部卒業

平成 15年 宮崎大学医学部  
第 3 内科入局

平成 25年 延岡市医師会病院

趣 味 将棋

抱 負 縁があって延岡市医師会

病院に勤務させていただくことになりました。内科全般を診ることができて日々勉強になります。また諸先生方から内分泌代謝のご指導をいただけるのも大変ありがたいと思います。これから少しでも医療に貢献していきたいです。

将棋はプロ棋士対局をネット中継で観ながら、リアルタイムなコメントを読むのが面白く、縁台将棋を現代風に楽しむ感じです。

今後ともよろしくお願いたします。

## 11月のベストセラー

- |    |                             |                   |               |
|----|-----------------------------|-------------------|---------------|
| 1  | 熔ける 大王製紙前会長井川意高の懺悔録         | 井 川 意 高           | 双 葉 社         |
| 2  | 人に強くなる極意                    | 佐 藤 優             | 青 春 出 版 社     |
| 3  | 住んでみたドイツ 8勝 2敗で日本の勝ち        | 川 口 マ ー ン 恵 美     | 講 談 社         |
| 4  | 人間にとって成熟とは何か                | 曾 野 綾 子           | 幻 冬 舎         |
| 5  | 茅田砂胡全仕事 1993-2013 特別版       | 茅 田 砂 胡           | 中 央 公 論 新 社   |
| 6  | 書楼甲堂 破曉                     | 京 極 夏 彦           | 集 英 社         |
| 7  | ゼロ                          | 堀 江 貴 文           | ダ イ ヤ モ ン ド 社 |
| 8  | こわせない壁はない<br>人生が新しくなる 33の心得 | 鎌 田 實             | 講 談 社         |
| 9  | 村上海賊の娘(上)(下)                | 和 田 竜             | 新 潮 社         |
| 10 | 長生きしたけりゃふくらはぎをもみなさい         | 鬼 木 孝 子 豊 子 監 修 著 | ア ス コ ム       |

宮脇書店本店調べ 提供 宮崎店(宮崎市青葉町) ☎(0985) 23-7077

医師年金ご加入のおすすめ

団体所得補償保険

## ドクターバンク情報

（無料職業紹介所）

平成 25年 11月 18日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問合せは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

### 1. 求職者登録数 5人

#### 1) 男性医師求職登録数 4人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内 科	3	2	1
外 科	1	1	0

#### 2) 女性医師求職登録数 1人

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内 科	1	0	1

### 2. 斡旋成立件数 46人

	男性医師	女性医師	合 計
平成 25 年 度	1	0	1
平成 16年度から累計	34	12	46

### 3. 求人登録 100件 382人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内 科	111	77	34
外 科	37	27	10
整 形 外 科	32	25	7
精 神 科	21	16	5
循 環 器 科	15	15	
脳 神 経 外 科	13	11	2
消 化 器 内 科	19	15	4
麻 酔 科	13	9	4
眼 科	9	7	2
放 射 線 科	9	7	2
小 児 科	6	4	2
呼 吸 器 内 科	14	12	2
リハビリテーション科	4	4	
血 液 内 科	2	2	
神 経 内 科	10	9	1
救 命 救 急 科	6	6	
健 診	9	4	5
産 婦 人 科	4	4	
泌 尿 器 科	3	1	2
検 診	2		2
皮 膚 科	3	2	1
人 工 透 析	2	2	
耳 鼻 咽 喉 科	1	1	
そ の 他	37	29	8
合 計	382	289	93

## 求 人 登 録 者 ( 公 開 )

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
150005	医) 月か会ピア・メンタル さき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
160011	赤十字血液センター	宮崎市	検診	2	非常勤
160013	医) 三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外, 整, 放, 麻, 内	10	常勤・非常勤
160017	医) プレスピア プレスピアなんば病院	宮崎市	乳外, 内	3	常勤
160020	財) 弘潤会 野崎病院	宮崎市	精, 内	2	常勤
160031	社医) 同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼, 神, 内, 眼, 総診, 呼外, 臨病, 乳外, 整外, 麻酔	11	常勤
160033	医) 如月会 若草病院	宮崎市	内, 精	3	非常勤
170046	医) 社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	消, 内, 内, 泌, 糖, 内, 呼, リウマチ, 神経内, 健診	6	常勤・非常勤
170048	医) 慶明会 けいめい記念病院	国富町	内, 眼	2	常勤
170052	医) 春光会	宮崎市	外, 内	6	常勤・非常勤
180061	医) あいクリニック	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内, 神, 内, 整	5	常勤
190087	宮崎市医師会病院	宮崎市	消, 内, 呼, 内	6	常勤
190094	医) 耕和会 迫田病院	宮崎市	内, 外, 整	9	常勤・非常勤
190095	医) 慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
190096	医) 晴緑会 宮崎医療センター病院	宮崎市	消化, 麻, 循, リハビリ	5	常勤・非常勤
200104	医) 社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内, 外, 救急, 呼外, 婦人	7	常勤
200105	医) 誠友会 南部病院	宮崎市	内, 外, 放	3	常勤
210110	医) 幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮崎市	内, 外, 整	12	常勤・非常勤
220126	八代医院	宮崎市	内	1	非常勤
230128	医) 真愛会 高宮病院	宮崎市	内	1	常勤
230132	医) 康友会 青島クリニック	宮崎市	内	1	常勤
230134	医) 慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設サンフローラみやざき	国富町	内, 外	2	常勤
230140	医) 将優会 クリニックうしたに	宮崎市	外, 内, 整, 家庭医, 総合臨床	1	常勤
230141	医) 博愛社 佐土原病院	宮崎市	内	1	非常勤
230143	医) 社団孝尋会 上田脳神経外科	宮崎市	脳外, 内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮崎市	総内, 呼吸内, 消化器内, 健診	8	常勤・非常勤
230145	のぞみ医院	宮崎市	内	1	非常勤
230146	財) 潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内, 神, 内, 外, 整外, 脳外, リハ, 麻酔, 救急, 緩和ケア	10	常勤
230148	医) コムコ美容外科	宮崎市	美外, 形成外, 外, 麻酔	8	常勤・非常勤
160008	医) 正立会 黒松病院	都城市	泌	1	非常勤
160010	特医) 敬和会 戸嶋病院	都城市	内, 消, 内, 整, 神, 内	7	常勤・非常勤
160018	医) 宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	内, 救急, 放射, 脳外, 外, 総合, 眼, 透内	8	常勤
170056	医) 社団アブラハムクラブ ベテスタクリニック	都城市	循, 内, 脳外, 呼, 神, 内	5	常勤
170057	医) 清陵会 隅病院	都城市	内, 外, 整	3	常勤
180064	国立病院機構都城病院	都城市	消, 内, 血, 内, 循, 内, 脳, 産婦, 耳鼻	9	常勤
180069	大悟病院	三股町	精, 内	2	常勤
180081	医) 恵心会 永田病院	都城市	精	1	常勤
190092	都城市医師会病院	都城市	内, 呼	4	常勤
190093	一社) 藤元総合病院附属総合健診センター	都城市	内	2	常勤・非常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
210113	医)邦楽会 河村医院	都 城 市	内	1	常勤
210114	藤元総合病院	都 城 市	精	2	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	外,内,麻	9	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都 城 市	不問	1	常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
240142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内,リハビリ	2	常勤
230150	介護老人保健施設ウェルネス苑都城	都 城 市	不問	1	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	放,消内,消外,健診	4	非常勤
230154	医)養賢会 田中隆内科	三 股 町	内	1	常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延 岡 市	外,整,皮,放,内,消外	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	2	常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	外,内,緩ケア	6	常勤・非常勤
160036	医)久康会 平田東九州病院	延 岡 市	内,外,麻,精,神内, 脳神経,老施,心内	5	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
210112	医)嘉祥会 岡村病院	延 岡 市	内	3	常勤・非常勤
230151	介護老人保健施設エクセルライフ	延 岡 市	内	1	常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内,外	2	常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,内,整,神内	6	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内	3	常勤
230130	医)ラポール向洋	日 向 市	内	1	常勤
230131	医)向洋会 協和病院	日 向 市	内	1	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内	1	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内,放,外	3	常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整,内,心内,眼,健診,循,脳	16	常勤・非常勤
170058	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼,循,消内,外	8	常勤
180077	医)聖山会 川南病院	川 南 町	眼,麻,脳,内,外,整,小, 泌尿	13	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内,外	2	常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	精	1	常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内,消内,神内	3	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	4	常勤・非常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,神内,整,リハビリ	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	腎内	1	常勤
220124	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
230129	医)秀英会 英医院	串 間 市	内	1	常勤
230138	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
230149	介護老人保健施設おびの里	日 南 市	内	2	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,整,皮膚	5	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	循,救急,産婦,放,小	10	常勤
180076	医)友愛会 園田病院	小 林 市	外,内,整	7	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	2	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内	4	常勤・非常勤
23055	医)三和会 池田病院	小 林 市	脳外,整,麻,内,放射,外	7	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国保病院	五ヶ瀬町	整	1	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,透	2	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内,整	2	非常勤

## 病医院施設の譲渡・賃貸

譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 25年 11月 18日現在

1. 譲渡物件	宮崎市阿波岐ヶ原町前田 2633番 ,2634番 土地のみ：593.57坪( 2022.17㎡)	<所有者 児湯医師会員 (医)崧雲会 林クリニック>
---------	-----------------------------------------------------	-------------------------------

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の午前9時から12時及び13時から17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

**ドクターバンク無料職業紹介所**

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10番地( 宮崎県医師協同組合 )

0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyou@m iyazaki med.or.jp

お知らせ

## 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

日州医事では，読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や，読みたい記事のご提案など，忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお，いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

宛 先

宮崎県医師会広報委員会

E-mail: genko@m iyazaki med.or.jp

F A X : 0985-27-6550

### 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 25年 11月 28日現在

		12		月			
1	日	8 44 宮銀ゴルフコンペ 10 00 全国有床診療所連絡協議会役員会		9 00 指導医のための教育ワーク ショップ			↑
2	月	14 00 県がん診療連携協議会 19 00 広報委員会	14	13 00 県産婦人科医会新生児蘇生法 講習会 14 00 産業医研修会 14 00 産業医研修会( 実地 ) 15 00 生活習慣病検診従事者研修会			
3	火	18 00 治験審査委員会 19 00 第 22回常任理事協議会					
4	水	19 00 都城市北諸県郡医師会忘年会		8 00 指導医のための教育ワーク ショップ			保
5	木		15	8 00 県総合防災訓練 14 00 日医連医政活動研究会			
6	金	14 00 国民集会「国民医療を守るための総決 起大会」 19 00 医学賞選考委員会 19 00 県外科医会全理事会 19 00 感染症危機管理・予防接種実務担当 者研修会	16	19 00 広報委員会 19 00 新型インフルエンザ等対策特別 措置法に基づく特定接種に係る 説明会			審 査
7	土	13 00 家族計画・母体保護法指導者講習会 14 30 産業医研修会( 実地 ) 16 30 役職員研修会 17 25 第 11回全理事協議会 18 15 役職員懇談会	17	14 00 ( 日医 )日医理事会 18 20 医協打合会 19 00 第 23回常任理事協議会 19 00 自殺対策うつ病研修会			
8	日	13 30 女性医師支援センター事業ブロッ ク別会議		15 00 労災診療指導委員会 19 30 日医テレビ健康講座打合せ会議			↓
9	月	18 30 医協会計監査 19 00 自殺対策うつ病研修会	18				
10	火	19 00 県地域医療・福祉推進協議会 代表者会 19 00 延岡市医師会会員忘年会	19	13 30 県歯科保健推進協議会成人期 部会 16 00 県慢性腎臓病( CKD )対策連絡 協議会 19 00 西都市西児湯医師会忘年会			社 保 審 査
11	水	13 30 看護師等の「雇用の質」の向上のため の取組に関する企画委員会 13 30 県社会福祉協議会理事会 14 00 ( 日医 )日医認証局の運営に係る情報 担当理事及び事務局担当者向け連絡 協議会 16 00 支払基金幹事会 18 30 宮崎市郡医師会年末懇親会 19 00 医師国保組合理事会	20	19 00 生活習慣病検診従事者研修会			
12	木	13 30 ( 日医 )都道府県医師会医事紛争担当 理事連絡協議会	21	18 00 県産婦人科医会全理事会			↓
13	金	15 00 ( 日医 )日医地域医療対策委員会	22				
			23	( 天皇誕生日 )			↑
			24	18 15 医協理事会 19 00 第 12回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会			
			25	18 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎 部会			社 保 審 査
			26				
			27				↓
			28				
			29	( 年末休業 )			↓
			30	( 年末休業 )			
			31	( 年末休業 )			

都合により、変更になることがあります。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 25年 11月 28日現在

1		月			
1	水	( 年始休業 )	18 土	県産婦人科医会冬期総会	↑ 国 保 審 査 ↓ 社 保 審 査 ↓
2	木	( 年始休業 )	19 日	10 00 ( 日医 )日医医療事故防止研修会	
3	金	( 年始休業 )	20 月		
4	土	19 00 三師会新春懇談会	21 火	12 30 ( 日医 )日医理事会	
5	日			14 20 ( 日医 )都道府県医師会長協議会	
6	月	13 00 新年賀詞交歓会		16 30 ( 日医 )日医連執行委員会	
7	火	19 00 第 24回常任理事協議会		17 30 ( 日医 )都道府県医師会長協議会 ・日医連執行委員会合同新年会	
8	水	16 00 支払基金幹事会 18 30 病院部会・医療法人部会合同理事会		18 20 医協打合会 19 00 第 26回常任理事協議会	
9	木		22 水	14 00 産業医研修会( 実地 )	
10	金	13 30 県後期高齢者医療広域連合運営懇話会	23 木		
			24 金		
11	土	13 30 在宅医療協議会役員会 14 00 在宅医療協議会総会・研修会 14 30 産業医研修会	25 土	14 00 九州各県医師会医療情報システム担当理事連絡協議会	
				16 30 九医連常任委員会 16 30 九医連各種協議会	
12	日				
13	月	( 成人の日 )	26 日		
14	火	18 00 治験審査委員会 19 00 第 25回常任理事協議会	27 月	19 00 広報委員会	
				18 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 19 00 第 13回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会	
15	水		28 火		
16	木	13 00 ( 日医 )日医定款・諸規程検討委員会 13 30 産業医研修会 15 00 ( 日医 )日医公衆衛生委員会 19 30 広報委員会	29 水	15 00 労災診療指導委員会	
			30 木	19 00 産業医研修会	
17	金		31 金		

都合により、変更になることがあります。

## 医 学 会 ・ 講 演 会 日本医師会生涯教育講座認定学会

単位 日本医師会生涯教育制度認定単位数, CC カリキュラムコード(当日, 参加証を交付)

がん 各種がん検診登録・指定・更新による研修会。(胃・大腸・肺・乳)

アンダーラインの部分は, 変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ が ん
第 84回宮崎市郡医 師会心臓病研究会 12月 2 日(月) 18 45~ 20 15 宮崎観光ホテル	最近の肺高血圧の話題について 久留米大学医学部心臓・血管内科部門 主任教授 福本 義弘	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 興和創薬(株)	1.5	2 9 74
平成 25年度感 染 症危機管理・予防 接種実務担当者 研修会 12月 6 日(金) 19 00~ 20 30 県医師会館(TV 会 議: 都城・延岡・ 日向・児湯・西都・ 南那珂・西諸・西 臼杵)	ワクチン予防可能疾患について - インフルエンザ・風しんを含めて - 済生会中津病院臨床教育部長 安井 良則	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県	1.5	11 12 13
宮崎県医師会産業 医研修会 12月 7 日(土) 14 30~ 17 00 東ソー日向(株)	(7)職場巡視と討論 職場巡視における作業環境の体験 浦上内科外科医院長 浦上 裕 基礎研修・生涯研修の現地研修会 2.5単位	主催 日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222	2.5	1 3 5 8 11

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん
第 7 回はまゆう 整形外科セミナー 12月 7 日(土) 17 15~ 18 15 宮崎観光ホテル	毎日の臨床に役立つ“手外科”の知識 渡辺整形外科病院長 牧 信哉	主催 はまゆう整形外科セミナー (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986	1	57 61
平成 25 年度宮崎県 医師会自殺対策 うつ病研修会 12月 9 日(月) 19 00~ 21 00 県医師会館(TV 会 議 都城・延岡・ 日向・児湯・西都・ 南那珂・西臼杵)	かかりつけ医と精神科医のうつ病治療連携 - 久留米地区におけるうつ病ネットワークの構築 - 久留米大学医学部神経精神医学講座教授 内村 直尚	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県	2	12 13 69 70
宮崎市郡外科医会 12月例会 12月 9 日(月) 19 10~ 20 10 宮崎観光ホテル	病院前救急診療について 宮崎大学医学部救急・災害医学分野教授 落合 秀信	主催 宮崎市郡外科医会 ☎ 0985-53-3434 共催 旭化成ファーマ(株)	1	84
第 18 回宮崎県泌尿 器科医会 12月 12 日(木) 19 00~ 21 00 宮崎観光ホテル	前立腺癌に対する新規薬剤について - そろそろ真剣に考えないと - 宮崎大学医学部泌尿器科教授 賀本 敏行	主催 宮崎県泌尿器科医会 (連絡先) 宮崎大学医学部泌尿器科 ☎ 0985-85-2968	2	9 12 65 84

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん
平成 25年度医療 機関等結核対策 研修会 12月 14日(土) 14 00~ 16 00 延岡保健所	医療機関における結核対策 県立宮崎病院内科医長 田中 玄一 高齢者の結核の診断と治療について 国立病院機構熊本南病院 山中 徹	主催 延岡保健所 (連絡先) 延岡市医師会 ☎ 0982-21-1300	2	11 12 13 14
宮崎県医師会産業 医研修会 12月 14日(土) 14 15~ 17 20 宮崎市郡医師会館	(4)メンタルヘルス対策 精神科診療における症状・治療の評価 - 復職にむけての支援 - いわきりこころのクリニック院長 岩切 美千代 (3)健康管理 就労者をとりまく心臓病リスク 藤元中央病院長 竹永 誠 基礎研修の後期研修会・生涯研修の専門研修会 3単位	主催 宮崎市郡医師会 ☎ 0985-53-3434	3	3 5 6 9 11 12
平成 25年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 12月 14日(土) 15 00~ 17 10 県医師会館(TV会 議：都城・延岡・ 日向・児湯・西都・ 西諸)	非小細胞肺癌の外科治療と術後化学療法 宮崎大学医学部循環呼吸・総合外科病院講師 富田 雅樹 乳癌診療について 宮崎大学医学部腫瘍機能制御外科学分野 前原 直樹 胃癌予防とガイドラインの見直し 宮崎大学医学部消化器血液学分野助教 三池 忠 大腸癌について 古賀総合病院外科部長 指宿 一彦	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県	2	2 11 12 82 肺 乳 胃 <b>大腸</b>

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ が ん
学術講演会 - 高齢者のQOLを 考える - 12月 14日(土) 16 00~ 18 15 K IT EN	高齢者感染症の予防と治療 他 2 宮崎大学医学部免疫感染症病態学分野教授 岡山 昭彦 他 2	共催 宮崎県内科医会 MSD (株) ☎ 0985-28-9496 後援 宮崎県医師会	2	1 11 19 70
第 15回宮崎県眼科 医会講習会 12月 14日(土) 16 00~ 19 00 宮崎観光ホテル	最近の網膜の話題から 宮崎大学医学部眼科学分野教授 直井 信久 網膜静脈分枝閉塞症に対する治療の正解は？ 済生会新潟第二病院眼科 安藤 伸郎 参加費 3,000円(開業医・勤務医) 2,000円(公的医療機関勤務医)	主催 宮崎県眼科医会 ☎ 0985-28-1015 共催 ノバルティスファーマ	3	36
第 70回宮崎県精神 科医会懇話会 12月 14日(土) 17 00~ 19 20 宮崎観光ホテル	うつ病の認知行動療法 最新の話 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター長 大野 裕	共催 宮崎県精神科医会 ☎ 0982-37-0126 大塚製薬(株)	2	2 6 69 70
都城市北諸県郡 医師会内科医会 学術講演会 12月 17日(火) 19 00~ 20 30 都城ロイヤル ホテル	高血圧・循環調節因子研究の新たな展開 - 宮崎大学第 1 内科での研究を中心として - 宮崎大学医学部循環体液制御学分野教授 北村 和雄	共催 都城市北諸県郡医師会内科医会 ☎ 0986-22-0711 武田薬品工業(株)	1.5	23 74 82

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん
平成25年度宮崎県 医師会自殺対策 うつ病研修会 12月17日(火) 19 00~ 21 00 小林保健所	かかりつけ医と精神科医のうつ病治療連携 - 久留米地区におけるうつ病ネットワークの構築 - 久留米大学医学部神経精神医学講座教授 内村 直尚	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県	2	12 13 69 70
ビデュリオン発売 記念講演会 12月19日(木) 19 00~ 20 30 ガーデンテラス 宮崎	2型糖尿病治療における週一投与ビデュリオンへの 期待 - 各種大規模スタディーを踏まえて - 東京医科大学内科学第三講座主任教授 小田原 雅人	共催 宮崎県内科医会 アストラゼネカ(株) ☎ 080-3815-5763 プリストル・マイヤーズ(株)	1.5	23 76 82
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 12月19日(木) 19 00~ 21 00 ガーデンベルズ 小林	LDA 起因性消化管障害の現状と対策 - PPIにできること - 藤元総合病院消化器・肝臓内科部長 駒田 直人	主催 西諸医師会 ☎ 0984-23-2113 西諸内科医会 共催 アストラゼネカ(株) 第一三共(株)	2	1 21 52 53
平成25年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 12月20日(金) 19 00~ 21 10 県医師会館(TV会 議:都城・延岡・ 日向・児湯・西都・ 西諸)	非小細胞肺癌の外科治療と術後化学療法 宮崎大学医学部循環呼吸・総合外科病院講師 富田 雅樹 乳癌診療について 宮崎大学医学部腫瘍機能制御外科学分野 前原 直樹 胃癌予防とガイドラインの見直し 宮崎大学医学部消化器血液学分野助教 三池 忠 大腸癌について 古賀総合病院がん治療センター副センター長 後藤 崇	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県	2  2	2 11 12 82 肺 乳 胃 <b>大腸</b>

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん
第 6回宮崎整形外 科懇話会 12月 21日(土) 18 00~ 19 00 県医師会館	肉離れ, 筋損傷の超音波検査による診断と評価 増田病院整形外科 魏 国雄 参加費 1,000円	主催 宮崎整形外科懇話会 共催 宮崎県整形外科医会 大日本住友製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986	1	57 62
延岡医学会学術 講演会 12月 27日(金) 19 00~ 20 00 延岡市医師会病院	子宮頸がんをめぐる話題 九州大学医学部生殖病態生理学分野教授 加藤 聖子	共催 延岡医学会 宮崎県北産婦人科医会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎ 0982-21-1300	1	9 12
宮崎県肝炎啓発 セミナー 平成 26年 1月 10日(金) 18 45~ 20 30 K IT EN	消化管炎症性疾患の超音波診断 成田赤十字病院検査部生理検査課長 長谷川 雄一 佐賀県の肝炎性検査啓発活動の実際 佐賀大学医学部附属病院 肝疾患医療支援学講座教授 江口 有一郎	共催 宮崎県腹部超音波懇話会 プリストル・マイヤーズ(株) ☎ 080-5059-4228 後援 宮崎市郡医師会	1.5	11 18 27
第 11回宮崎県腹部 超音波懇話会 1月 11日(土) 9 00~ 16 00 南部病院	胃腸エコーのすべて 成田赤十字病院検査部生理検査課長 長谷川 雄一 参加費 3,000円	主催 宮崎県腹部超音波懇話会 (連絡先) プリストル・マイヤーズ(株) ☎ 080-5059-4228	1.5	1 8 53

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ が ん
宮崎県医師会産業 医研修会 1月11日(土) 14 30~ 18 30 県医師会館(TV会 議 都城・延岡・ 日向・児湯・西都・ 南那珂・西諸)	(3)健康管理 遺伝子情報の産業保健への応用 - 健康管理に遺伝子情報は活用できるのか - 熊本大学公衆衛生・医療科学分野教授 加藤 貴彦 (1)総論 Fit for work - 働くことを支援する新しい医療概念 - 産業医科大学医学部公衆衛生学教授 松田 晋哉 基礎研修の後期研修会・生涯研修の専門研修会 4単位	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	4	1 3 4 9 10 11 13 84
第 73回 宮崎 大学 眼科研究会 1月11日(土) 15 00~ 19 00 宮崎観光ホテル	今後の多焦点眼内レンズの方向性 林眼科病院長 林 研 病態からみた加齢黄斑変性治療 東京女子医科大学医学部眼科主任教授 飯田 知弘 他一般講演 10題 参加費 2,000円	主催 宮崎大学医学部眼科学教室 ☎ 0985-85-2806	4	36
宮崎県医師会産業 医研修会 1月16日(木) 13 30~ 16 30 県医師会館	(3)健康管理 歯周病疾患の予防等に関する研修会 - 働く人の口腔衛生・お口の病気と体の病気 - くつかけ歯科院長 錦井 英資 ゆうこうデンタルクリニック院長 濱田 義三 生涯研修の専門研修会 3単位	共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	3	3 5 8 9 10 13
宮崎県医師会産業 医研修会 1月22日(水) 14 00~ 16 00 県医師会館	(6)作業環境管理・作業管理 防護具の使用法(マスクの使い方) 宮崎大学医学部公衆衛生学分野教授 黒田 嘉紀 生涯研修の現地研修会 2単位	共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	9 10 11 46

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん
宮崎県医師会産業 医研修会 1月30日(木) 19 00~ 21 00 県医師会館	(5)健康保持推進 健康労働寿命の延長にむけて - 65歳まで健康で働くために - 東北労災病院部長 宗像 正徳 生涯研修の専門研修会 2単位	共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	5 8 11 12
第1回宮崎脊椎外 科を語る会 1月31日(金) 19 00~ 20 15 宮崎観光ホテル	脊椎・脊髄損傷 - 総合せき損センターにおける診断と治療の実際 - 労働者健康福祉機構総合せき損センター 院長 芝 啓一郎	共催 宮崎脊椎外科を語る会 日本臓器製薬(株) ☎ 096-386-0441 後援 宮崎県臨床整形外科医会 宮崎県整形外科医会	1	60 61
宮崎県医師会産業 医研修会 2月6日(木) 19 00~ 21 00 県医師会館(TV会 議 都城・延岡・ 日向・児湯・西都・ 南那珂・西諸)	(3)健康管理 職場における糖尿病対策 都城市郡医師会病院副院長 中津留 邦展 生涯研修の専門研修会 2単位	共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	8 9 11 76
西諸医師会・西諸 整形外科医会・西 諸内科医会合同学 術講演会 2月7日(金) 18 30~ 19 30 ガーデンベルズ 小林	体に触ってわかる腰痛の真実 菊野病院副院長 古賀 公明	主催 西諸医師会 ☎ 0984-23-2113 西諸整形外科医会 共催 西諸内科医会 日本臓器製薬(株)	1	60 62

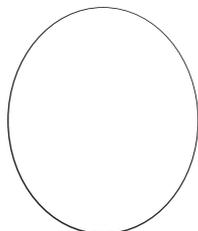
名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん
宮崎県医師会産業 医研修会 2月13日(木) 14 00~ 16 00 県医師会館	(4)メンタルヘルス対策 職場で活かす精神科テクニック 都城新生病院 生涯研修の専門研修会 2単位	共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	5 11 69 70
臨床医のための 循環器疾患研究会 2月13日(木) 19 00~ 20 30 宮崎観光ホテル	元気な高齢者に潜む心筋梗塞リスク(仮) 鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学教授 大石 充	共催 宮崎県内科医会 臨床医のための循環 器疾患研究会 後援 トーアエイヨー(株) ☎ 080-5576-5209	1.5	1 9 15
宮崎県医師会産業 医研修会 2月21日(金) 14 00~ 16 00 県医師会館	(4)メンタルヘルス対策 事業所におけるうつ病対策 西都病院 生涯研修の専門研修会 2単位	共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	3 6 8 13

日本医師会生涯教育カリキュラム ( 2009 )

カリキュラムコード(略称 CC)

1 専門職としての使命感	29 認知能の障害	57 外傷
2 継続的な学習と臨床能力の保持	30 頭痛	58 褥瘡
3 公平・公正な医療	31 めまい	59 背部痛
4 医療倫理	32 意識障害	60 腰痛
5 医師 - 患者関係とコミュニケーション	33 失神	61 関節痛
6 心理社会的アプローチ	34 言語障害	62 歩行障害
7 医療制度と法律	35 けいれん発作	63 四肢のしびれ
8 医療の質と安全	36 視力障害, 視野狭窄	64 肉眼的血尿
9 医療情報	37 目の充血	65 排尿障害(尿失禁・排尿困難)
10 チーム医療	38 聴覚障害	66 乏尿・尿閉
11 予防活動	39 鼻漏・鼻閉	67 多尿
12 保健活動	40 鼻出血	68 精神科領域の救急
13 地域医療	41 嘔声	69 不安
14 医療と福祉の連携	42 胸痛	70 気分の障害(うつ)
15 臨床問題解決のプロセス	43 動悸	71 流・早産および満期産
16 ショック	44 心肺停止	72 成長・発達の障害
17 急性中毒	45 呼吸困難	73 慢性疾患・複合疾患の管理
18 全身倦怠感	46 咳・痰	74 高血圧症
19 身体機能の低下	47 誤嚥	75 脂質異常症
20 不眠	48 誤飲	76 糖尿病
21 食欲不振	49 嚥下困難	77 骨粗鬆症
22 体重減少・るい瘦	50 吐血・下血	78 脳血管障害後遺症
23 体重増加・肥満	51 嘔気・嘔吐	79 気管支喘息
24 浮腫	52 胸やけ	80 在宅医療
25 リンパ節腫脹	53 腹痛	81 終末期のケア
26 発疹	54 便通異常(下痢・便秘)	82 生活習慣
27 黄疸	55 肛門・会陰部痛	83 相補・代替医療(漢方医療を含む)
28 発熱	56 熱傷	84 その他

## 診療メモ



## モービルCCU運用から1年

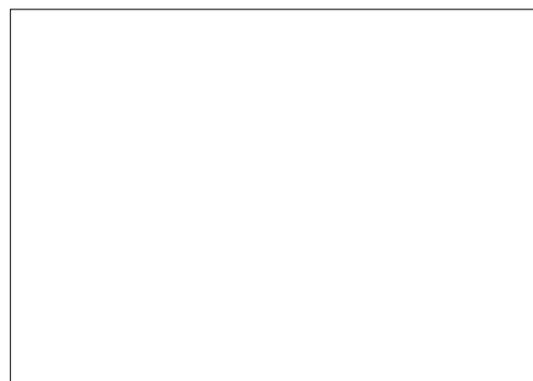
宮崎市郡医師会病院心臓病センター しば た よし さと 柴 田 剛 徳

宮崎県医療計画の中で、当院心臓病センターは特に急性心筋梗塞の診療の一環として、センター人員体制の拡充、医療機器の新規導入、更新等の整備を行い、さらに宮崎県内の心疾患による死亡率減少を目的として、県全域の医療機関との間にネットワークを構築するために、昨年10月よりドクターカー(モービルCCU)を導入することとなりました。

モービルCCUとは

モービルCCU(資料1)とは、「mobile coronary care unit」の略で、「移動する冠動脈疾患集中治療室」のことです。冠動脈は心臓の筋肉に酸素やエネルギーとなる栄養を届ける重要な血管です。この血管が狭くなったり閉塞したりすると狭心症や急性心筋梗塞になり、できるだけ早く高度な治療ができる病院に搬送しなければなりません。モービルCCUは、このような患者が発症した場合、循環器内科医と看護師が同乗して、当センターへ緊急搬送する24時間体制のドクターカーのことです。車体は従来の消防局救急車より全長・横幅・高さとも大きく、そのため特殊な医療機器(大動脈内バルーンポンピング、経皮的人工心臓など)を使用している患者の搬送が可能です。その他、救急蘇生に必要な医療器具や薬剤が常備されていて、搬送中、患者の急変にも適確に対応できます。対象疾患としては、急性心筋梗塞だけでなく、急性心不全、悪性不整

脈(心室細動、心室頻拍)、解離性大動脈瘤、大動脈瘤破裂、急性動脈閉塞症、肺血栓塞栓症などの緊急性の高い循環器疾患が含まれます。



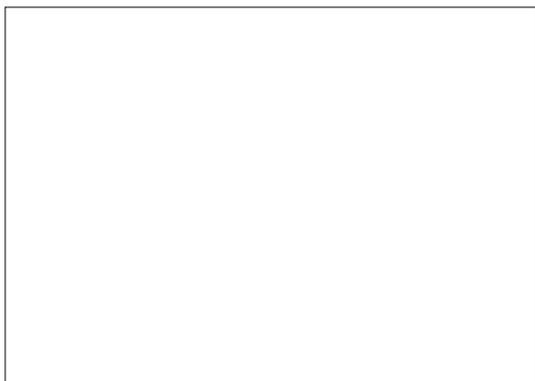
資料1 モービルCCUの外観と内装

この1年の運用状況

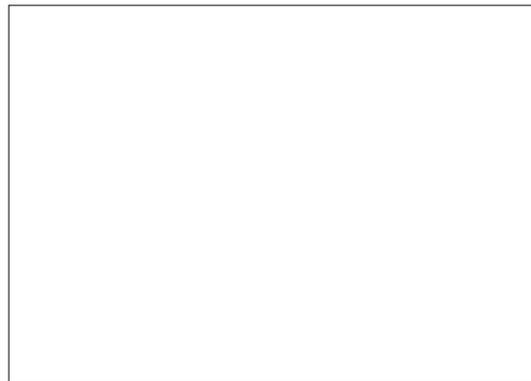
昨年10月から今年9月までの1年間に5件の出動要請がありました。地域別内訳は、小林市が20件、宮崎市10件、日南市8件、延岡市7件の順でした(資料2)。疾患別内訳は、やはり急性心筋梗塞、不安定狭心症などの急性冠症候群が全体の60%を占めていました(資料3)。男女比では60%以上が男性で、年齢別内訳をみると男女とも60歳代がもっとも多い傾向でした(資料4)。所要時間の内訳については、資料5に各地域の平均時間として示しています。地域別の2つの棒グラフに関しては、1つは当院出発から医師が患者を診察するまで<初診まで>、もう1つは当院出発から帰院まで<帰院まで>とし

て表しています。延岡市と日南市の帰院平均時間が殆ど変わらないのは、延岡市の場合は、ドッキング走行が4件あり、その内2件はドクターヘリ併用が含まれているためです。高原町の所要時間が短いのも、同じくドクターヘリ併用によるものです。ドッキング走行とは、依頼施設から地域の救急車もしくは宮崎大学医学部救急

救命センターのドクターヘリで一定のポイントまで搬送され、そこでモバイルCCUに患者を引き継ぐことです。この走行を利用することで、より早く患者が当センターに到着できます。ドクターヘリとのドッキングポイントは、宮崎臨海公園で、ヘリ到着時刻に合わせてモバイルCCUを出動させています。実際の出動開始状況に関



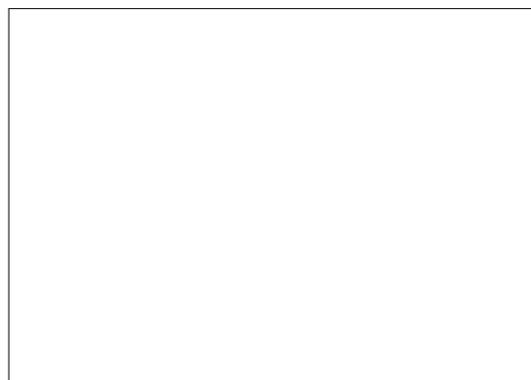
資料2 モービルCCU 地域別出動件数



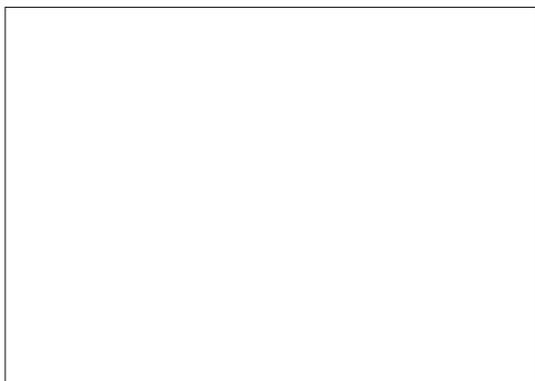
資料5 モービルCCU 出動から到着までの地域別所要時間



資料3 モービルCCU 対象疾患



資料6 心臓血管造影室並びに事務室でのモービルCCU 情報モニター



資料4 モービルCCU 患者男女比と年代別患者数



資料7 モービルCCU 内でのテレビカメラ とGPSによるモービルの位置情報

しては、紹介医から依頼後およそ 20 分で当院から出動できるようになっています。これは、院内に運転乗務員が常駐していることで実現できています。また、患者データに関しては、依頼を受けた医師が電子カルテに直接患者情報を打ち込むため、院内スタッフ間で共有できて、伝達時間の短縮につながっています。さらに、モバイル CCU 内にテレビカメラと GPS が設置されているので、院内から患者状態や、モバイルの走行位置が随時把握できます(資料 6, 7)。症例を 1 例紹介します。

モバイル CCU にて心嚢ドレナージを行い救命しえた症例

患者は 60 歳代女性、意識消失発作と一過性四肢麻痺にて近くの病院へ救急搬入。既往症として、高血圧症にて近医で加療中であった。意識レベルは I -10 (GCS) で血圧が 190 台から 65 まで低下。上肢の血圧に左右差を認めた。頭部 CT 検査では、異常は認めなかったが、胸部 CT 検査にて上行大動脈の拡大、flap、心嚢液貯留を認め、急性大動脈解離 (Stanford A) と診断。当院から 54km 離れた施設からの依頼で、モバイル CCU が出動したのは 23 30。現地到着は 0 26。10 分後に患者を車内収容。血圧は 76/46、心拍数は 71 で、心タンポナーデと診断して、心嚢ドレナージ施行 (100 ml 排液)。その後、0 56 に現地を出発して、心エコー、CV ライン、薬剤投与を行いながら、当院へは 2 30 に到着。帰院時の血圧は 102/69、心拍数は 69 と安定していた。搬送中、医師が緊急手術の可能性が高いと判断し、到着時間に合わせて外科スタッフが召集され、緊急開胸手術を施行。患者は第 49 病日、無事退院。

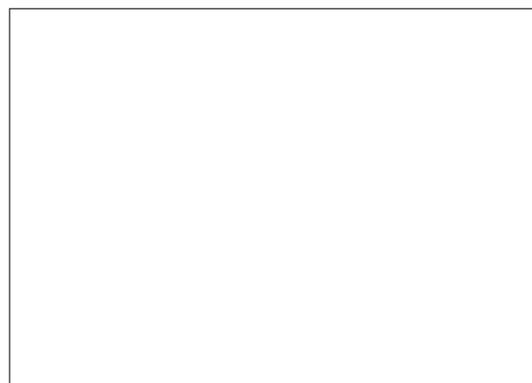
本例は、出動から帰院まで 3 時間を要しましたが、搬送中、ドレナージ治療を行い血行動態が安定した状態で、到着後直ちに心臓血管外科へ引き継ぎ、救命することができました。

今後の展望

モバイル CCU の出動回数は月平均 5 回と少なく、まだまだ県内に十分浸透していない感はありますが、当院センターの急性冠症候群カテーテル治療数は年々増加していて(資料 8)、少しでも宮崎県の急性心筋梗塞死亡率減少に貢献できればと考えています。出動地域については、近くに循環器疾患基幹病院のある地域では、当院搬送までの時間を考えれば、まず同施設への搬送が望ましいでしょうが、緊急カテーテル治療ができない地域や高度治療を必要とする患者に関しては、このモバイル CCU の役割は十分あると思います。その際、より搬送時間の短縮が求められる場合は、ドクターヘリや地元救急車とのドッキング走行は選択枝の一つです。

今後も引き続き、地域の医療機関と協力し合っ、県内のできるだけ多くの心臓病患者が適切な医療が受けられるよう努力していきたいと思、いますので、どうぞよろしくお願、いいたします。

最後になりますが、会員の先生方におかれましては、常日頃よりお世話になり、感謝を申し上げます。



資料 8 当院における年度別急性冠症候群カテーテル治療成績

宮崎市郡医師会病院心臓病センター

ホームページ:

<http://www.cure.or.jp/jyunkanki/>

新刊書籍のご案内

## お知らせ

県医師会から各都市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。また、MMA通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時ご案内しておりますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

会員専用ページへのアクセス方法

宮崎県医師会 (<http://www.miyazaki-med.or.jp/>) にアクセス

県医師会ホームページ右下の「会員専用ページ」をクリック

ユーザー名 医籍登録番号を入力

パスワード 生年月日(西暦の下二桁と月日)を入力(初期設定)

例) 1950年 11月 2日 生まれの場合, 501102

MMA通信への登録をご希望の方は、県医師会地域医療課までご連絡ください

(TEL 0985-22-5118)。

送付日	文 書 名
10月 31日	・「病院等における防火・防災対策要綱について」及び「有床診療所等に対する防火・防災対策の周知徹底等について」(通知)
11月 1日	・新たに薬事・食品衛生審議会において公知申請に関する事前評価を受けた医薬品の適応外使用について ・医療安全全国フォーラムについて ・医療安全推進週間(11月 24日～11月 30日)について
11月 5日	・「予防接種ガイドライン 2013年度版」,「予防接種と子どもの健康 2013年度版」の改訂について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・病院, 診療所等における防火・防災対策について ・2014年度日本対がん協会「奨学医」推薦のお願い ・公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて
11月 6日	・健康食品の原材料として使用された成分(2,4-ジニトロフェノール(DNP))の取り扱いについて ・平成 25年度日本医師会医療事故防止研修会開催のご案内
11月 9日	・病院・診療所等の防火体制に係る実態調査の実施について(依頼)
11月 11日	・建築物の耐震改修の促進に関する法律の一部改正について
11月 12日	・地域医療支援病院の承認要件見直しについて
11月 14日	・財務省共済組合員証の無効について(通知) ・医療対話推進者養成セミナーのご案内 ・検査料の点数の取扱いについて ・公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて

送付日	文 書 名
11月 15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮崎県特定健診・特定保健指導に関する従事者研修会(実践編)の開催について(依頼)</li> <li>・インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動の情報収集に関する研究に対する協力について</li> </ul>
11月 18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 25年度 A i研修会の開催について(ご案内)</li> <li>・共済組合員証の亡失についてのお知らせ</li> </ul>
11月 19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品等事業者が実施すべき管理運営基準に関する指針(ガイドライン)の改正について</li> <li>・インフルエンザ疾患関連死亡者数迅速把握事業について</li> <li>・高齢者等インフルエンザワクチン予防接種事故の防止について(通知)</li> <li>・(記者発表)高齢者等インフルエンザ予防接種のワクチン接種量過誤について</li> <li>・今冬のインフルエンザ総合対策の推進について</li> <li>・救命救急センターの評価結果(平成 25年度)について</li> </ul>
11月 21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について</li> <li>・宮崎県版インフルエンザ予防啓発ポスターの送付について</li> <li>・今冬のインフルエンザ総合対策の推進について</li> </ul>
11月 25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康食品(VERSA -1)に関する注意喚起について(健康食品(OxyElite Pro)に関する追加情報)</li> <li>・厚生労働省通知「自動体外式除細動器(AED)の適切な管理等の実施について」等について</li> </ul>
11月 27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月勤労統計調査(第二種事業所)の調査協力依頼について(依頼)</li> <li>・独立行政法人福祉医療機構による医療貸付事業融資制度利用希望者に対する個別融資相談会の開催について</li> </ul>
11月 28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抗インフルエンザウイルス薬の安定供給等について</li> <li>・日本脳炎及び予防接種後を含む急性脳炎・脳症等の実態把握について</li> <li>・感染性胃腸炎の流行に伴うノロウイルスの予防啓発について</li> </ul>
11月 29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染性胃腸炎の流行に伴うノロウイルスの予防啓発について</li> <li>・抗インフルエンザウイルス薬の使用上の注意に関する注意喚起の徹底について</li> </ul>

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8
b	b, e	d	d	a, b	e	a	b

## 平成 25年 総目次 ( 761~ 772)

## 【表 紙】

感謝	日向市	康田明照	1月号
星空燃ゆ	小林市	前田俊二	2月号
早春の阿蘇	日向市	渡邊命平	3月号
翔	都城市	吉山登志子	4月号
青×赤	東京都	木佐貫冬星	5月号
頑張れかたつむり	宮崎市	田崎高伸	6月号
ヨットと赤い家	小林市	押川俊子	7月号
虹伝説(イグアスの滝)	宮崎市	西村篤乃	8月号
あしびきの	延岡市	谷脇かおる	9月号
ラ・フランス	宮崎市	石川万佐子	10月号
樹形模様	新富町	丸田英夫	11月号
コラージュM	新富町	丸田眞美	12月号

## 【会長のページ】

年頭所感	会 長	稲倉正孝	1月号
医療基本法			2月号
羽生田たかし日医連副委員長を国会に!			3月号
健康食品とサプリメントによる健康被害			4月号
(株)ジェイエイフーズみやざきとの事業連携協定			5月号
第23回参議院比例代表選挙について			6月号
日本医師会綱領の策定(報告)			7月号
第23回参議院選挙を省みて			8月号
社会保障制度改革国民会議報告書を読んで			9月号
次期診療報酬改定における社会保障・税一体改革関連の基本的な考え方 - 入院医療について -			10月号
成育基本法の制定に向けて			11月号
閉院・廃業と日本医師会医師賠償責任保険について			12月号

## 【日州医談】

有料老人ホームにおける諸問題	常任理事	石川智信	2月号
「国民皆保険」を守るために	常任理事	立元祐保	3月号
Ⅲを利用した地域医療連携の現状と課題	常任理事	荒木早苗	3月号
参議院議員比例代表選挙の意味	常任理事	池井義彦	4月号
在宅医療の推進と多職種協働	常任理事	牛谷義秀	5月号
医師国民健康保険組合の現況について	理 事	高橋政見	6月号
新しい専門医制度	理 事	上田章	7月号
翔け! 総合診療医	常任理事	金丸吉昌	8月号
医師国民健康保険組合を取り巻く諸問題について	理 事	矢野裕士	9月号
大学病院は今	理 事	直井信久	10月号
後発医薬品, いわゆるジェネリック医薬品	理 事	峰松俊夫	11月号
医師不足と対策	理 事	佐々木幸二	12月号

## 【 挨 拶 】

年頭所感	日本医師会長	横 倉 義 武	1月号
年頭所感	宮崎市郡医師会長	川 名 隆 司	1月号
年頭所感	都城市北諸県郡医師会長	飯 田 正 幸	1月号
年頭所感	延岡市医師会長	牧 野 剛 緒	1月号
年頭所感	日向市東臼杵郡医師会長	渡 邊 康 久	1月号
年頭所感	児湯医師会長	永 友 和 之	1月号
年頭所感	西都市・西児湯医師会長	岩 見 晶 臣	1月号
年頭所感	南那珂医師会長	山 元 敏 嗣	1月号
年頭所感	西諸医師会長	高 崎 直 哉	1月号
年頭所感	西臼杵郡医師会長	佐 藤 元二郎	1月号
年頭所感	宮崎大学医学部医師会長	池ノ上 克	1月号
年頭所感	内科医会長	栗 林 忠 信	1月号
年頭所感	小児科医会会長代行	三 宅 和 昭	1月号
年頭所感	外科医会長	田 中 俊 正	1月号
年頭所感	整形外科医会長	田 島 直 也	1月号
年頭所感	皮膚科医会長	成 田 博 実	1月号
年頭所感	泌尿器科医会長	中 山 健	1月号
年頭所感	産婦人科医会長	濱 田 政 雄	1月号
年頭所感	眼科医会長	柴 田 博	1月号
年頭所感	耳鼻咽喉科医会長	井 手 稔	1月号
年頭所感	精神科医会長	吉 田 建 世	1月号
年頭所感	放射線科医会長	田 村 正 三	1月号
年頭所感	東洋医会長	川 越 宏 文	1月号
年頭所感	透析医会長	藤 元 昭 一	1月号
年頭のご挨拶	宮崎県知事	河 野 俊 嗣	1月号
年頭のご挨拶	宮崎大学長	菅 沼 龍 夫	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員( 1 区 )	武 井 俊 輔	2月号
年頭のご挨拶	衆議院議員( 2 区 )	江 藤 拓	2月号
年頭のご挨拶	衆議院議員( 3 区 )	古 川 禎 久	2月号
年頭のご挨拶	衆議院議員( 九州ブロック )	中 山 成 彬	2月号
年頭のご挨拶	参議院議員	松 下 新 平	2月号

## 【宮崎大学医学部教授就任挨拶】

外科学講座循環呼吸・総合外科学分野	教 授	中 村 都 英	7月号
感染症学講座免疫学分野	教 授	佐 藤 克 明	7月号

## 【随想・随筆】

専門医とプライマリーケア医について考える	宮 崎 市	田 島 直 也	3月号
私にとっての小旅行	宮 崎 市	谷 口 二 郎	4月号
紀元は二六〇〇年	宮 崎 市	古 賀 繁 喜	10月号
再びの島原半島	西 都 市	友 成 久 雄	10月号
どこまで同意と説明すべきか	宮 崎 市	谷 口 二 郎	11月号
久本先生の死生観	宮 崎 市	佛 坂 正 幸	12月号

## 【新春随想・俳壇・歌壇・川柳・絵画】

魯山人の様に	宮 崎 市	谷 口 二 郎	1月号
生きる	都 城 市	山 路 健	1月号

こころ(心)	延岡市	宝珠山	弘	1月号
食物アレルギーは皮膚から始まる！?	宮崎市	出盛	允啓	1月号
夢見る父を	延岡市	藤本	孝一	1月号
スポーツ吹き矢	宮崎市	日高	正昭	1月号
カズエさんと道子さん	高鍋町	坂田	師通	1月号
小児科医の言いたい放題	延岡市	宝珠山	厚生	1月号
コラム人気	宮崎市	高崎	眞弓	1月号
母は100歳になりました	宮崎市	立山	浩道	1月号
遙かなる霧島登山	三股町	山下	兼一	1月号
年男は大忙し	宮崎市	原田	一道	1月号
六周目の巳年新春に想う	宮崎市	大野	政一	1月号
気球で空飛んだ兵隊さん	日南市	梅村	享信	1月号
サプリメント	宮崎市	綾部	隆夫	1月号
マスコミと政治	宮崎市	三橋	龍馬	1月号
忘れ音	延岡市	長沼	弘三郎	2月号
当院の電子カルテ	宮崎市	牧元	宏	2月号
バラの栽培	高鍋町	大森	史彦	2月号
勤務医を辞して想う	宮崎市	松元	征徳	2月号
M idnight walking	日南市	松田	虎洋	2月号
今こそ、伊井直弼の再来を望む	宮崎市	山村	善教	2月号
新春随想	延岡市	佐藤	信博	2月号
ある日(その六)	宮崎市	小野	武己	2月号
思い出の中で	都城市	山田	孝俊	2月号
新春瑞想 還って参りました	日向市	鮫島	哲也	2月号
老年のゴルフと運動	西都市	友成	久雄	2月号
【はまゆう随筆・短歌・俳句】				
楽しかった歩こう会	宮崎市	谷口	二郎	7月号
ひとのきもち	都城市	山路	健	7月号
私の趣味	延岡市	今田	真一	7月号
宮崎トライアスロンを支援しよう	宮崎市	田島	直也	7月号
閑中妄言	宮崎市	加藤	雅俊	7月号
叔母逝く	延岡市	藤本	孝一	7月号
磯庭園	宮崎市	市来	能成	7月号
平戸の旅行記	日向市	康田	明照	7月号
私の文化的趣味：これはトマトですか？	日向市	松倉	倉茂	7月号
不死身なりけり	宮崎市	長嶺	元久	7月号
千両役者	延岡市	宝珠山	弘	7月号
右も左もわからず	小林市	上田	集久	7月号
呟き	宮崎市	永山	武章	7月号
カラダ言葉(気管、皮膚、直腸肛門の部)	延岡市	野村	英輔	7月号
「喜寿」を迎えて	宮崎市	立山	浩道	8月号
日光プリンスホテル	都城市	貴島	俊英	8月号
ゲッセマネの園	高鍋町	坂田	師通	8月号
古い感謝状	宮崎市	杜若	陽祐	8月号
図書館再認識	延岡市	岸田	克明	8月号

ケチは美徳か	宮崎市	杉田幸雄	8月号
嵯来の食	都城市	小濱祐博	8月号
時の流れに身を任せ	宮崎市	小渡辺克司	8月号
喜寿雑感	都城市	横山陽二	8月号
自然と人間の共存に思う	都城市	柳田琢也	8月号
世界一周クルーズ	都城市	田中毅一	8月号
柔道のスポーツ化	宮崎市	松本宏一	8月号
この道	宮崎市	井之上保子	8月号
「エコ問題」と「グリーン革命」	宮崎市	江藤胤尚	8月号
靴を愛で、足を愛でる	宮崎市	仲間達也	8月号
鮎の初釣り	宮崎市	弓削達雄	8月号
「ゴルフ観戦」談義	宮崎市	川野彰裕	9月号
匠の技	日向市	高橋圭三	9月号
病院で作られる病気	宮崎市	河野寛一	9月号
アンジェリーナ・ジョリーについて考える	都城市	沢田寿仁	9月号
眠客商売繁盛記	宮崎市	山村善教	9月号
終末期医療を考える会	高千穂町	興梠知子	9月号
5番目の子ども？	宮崎市	山崎俊輔	9月号
赤い鳥	高鍋町	大森史彦	9月号
神武天皇・カラス・俺	日南市	梅村享信	9月号
「糖質制限」いつやるか？今でしょ！	宮崎市	和田俊朗	9月号
歩け歩け	延岡市	長沼弘三郎	9月号
「わりなき恋 岸恵子 著」を読んだことから	宮崎市	本田正之	9月号
ネクタイ	宮崎市	西村篤乃	9月号
私のバイト歴	新富町	谷 畠 満	9月号
【エコ・リレー】			
Viva 吹奏楽！	延岡市	甲斐英三	1月号
夫婦考	都城市	原田健一	1月号
ウルトラマンタロウと懐かしい風景	宮崎市	藤木 啓	2月号
ゴルフ侍	日南市	川西昭人	2月号
マラソン・サブスリーへの道	日向市	高橋稔之	3月号
「迷い」から「出会い」、そして「感謝」へ	国富町	岡原一徳	3月号
趣味の充実	宮崎市	内野竜二	4月号
神頼み	都城市	久保田秀紀	4月号
航空身体検査	宮崎市	鈴木良彦	5月号
脱出ゲーム	宮崎市	森山重人	5月号
Happiness Year	小林市	田中 充	6月号
延岡登山	延岡市	平嶋 佑子	6月号
感性硬化症	延岡市	野村郁夫	7月号
終活	宮崎市	中島紫織	7月号
泰国	小林市	園田泰三	8月号
小規模多機能人間	延岡市	榎本雄介	8月号
唯一の趣味	新富町	小村浩史	9月号
心境	宮崎市	迫田 哲	9月号
ドッペルゲンガー ？	宮崎市	辰 元 信	10月号

リレーって	宮 崎 市	増 田 好 成	10月号
天皇陛下と心身医学	えびの市	平 塚 正 伸	11月号
健康管理	宮 崎 市	八 尋 陽 平	11月号
光陰矢のごとし	綾 町	玉 置 昇	12月号
耳から内視鏡	宮 崎 市	木 戸 義 行	12月号
<b>【叙位・叙勲】</b>			
平成 24年 1月～12月までの叙位・叙勲及び表彰・祝賀受賞会員			2月号
旭日双光章	宮崎市郡医師会	西 村 篤 乃	8月号
<b>【表彰・祝賀】</b>			
医療功労者県知事表彰	宮崎市郡医師会	内 田 攻	8月号
医療功労者県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	教 山 紘 臣	8月号
医療功労者県知事表彰	延岡市医師会	小 池 祐 一	8月号
医療功労者県知事表彰	児湯医師会	立 野 進	8月号
医療功労者県知事表彰	西都市西児湯医師会	大 塚 和 子	8月号
<b>【あなたできますか？】</b>			
<b>【宮崎県感染症発生動向】</b>			
<b>【メディアの目】</b>			
寒中に笑耐，焼酎	西日本新聞社 宮崎総局長	蔵 本 泰 慶	3月号
「宮崎牛」PR考	毎日新聞社 宮崎支局長	池 田 亨	4月号
「U-doki」ヒューマン～緩和ケア 宮崎県人の優しさ～	テレビ宮崎報道制作局 局次長兼報道部長	河 野 真	5月号
IC乗車カードが使えない	宮崎日日新聞社 報道部長	森 耕一郎	6月号
夢のような技術	MRT 宮崎放送 取締役	原 口 俊 幸	7月号
商店街再生請負人	南日本新聞社 宮崎支局長	赤 崎 公 一	8月号
“熱かった”この夏	NHK 宮崎放送局 放送部長	奥 野 慶 太	10月号
備えあれば	朝日新聞社 総局長	今 井 清 満	11月号
地震雑感	共同通信社 宮崎支局長	清 水 昭 範	12月号
<b>【郡市医師会だより】</b>			
宮崎市郡医師会(メイン)	副 会 長	濟 陽 英 道	2月号
都城市北諸県郡医師会(メイン)	理 事	檜 原 進一郎	3月号
延岡市医師会(メイン)	副 会 長	佐 藤 信 博	4月号
日向市東臼杵郡医師会(メイン)	会 長	渡 邊 康 久	5月号
児湯医師会(メイン)	副 会 長	蟻 塚 高 生	6月号
西都市西児湯医師会(メイン)	理 事	野 口 英 郎	7月号
南那珂医師会(メイン)	副 会 長	島 田 雅 弘	8月号
西諸医師会(メイン)	理 事	花 田 武 浩	9月号
西臼杵郡医師会(メイン)	会 長	佐 藤 元二郎	10月号
宮崎大学医学部医師会(メイン)	会 長	池ノ上 克	11月号
宮崎市郡医師会(メイン)	理 事	首 藤 謙 二	12月号
<b>【国公立病院だより】</b>			
串間市民病院	病 院 長	黒 木 和 男	3月号
高千穂町国民健康保険病院	病 院 長	箕 田 誠 司	5月号
宮崎市小児診療所	所 長	川 名 隆 司	7月号
宮崎市立田野病院	院 長	吉 岡 誠	9月号
独立行政法人国立病院機構 宮崎病院	病 院 長	江 崎 公 明	11月号

## 【宮崎大学医学部だより】

附属病院 薬剤部	副薬剤部長	奥 村 学	2月号
附属病院 手術部	副部長	指 宿 昌一郎	3月号
解剖学講座 組織細胞化学分野	教授 菱 川 善 隆, 講師	日 野 真一郎	4月号
臨床神経科学講座 脳神経外科学分野	医 局 長	横 上 聖 貴	5月号
感覚運動医学講座 整形外科学分野	医 局 長	坂 本 武 郎	6月号
外科学講座 循環呼吸・総合外科学分野	医 局 長	富 田 雅 樹	7月号
病理学講座 腫瘍・再生病態学分野		福 島 剛	8月号
感覚運動医学講座 眼科学分野	医 局 長	杉 本 貴 子	9月号
総合周産期母子医療センター	准教授	児 玉 由 紀	10月号
内科学講座 免疫感染病態学分野	医 局 長	長 友 安 弘	11月号
附属病院 リハビリテーション部	部長 帖 佐 悦 男, 副部長	鳥取部 光 司	12月号

## 【専門分科医会だより】

皮膚科医会	会 長	成 田 博 実	4月号
透析医会	会 長	藤 元 昭 一	5月号
精神科医会	会 長	吉 田 建 世	6月号
整形外科医会	会 長	田 島 直 也	7月号
眼科医会	会 長	柴 田 博	8月号
小児科医会	会 長	三 宅 和 昭	10月号
産婦人科医会	会 長	濱 田 政 雄	11月号
泌尿器科医会	会 長	中 山 健	12月号

## 【部会だより】

産業医部会	常任理事	池 井 義 彦	3月号
労災部会	部 会 長	増 田 好 治	9月号

## 【報告(宮崎県医師会各種委員会)】

介護保険委員会			1, 12月号
医学賞選考委員会			1月号
医学会誌編集委員会			4, 10月号
第4回宮崎の医療を考える会(若手記者との勉強会)			7月号
公衆衛生・感染症委員会			9月号
健康スポーツ医学委員会			9月号
諸規程検討委員会			10, 12月号
健康教育委員会			11月号

## 【報告(諸会議)】

九州医師会連合会 第328回常任委員会			1月号
九州医師会連合会 平成24年度第1回各種協議会			1月号
平成24年度全国医師会勤務医部会連絡協議会	理 事	上 田 章	1月号
平成24年度九州学校検診協議会 第2回専門委員会			1月号
九州各県医師会 学校保健担当理事者会			1月号
第112回九州医師会連合会 総会・医学会・一般分科会及び記念行事			3月号
九州医師会連合会 第329回常任委員会			3月号
九州医師会連合会 第104回臨時委員総会			3月号
九州医師会連合会 第330回常任委員会			3月号
九州医師会連合会 第2回各種協議会			3月号
九州各県医師会医療情報システム担当理事連絡協議会			3月号

平成 24年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会	3月号
平成 24年度都道府県医師会共同利用施設担当理事連絡協議会	3月号
平成 24年度日本医師会医療情報システム協議会	4月号
九州医師会連合会 第 33回常任委員会	5月号
九州ブロック日医代議員連絡会議	5月号
平成 24年度都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会	5月号
九州医師会連合会 第 33回常任委員会	6月号
平成 24年度都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会	6月号
宮崎県医師会医学会役員会	7月号
九州医師会連合会 第 33回常任委員会	7月号
九州医師会連合会 第 105回定例委員総会	7月号
第 158回宮崎県医師会定例代議員会	8月号
平成 25年度第 70回宮崎県医師会総会	8月号
都道府県医師会産業保健担当理事連絡協議会	8月号
第 24回新研修医保険診療等説明会並びに祝賀会	9月号
県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会	9, 12月号
第 1 回各都市医師会長協議会	9月号
第 4 回日本糖尿病対策推進会議総会	9月号
都道府県医師会救急災害医療担当理事連絡協議会	9月号
第 5回九州ブロック学校保健・学校医大会, 平成 25年度九州学校検診協議会(年次大会)	10月号
平成 25年度九州学校検診協議会 第 1 回専門委員会	10月号
九州医師会連合会 第 336回常任委員会	11月号
九州医師会連合会 平成 25年度第 1 回各種協議会	11月号
第 63回全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会	11月号
平成 25年度都道府県医師会検案担当理事連絡協議会	12月号
第 35回産業保健活動推進全国会議	12月号
<b>【報告(その他)】</b>	
宮崎県医師会創立 124周年記念医学会	4月号
第 14回宮崎県医師会医家芸術展	理事 高橋政見 10月号
平成 24年度医療法第 25条に基づく立入調査結果について	10月号
宮崎県医師会親善ゴルフ大会	12月号
<b>【薬事情報センターだより】</b>	
新薬紹介(その 59)	1月号
新薬紹介(その 60)	2月号
医薬品副作用被害救済制度	3月号
新薬紹介(その 61)	4月号
新薬紹介(その 62)	5月号
予防接種法の一部改正	6月号
新薬紹介(その 63)	7月号
新薬紹介(その 64)	8月号
新薬紹介(その 65)	9月号
新薬紹介(その 66)	10月号
新薬紹介(その 67)	11月号
バイオ後続品	12月号

## 【宮崎県医師国保組合だより】

医師国保創立 55年記念誌作成のための資料提供のお願い	4月号
平成 25年度の保険料賦課について(通知)	4月号
歩こう会に感謝 歩かずに唄いました 宮崎市 石川 智信, 石川 万佐子	5月号
平成 24年度宮崎県医師国民健康保険組合第 108回通常組合会	5月号
平成 25年度宮崎県医師国民健康保険組合第 109回通常組合会	9月号
保健事業のご案内	10月号

## 【宮崎県医師協同組合だより】

(株)ジェイエイフーズみやざきとの事業連携協定にかかる販売業者の追加について	9月号
----------------------------------------	-----

## 【追悼のことば】

長 倉 泰 郎 先生 都城市北諸県郡医師会	3月号
杉 澤 徹 先生 宮崎市郡医師会	3月号
田 坂 裕 保 先生 宮崎市郡医師会	4月号
百 瀬 寿 之 先生 南那珂医師会	4月号
池 田 卓 郎 先生 西諸医師会	4月号
夏 吉 新 平 先生 延岡市医師会	5月号
黒 水 啓 一 先生 宮崎市郡医師会	5月号
下 村 雅 伯 先生 宮崎市郡医師会	5月号
吉 田 精 孝 先生 延岡市医師会	6月号
渡 辺 啓 司 先生 西諸医師会	8月号
貴 島 信 夫 先生 宮崎市郡医師会	8月号
野 村 英 輔 先生 延岡市医師会	10月号
山 下 博 先生 都城市北諸県郡医師会	12月号
河 野 通 先生 宮崎市郡医師会	12月号

## 【ニューメンバー】

大 塚 伸 昭 (おおつか のぶあき)	宮 崎 市	5月号
帖 佐 宣 昭 (ちようさ のぶあき)	宮 崎 市	5月号
中 村 雄 (なかむら たけし)	都 城 市	5月号
天 野 正 宏 (あまの まさひろ)	宮 崎 市	7月号
井 上 忍 (いのうえ のぶ)	宮 崎 市	7月号
落 合 竜 三 (おちあい りゅうぞう)	宮 崎 市	7月号
西 野 峻 (にし の しゅん)	宮 崎 市	7月号
藤 本 正 樹 (ふじもと まさき)	宮 崎 市	7月号
井 口 厚 司 (いぐち あつし)	都 城 市	7月号
入 田 和 男 (いりた かずお)	宮 崎 市	8月号
佐々木 誠 一 (ささき せいいち)	宮 崎 市	8月号
竹 尾 輝 久 (たけお てるひさ)	宮 崎 市	8月号
小 宮 憲 洋 (こみや のりひろ)	日 向 市	9月号
長 沼 康 子 (ながぬま やすこ)	延 岡 市	10月号
福 元 純 也 (ふくもと じゅんや)	都 城 市	10月号
松 尾 崇 (まつお たかし)	宮 崎 市	12月号

## 【診療メモ】

救急診療体制と救命救急センターについて	宮崎大学医学部病態解析医学講座 救急・災害医学分野	落合 秀 信	1 月号
外傷後の不可解な痛み～複合性局所疼痛症候群 (complex regional pain syndrome CRPS) とは?～	潤和会記念病院麻酔科ペインクリニック	立山 真 吾	2 月号
外来における潰瘍性大腸炎の基本治療と注意点	宮崎大学医学部内科学講座 消化器血液学分野	山本 章二朗	3 月号
2012 年麻しん小流行の教訓	三宅小児科医院	三宅 和 昭	4 月号
命をつなぐドクターヘリ	宮崎大学医学部附属病院 救命救急センター	金丸 勝 弘	5 月号
在宅死に係る諸問題	大西医院	大西 雄 二	6 月号
急増する疾患「加齢黄斑変性」	宮崎大学医学部感覚運動医学講座 眼科学分野	直井 信 久	7 月号
未だ減少しない HTLV -1 キャリアと成人 T 細胞白血病 (ATL), その診断治療法の問題点	宮崎大学医学部機能制御学講座 腫瘍生化学分野	森下 和 広	8 月号
HIV 感染症・エイズは今どうなっているのか?	県立宮崎病院 内科	菊池 郁 夫	9 月号
卵子の老化について	とえだウイメンズクリニック	戸枝 通 保	10 月号
ABC 検診で胃がんのリスクをチェック!	宮崎市郡医師会成人病検診センター	尾上 耕 治	11 月号
モービル CCU 運用から 1 年	宮崎市郡医師会病院心臓病センター	柴田 剛 徳	12 月号

## 【私の本】

わかりやすい病気の話&人体解剖・薬の基礎知識	宮崎市	大塚 伸 昭	4 月号
75 年目のラブレター	宮崎市	貴島 テル子	8 月号
虹彩紋理アトラス	宮崎市	杉田 新	9 月号
人生楽しくピッ ポッ パッ	宮崎市	谷口 二 郎	9 月号

## 【私が推薦する本】

教室から消えた「物を見る目」, 「歴史を見る目」	都 城 市	佐々木 幸 二	2 月号
--------------------------	-------	---------	------

## 【宮大医学部学生のページ】

〔宮崎大学学園祭〕第 8 回清花祭～喜奏天凱～	1 月号
〔宮崎大学学園祭〕第 9 回清花祭～喜笑展結～	10, 11 月号

## 【みやざきメディカルトライアングル通信】

平成 25 年度ワークライフバランスセミナー開催のお知らせ	7 月号
-------------------------------	------

## 【その他】

宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員名簿	3 月号
社会保険診療報酬支払基金宮崎支部審査委員名簿(医科)	7 月号
平成 25 年総目次	12 月号

## 【告知】

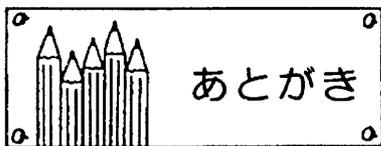
第 158 回宮崎県医師会定例代議員会開催	5 月号
-----------------------	------

## 【ご案内】

平成 25 年度第 70 回宮崎県医師会総会	5 月号
平成 25 年度宮崎県医師会医学会のご案内	8 月号
宮崎県医師会親善ゴルフ大会	9, 10 月号

## 【お知らせ】

郡市医師会への送付文書	各号
平成 24年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	1, 2月号
宮崎県医師会メーリングリストのご案内	1 ~ 3月号
日本医師会女性医師バンク	1, 2月号
宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ	2 ~ 6月号
宮崎県医師会医療情報コーナー	2, 3, 10, 11, 12月号
平成 25年度女性医師就労環境改善事業費補助金の募集	3月号
日州医事投稿についてのお知らせ	3月号
カット, イラストの募集	3, 11, 12月号
県医師会在宅医療協議会入会のご案内	3, 6, 9月号
宮崎県医師会勤務医住宅ローンの融資利率改定について	4月号
第 14回宮崎県医師会医家芸術展 作品募集!	5, 6月号
宮崎県医師会役員等の補欠選挙のご案内	5月号
宮崎県医師会・医師国保組合・医師協同組合事務局職員配置	5月号
クールビズについて	5 ~ 10月号
「はまゆう随筆」原稿募集	5, 6月号
平成 25年度春季県医師テニス大会開催のお知らせ	5月号
第 14回宮崎県医師会医家芸術展	7, 8月号
平成 25年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	7 ~ 9, 11, 12月号
平成 25年度春季県医師テニス大会(再度)開催のお知らせ	7月号
第 15回生命を見つめるフォトコンテスト作品募集	8月号
第 19回日本警察医会総会・学術講演会開催について	
宮崎県警察医会会長 大塚直純	8月号
会員専用ホームページについて	9月号
初診予約制の一部実施について(宮崎大学医学部附属病院)	9月号
「新春随想」原稿募集	10, 11月号
女性医師メーリングリストのご案内	10月号
宮崎県ドクターズテニス大会(都城)開催のお知らせ	11月号
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	11, 12月号
年末・年始の休館について	12月号



いよいよ今年も残すところわずかとなりました。2013年は9月に2020年度の東京オリンピック開催決定とイプシロン発射成功、そして1月には無人海底探査機「江戸っ子1号」の深海約8千メートルで動画撮影に成功と、日本に元気をくれるニュースが次々と飛び込んできました。

特に町工場の技術により、世界で初めて深海の生物を3Dカメラの映像で捉えられたというニュースには

驚かされました。なんだか日本の復活を予感させるもので、深海魚について何も知らない素人の自分でも、真っ白のエビや魚の群れを見て「すごーいっ」とテレビの前で歓声を上げてしまいました。

数億円かけても不可能だった撮影が、たった二千万円で成功したなんて！日本の町工場の技術力って本当はもっと評価されているのでは？もっとすごいものをどんどん作れちゃうのでは？と思いました。なんとなく、社会の需要が上手く町工場まで伝わってないような...

話は変わりますが、TBS放送局の「夢の扉+」の2013年10月13日放送では、内視鏡外科医の金平永二先生の御要望に応える形で、軽くて強くて錆びずに、自由自在に曲がる「チタンパイプ」というものを世界で唯一作る技術をもつ町工場の社長さんが医療器具を作りました。内視鏡外科手術用の「ヘビのように曲がりくねった」手術鉗子というびっくりするものです。

このまま資金難や後継者不足などで、せつかくの日本の技術が途絶えてしまってもったいない。来年はぜひ好景気となり2位じゃだめ、世界で1位を目指す日本の町工場にもっと光が当てられ医療界にも良い影響を与えますように。それでは良い年未年始をお過ごしください。(大野)

* * * * *

早いもので、あっという間に師走です。今年のゴールデンウィークに三陸を訪れました。自分の目で被災地の現状を見たかったからです。大型船が陸地奥まで打ち上げられた気仙沼市は確実に活気を取り戻してはいましたが、一方、奇跡の一本松の陸前高田市はまだまだ惨憺たる現状でした。東京オリンピックに注目が集まるがあまり、被災地への救済が決して疎かになってはならないと強く感じております。被災された方々に少しでも幸せが訪れますことを心より念じております。(黒川)

* * * * *

屋根の雨漏りその後前回我が家の屋根裏の雨漏りをメーカーが見落とし、他の工務店で修理を...との経過を書きましたが、その後メーカー側も点検に来まして、防水シート等は施行に間違いはなかったのですが、横からの強い風雨に弱い部分があるとのこと。雨漏りの見落としを謝罪され、メーカー側で修理させてくれとの依頼があり、見積もり等出してもらいました。工務店からのそれよりかなり安価で対応も良かったために工務店との話し合いの末、今回はメーカー側に修理をお願いすることになりました。しかし最初に雨漏りが発覚してから約4か月。やっと修理に入るこののんびりした時間の流れはなんなんでしょうか？宮崎時間でしょうか？逆に心配になります。(釜付)

* * * * *

先日、仕事で沖縄に行く機会がありました。沖縄のランチはボリューム満点で有名ですが、その中でもよく知られている「軽食のルビー」のAランチを食べに行ってみました。それは78円のワンプレートで、ご飯の上に大きなトンカツ、トンカツをめくると下にはハンバーグ、スパム付き卵、ウインナー、サラダがのっている素敵な定食でした。ダイエットのため家では豆腐メインの食事しか食べていないので妻には内緒の久々の満腹感。最近、食品の偽装表示が問題になっていますが、そんなものは関係ないといった感じの素敵な食堂でした。(沖田)

* * * * *

10月から頻繁にテニスをしています。以前、別の大学に通っていたときにテニスにはまり、そのときにたくさんテニスをしていたのですが、テニスに対する熱が何故か10月から再燃してきました。土曜日や日曜日は、テニスのあとに日帰り温泉に行くことがちょっとした楽しみになっています。あと1年と少しで国家試験なので、テニスばかりをしているわけにもいきませんが、運動不足解消と息抜きという口実のもと、まだテニスは続けたいと思います。(陣門)

* * * * *

12月1日に私が所属する宮崎大学医学部管打楽器部の定期演奏会が行われました。この演奏会を機に部活からは一応「引退」ということで、自分にとって感慨深いステージとなりました。と、言いたいところですが、このあとがきを書いている今は本番1週間前。準備・練習に追われる毎日を過ごしております。最近ではもはや演奏会の成功を神頼みする段階に入りました(笑)。コンサートや公演のステージに立たれた方はお分かりだと思いますが、本番当日に至るまでの練習や裏方準備というのは思った以上に骨の折れるものです。しかしながら、その分、終わったあとに得られる達成感も他に変え難いものだと思っていて邁進する日々です....(原尾)

* * * * *

先日、宮崎大学でホームカミングデイが開催されました。卒業生の皆さんに大学の近況に触れ、懐かしい恩師や学友との親睦を深めてもらおうというものです。私は医学部実行委員を務めました。医学部の参加者が少なく...。まあ、医学部は4学部の中で一番新しく、1期生でも昭和55年卒、皆さん現役で働いている世代ですからね。他学部では昭和19年卒業の方がいらしたり、卒業後58年ぶりという感動の再会があったりで盛り上がっていました。大学の歴史を感じた1日でした。(荒木)

* * * * *

## 今月のトピックス

### 日州医談 医師不足と対策

医師が不足か充足かの議論は時代により揺れ動いてきた経緯があります。昭和 14年からの軍医増産の要求による 4 年生医専の新設増設，戦後の医師国家試験制度導入に伴う 6 年生教育による医育一元化と医師数の抑制，昭和 36年の国民皆保険制度開始に伴う患者数の激増と一県一医大構想，そして「医療費亡国論」などです。安易な医師免許取得者の増員では解決できない「相対的医師不足」に対する協議検討の重要性について，佐々木幸二理事が述べてくださいました。 4 ページ

### 各都市医師会だより

旧西都医師会病院の不明金問題は，不明金の根拠となった「窓口請求額と収入額の差 1,770万円」が単なる事務処理上のミスであったことが判明しています。しかしこの事実は市民や医療関係者に十分周知されておらず，未だに誤解を受けていることもしばしばだそうです。一刻も早く医師会の信用と名誉が回復されることを切に望みます。 12ページ

### 診療メモ モービルCCU運用から 1年

心疾患による死亡率減少を目的として，宮崎市郡医師会病院が宮崎県全域の医療機関とのネットワーク構築のため，昨年 10月に導入したモービルCCU(移動する冠動脈疾患集中治療室)運用状況の報告です。導入後 1年を振り返り，その実績と更なる認知度の向上によるモービルCCUの有機的活用への期待，そして今後の展望について柴田剛徳先生に述べていただきました。是非ご覧ください。 64ページ

日 州 医 事 第 77号 (平成 25年 12月号) (毎月 1 回 10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会  
〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 0985-22-5111(代)・FAX 27-6550  
<http://www.iyazakimed.or.jp/> E-mail: office@iyazakimed.or.jp

代表者 稲 倉 正 孝

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 尾田 朋樹・副委員長 上野 満，黒川 基樹

委 員 篠原 立大，姫路 大輔，明里 知美，川上 勲

釜付 弘志，沖田 和久，大野 妙子，陣門 洋平，原尾 拓朗

担当副会長 富田 雄二・担当理事 青木 洋子，荒木 早苗

事 務 局 学術広報課 瀬戸山千春，久永 夏樹

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し，県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)